

取扱説明書

カシオ電子レジスター
TE-2700

このたびは、カシオ電子レジスターをご採用いただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。



最新サポート情報（Q&A、
取扱説明書など）はこちら

<http://casio.jp/support/ecr/>

初めてレジスターをお使いになるときは、**設置手順**（16 ページ）と
用語集（139 ～ 141 ページ）をお読みください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

特長

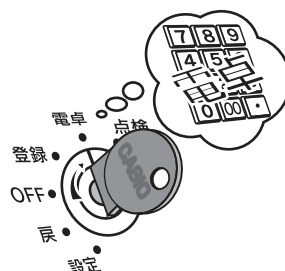
- 税率は変更することができます。予約機能を使うと、指定した日から自動で税率が更新されます。

8% → ● %

消費税率を自動更新

「消費税率の設定」(17 ページ)
「税率改定の予約機能 (予約税率)」
(80 ページ)

- 「消費税改定によって税込価格がいくらになるか」を簡単なキー操作で求めたり、レジ打ちの最中に割り勘の金額を計算したりなど、お店の業務をサポートします。

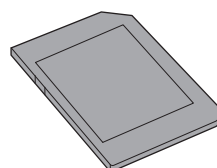


- 抗菌処理されたキーボードで清潔に保つことが可能です。



SIAA マークは ISO22196 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

- パソコンのレジスターツールで設定すると、レシートの店名ロゴスタンプや、領収書の社名ロゴ・住所などを印字できます。(別途 SD メモリーカードが必要です。) また、簡単な設定もツールで設定できます。(裏表紙の「パソコンのレジスターツールについて」を参照してください。)



同梱の「電子店名スタンプ注文書」(有料)でも承っています。

- 消費税の計算は、「内税方式」「外税方式」「非課税方式」「複数税率」に対応しています。内税、外税、非課税が混在した運用も可能です。また、消費税額の円未満の端数処理(四捨五入、切り上げ、切り捨て)を設定することができます。さらに請求額の端数を切り捨てて請求(5 円丸め、10 円丸め)するといった、さまざまな設定が可能です。



ご使用前に

安全上のご注意	6
各部の名称と働き	10
各部の名称	10
モードスイッチとモード鍵	11
本体表示窓／客用表示窓	12
付属品	12
キーボード	13
本体表示窓の角度を調整する	14
客用表示窓の向きを変える	15
部門キーのキャップの中に商品名を 書いた紙を入れる	15
お使いになる前に	16
設置手順	16
消費税率について	16
課税方式について	17
設定について	17
一日の仕事の流れ	18

使い方

基本的な操作	19
商品 1 つを売上登録する	19
商品 2 品以上を売上登録する	20
同じ商品を複数売上登録する (乗算登録)	21
同じ商品を複数売上登録する (リピート登録)	22
両替などでドロアーを開ける	22
レシート・ジャーナルの見方	23
キー操作をまちがえたとき	24
部門・取引キーを押す前の訂正 (置数訂正 )	24
部門キーを押した直後の訂正 (直前訂正 )	25
取引の途中ですべてを取り消す (取引中止  )	26
返品処理をする	27
取引中に何行か前のまちがいを訂正する (返品処理  )	27
「戻」モードを使った返品処理	28
閉店後の操作～精算	29
1 日の売上を打ち出す	29

便利な使い方

部門の便利な使い方	31
部門について	31
単価設定した部門キーを用いて 商品を登録する	32
部門キーに単価×数量の順で登録する	33

PLU の便利な使い方	34
PLU (Price Look Up) について	34
PLU を使って登録する	35
品番 PLU 機能とは?	36
品番 PLU を使って登録する	36
割引きをする	37
商品ごとに割引きをする	37
合計金額から割引きをする	37
値引きをする	38
合計金額から  で値引きをする	38
合計の 10 円未満の端数を自動値引きする	38
万円キーを使う／日時の表示	39
万円キーの使い方	39
日付と時刻を表示する	39
入金処理と出金処理	40
売上とは関係ない現金をドロアーに入れる	40
売上とは関係ない現金をドロアーから出す	40
番号を印字する／レシートの発行と停止	41
伝票番号や商品コードを印字する	41
レシートの発行／停止と後レシート発行	41
商品券／クレジットの売上	42
商品券で売り上げる	42
クレジットカードなどの信用売りで 売り上げる	42
混在する支払い方法の売上	43
一部を商品券・残りを現金で売り上げる	43
領収書を発行する	44
取引直後に領収書を発行する	44
金額指定の領収書発行	45
クーポン券を発行する	46
担当者機能を使う	47
レジ担当者機能とは	47
レジ担当者を使う場合の登録手順	47
飲食店向け機能を使う	48
新しく伝票を登録する	48
伝票に追加登録する	48
売上の点検と精算	49
レポート名称とその内容	49
レポートとキー操作	50
在売点検の点検	51
日計明細／期間集計の点検・精算	51
PLU の点検・精算	52
時間帯別集計の点検・精算	53
グループ別集計の点検・精算	54
月間日別集計の点検・精算	55
電子ジャーナルの区間点検	56
電子ジャーナルの消去	56

オープンチェックの点検・精算.....	57	設定点検印字ー予約設定点検.....	88
部門個別の点検.....	58	税予約の設定内容を印字する.....	88
PLU 個別の点検.....	58	設定点検印字ー PLU の予約設定点検.....	89
電卓機能の使い方.....	59	PLU の税予約の設定内容を印字する.....	89
税抜き金額・税額を計算する  	59	システム設定：部門キーの機能設定.....	91
を使って計算する.....	60	部門に「負単価部門」を設定する (個別設定).....	91
消費税改定による新単価を計算する.....	60	部門に「入力桁制限」を設定する (個別設定).....	91
呼び出し機能を使って計算する 	61	部門に「単品売り」を設定する (個別設定).....	92
設定の仕方		システム設定：PLU の機能設定.....	93
設定メニュー.....	63	PLU に「負単価 PLU」を設定する (個別設定).....	93
メニュー構成.....	63	品番 PLU に「入力桁制限」を設定する (個別設定).....	94
設定ー商品設定.....	65	PLU に「単品売り」と「品番 PLU」を設定する (個別設定).....	94
PLU を設定する.....	65	システム設定：消費税の設定.....	95
部門を設定する.....	67	税額の 1 円未満の端数処理を設定する.....	95
グループを設定する.....	69	システム設定：商品名やメッセージの設定.....	96
設定ー日時設定.....	70	1 文字ずつ入力して漢字変換する.....	96
日時を設定する.....	70	文字入力の方法.....	96
設定ー担当者設定.....	71	半角文字、全角文字、倍文字、 縦倍文字について.....	97
担当者を設定する.....	71	商品名や分類名を部門キーに設定する.....	98
設定ーメッセージ設定.....	72	入力途中で文字を訂正する.....	99
メッセージを設定する.....	72	取引キーの印字文字を設定する.....	100
設定ー基本設定.....	73	領収書の背景を設定する.....	101
基本設定.....	73	文字設定できるその他の項目.....	102
設定ーファンクションキー設定.....	74	システム設定：各キーの設定.....	105
  キーを設定する.....	74	   	105
設定ー税設定.....	75		106
すぐに税率を設定する.....	75	 	106
課税方式を一括設定する.....	76		106
設定ー領収書設定.....	77		107
領収書を設定する.....	77		107
設定ー予約設定.....	78		108
予約を設定する.....	78	システム設定：その他の設定.....	109
税率改定の予約機能（予約税率）.....	80	内容変更できる主な印字項目.....	109
SD カードー設定書込み.....	82	印字項目を設定する 1 / 2.....	110
SD メモリーカードにレジスター本体の 設定を書き込みする.....	82	印字項目を設定する 2 / 2.....	111
SD カードー設定読込.....	84	強制機能や演算方式を設定する.....	112
レジスター本体に SD メモリーカードの 設定を書き込みする.....	84	点検／精算レポートの内容を 設定する 1 / 2.....	113
SD カードー電子店名スタンプ読込.....	85	点検／精算レポートの内容を 設定する 2 / 2.....	114
レジスター本体に SD メモリーカードの 電子店名スタンプを読み込む.....	85		
設定点検印字ー設定点検.....	86		
設定内容を印字する.....	86		
設定点検印字ー PLU の設定点検.....	87		
PLU の設定内容を印字する.....	87		

電卓モードの機能を設定する	115
領収書の内容を設定する	116
レシートメッセージの内容を設定する	117
サーマルポップと背景印字を設定する	118
本体表示窓と客用表示窓の機能を設定する	119
マシン番号を設定する.....	119
クーポン券のポイント率を設定する.....	120
チェックトラッキングの機能を設定する	121
システム設定：レジ設定内容の確認.....	122
商品名・メッセージ項目の設定点検.....	122
キー機能・レジスター機能項目の設定点検	123
システム設定：簡易メニュー／	
簡易お知らせの印刷	124
簡易メニュー／簡易お知らせ印刷.....	124
簡易お知らせ印刷のメッセージ設定.....	124
簡易メニュー印刷書式設定	125
簡易お知らせ印刷の向きの設定.....	125
システム設定：キー配列の変更	126
キーを配列できる位置とキー番号	126

こんなときは

故障かなと思ったら	128
こんなときは	128
表示窓に E やメッセージが	
表示されたときには.....	128
故障かなと思ったら／レジ操作の練習	130
正しく動作しないとき	130
ドロアーが開かなくなったとき	130
トレーニングを始める／	
トレーニングを終わる.....	130
ロールペーパーのセットと交換	131
ロールペーパーをセットする（レシート）.....	131
ロールペーパーをセットする（ジャーナル）..	133
ロールペーパーを交換する（レシート）.....	134
ロールペーパーを交換する（ジャーナル）.....	134
SD メモリーカードのセット.....	135
SD メモリーカードをセットする	135
SD メモリーカードを取り出す	135
内蔵のフラッシュメモリからバックアップ	
データ（自動設定保存）を戻す.....	135
電池のセットと交換	136
電池をセットする.....	136
電池を交換する	136
仕様	137
保証規定.....	138
用語集（索引）	139
スキャニング PLU の使い方	142

スキャニング PLU とは？	142
スキャナーとレジスターの接続.....	142
スキャニング PLU 商品売り上げる	142

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
製品を安全に正しくお使いいただき、人々への危害や機器の損傷を未然に防ぐため、以下の記号を使って注意を喚起しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れがある内容を示しています。

本書中の「絵表示」の意味は以下のとおりです。

	△ 記号は「気をつけるべきこと＝注意」を意味しています。 左の例は「手を挟まれないよう注意」です。
	⊘ 記号は「してはいけないこと＝禁止」を意味しています。 左の例は「分解禁止」です。
	● 記号は「しなければならないこと＝指示」を意味しています。 左の例は「電源プラグをコンセントから抜くこと」です。なお、「絵に表わしにくい指示」は ① で表わします。

警告

電源コードや電源プラグについて

-  電源コードは、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、上に重い物を載せないでください。電源コードが破損して、火災や感電の原因になります。また、本製品の下を通る配線はしないでください。
-  電源コードを巻いたり、束ねたりしたまま使用しないでください。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出／断線など）、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電のおそれがあります。
- 電源コードは必ず付属品を使用してください。
- 付属の電源コードを本機以外の機器に使用しないでください。

分解・改造しないでください

-  本製品を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分や鋭くとがった部分があります。触って感電したり、ケガをする恐れがあります。また、故障や火災の原因となります。

内部に異物や水などを入れないでください

-  本製品の開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とさないでください。また、花瓶の水やコーヒー・ジュースなどの液体を本製品の内部にこぼさないでください。火災や感電の原因となります。
-  異物や水などが本製品の内部に入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

異常状態で使用しないでください

-  発熱、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。

安全上のご注意

⚠ 警告

電源・電圧について



- ・表示された電源電圧（交流 100V）以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因となります。
- ・電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

本製品を落としたり、破損したときは



本製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

設置場所について



- ・ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落下してケガの原因となります。
- ・湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- ・ストーブやヒーターなどの発熱器具の近くや、温風が直接当たる場所には置かないでください。火災の原因になります。
- ・電源コンセントは、本機の電源コードが簡単に届き、また電源プラグの抜き差しが容易である場所を選んでください。
- ・電源コードを製品や壁や棚の間にはさみ込んだり、電源コードの上に重い物を載せないでください。

移動する場合は



本製品の移動前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っぱると、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

本製品の上には物を置かないでください



- ・花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器、金属の物などを置かないでください。
- ・タバコなど高温の物を置かないでください。
- ・重い物を置かないでください。

電源プラグはいつもきれいに



電源プラグは年一回以上コンセントから抜いてプラグの刃と刃の周辺部分を乾いた布で掃除してください。ホコリがたまると、火災の原因になります。電源プラグの清掃には、洗剤を使用しないでください。

長期間使用しないときは



連休などで長期間本製品を使用しないときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

ドローア（引き出し）の注意



- ・ドローア（引き出し）を開くときは、お子様の顔などに当たらないよう注意してください。
- ・ドローア（引き出し）が開いているときに、ドローアに寄りかからないでください。落下してケガの原因となります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

安全上のご注意

⚠ 注意

お手入れについて



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

モード鍵とドロアー鍵



モード鍵やドロアー鍵は、小さなお子様の手が届かない所へ置いてください。鍵を飲み込む恐れがあります。

表示画面について



- ・液晶表示を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示のガラスが割れてケガの原因となることがあります。
- ・液晶表示が割れたときは、表示内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- ・口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- ・目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。

消耗品交換時の注意



手を挟まれないよう注意



指のケガに注意



- ・記録紙の交換時に、プリンターのギアに髪の毛やスカーフなどが巻き込まれないよう注意してください。
- ・記録紙の交換時に手を挟まれないよう注意してください。また、指のケガにも注意してください。
- ・プリンターのヘッド部分には触れないでください。ケガ、やけどの原因となります。

お願い（必ず守ってください）

- ・温度が高くなる所や、水がかかる所には置かないでください。
- ・ぬれた手で操作するお店では、防水カバーをお買い求めください。
- ・清掃にシンナー、ベンジン、化粧品などの揮発性の薬剤を使用しないでください。本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布で拭いてください。布で強く擦ると表示部に傷がつく場合があります。
- ・1 日の終わりには、精算をしてドロアー（引き出し）内をカラにし、開けたままお帰りください。ドロアーは金庫ではありません。

設置場所について

高温になる場所、ホコリの多い場所、油煙や水がかかる場所に置かないでください。

以下の場所では絶対に保管・放置しないでください。メモリ内容が消えるなど本装置の故障、ケースの変形などの原因となります。

- ・0℃以下の低温下
- ・夏季の車内
- ・冷暖房装置の近く
- ・直射日光の当たる場所
- ・その他 40℃以上の高温になる場所

以下の場所では本製品の使用を避けてください。

- ・屋外
- ・レンジ、電熱器などの高温になる機器の近く

安全上のご注意

- ・ 水気や水蒸気のかかる可能性のある場所
- ・ 温度、湿度などの環境の変化が激しい場所
- ・ 腐食性のガスや塩分の発生する場所
- ・ 塵やホコリが発生する場所
- ・ 振動のある場所
- ・ 静電気が発生しやすい場所

あらかじめご承知いただきたいこと

- ・ 本書の内容は、製品の改良や仕様変更などにより予告なく変更することがあります。
- ・ 本製品の使用、故障・修理などによりデータが消えたり、変化に起因して生じた損害、遺失利益、第三者からのいかなる請求につきましても、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本書の著作権、および本書に記載のソフトウェアに関するすべての権利は、カシオ計算機株式会社が所有しています。弊社の書面による同意なしに本書およびソフトウェアの一部または全部を無断転載することを禁止します。
- ・ 本書の内容は万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ・ 本書に記載の画面、レシート、ジャーナル、領収書や本体のイラストは、実際の製品とは異なることがあります。キー、アイコンは簡略化して記載しています。
- ・ ウエルドラインについて
外観にスジのように見える箇所がありますが、これは樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるもので、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いってください。

高調波電流規格

この装置は、「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

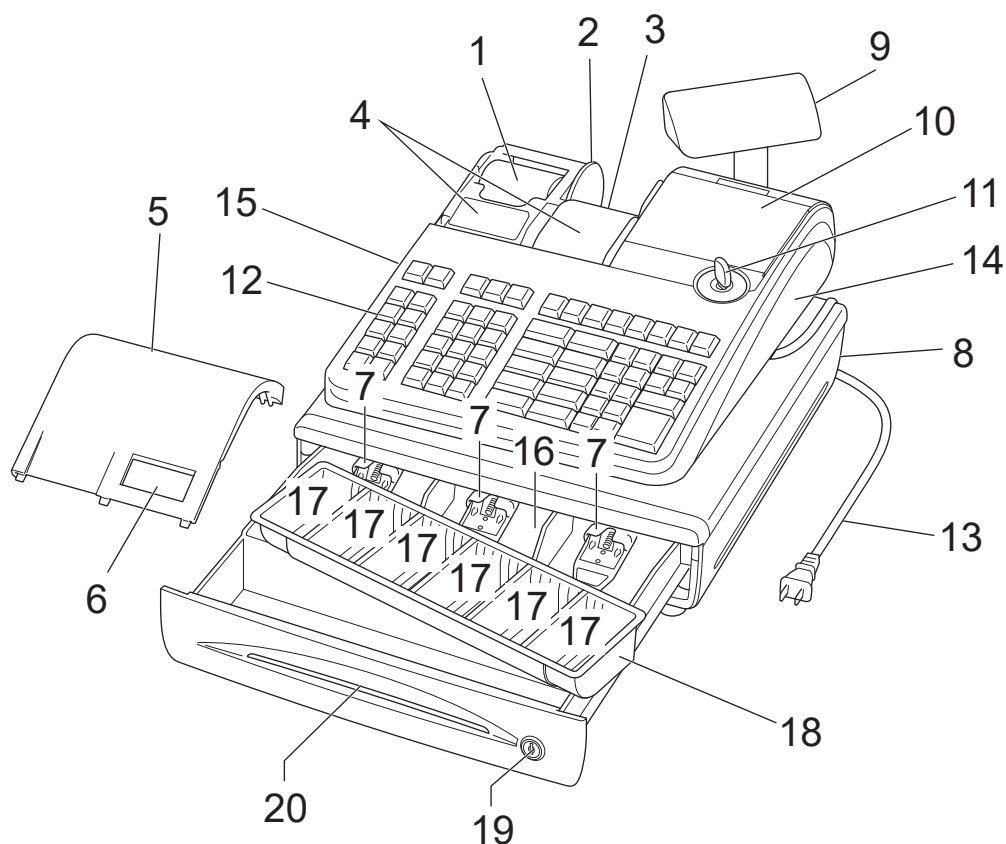
商標登録について

  SD および SDHC ロゴは SD-3C、LLC の商標です。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

各部の名称と働き

各部の名称



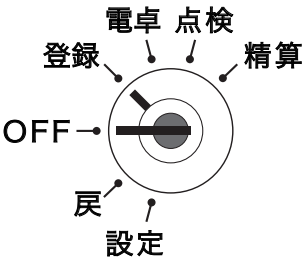
- | | |
|--|-------------------------------|
| 1 レシート | 11 モードスイッチ |
| 2 ジャーナル巻き取りホルダー | 12 キーボード |
| 3 ジャーナル | 13 電源プラグ／電源コード |
| 売上記録としてお店で保管します。 | 14 コネクタカバー |
| 4 紙押さえ | 内部のコネクタにバーコードスキャナーを接続します。 |
| 確実にロックされるまで、きちんと閉じてください。完全に閉じていないとレジスターが動きません。 | 15 SD メモリーカードスロットカバー |
| 5 プリンターカバー | 内部のスロットに SD メモリーカードを差し込みます。 |
| 6 ジャーナル印字確認窓 | 16 紙幣入れ (3 箇所) |
| この窓から操作内容を確認できます。 | 17 硬貨入れ (6 箇所) |
| 7 札押さえ | 18 コイントレー |
| 8 ドロアー (引き出し) | 仕切り板は、取り外して位置を移動できます。 |
| 9 客用表示窓 | 19 ドロアーロック錠 |
| お客様用の表示です。見やすい角度に調整してください。 | ドロアー鍵でロックできます。 |
| 10 本体表示窓 | 20 ドロアースリット部 |
| | 小切手や商品券を、ドロアーを開けずに入れることができます。 |

各部の名称と働き

モードスイッチとモード鍵

本製品は、それぞれ働きのちがう7つのモードがあります。モード鍵を使ってモードスイッチ位置を切り替えます。オーナー鍵とオペレーター鍵では「できること」の範囲がちがいます。

モードスイッチ

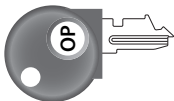


- 精 算..... 売上の精算をする
- 点 検..... 売上の点検をする
- 電 卓..... 電卓計算をする
- 登 録..... 売上の登録をする
- OFF レジを使用しない
- 戻 返品（戻し）をする
- 設 定..... お店に合わせたいろいろな設定をする

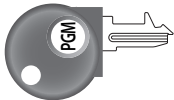
モード鍵

モード鍵は2種類あります。

①オペレータ鍵（OPと刻印）



②オーナー鍵（PGMと刻印）



モード鍵の回せる範囲

	設定	戻	OFF	登録	電卓	点検	精算
①オペレータ用鍵	×	×	○	○	○	×	×
②オーナー用鍵	○	○	○	○	○	○	○

レジスターにモード鍵を差し込むとき・外すときは、モードスイッチの位置を「OFF」または「登録」にします。

本書での記載例



- ・本書では、各操作手順のモードスイッチの位置を、絵表示で掲載しています。
- ・上の例は、モードスイッチの位置を、左から「登録」、「設定」、「点検」、「精算」、「電卓」にしてから操作する必要があることを意味しています。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

各部の名称と働き

本体表示窓／客用表示窓

本体表示窓

1	ボールペン	¥200	
	消しゴム	¥150	
	色鉛筆 24 色	¥1,680	2
	折り紙	¥500	
	小計	¥2,530	
3	4 点 1 名	500	

客用表示窓

1	折り紙	¥500	
		2,530	2

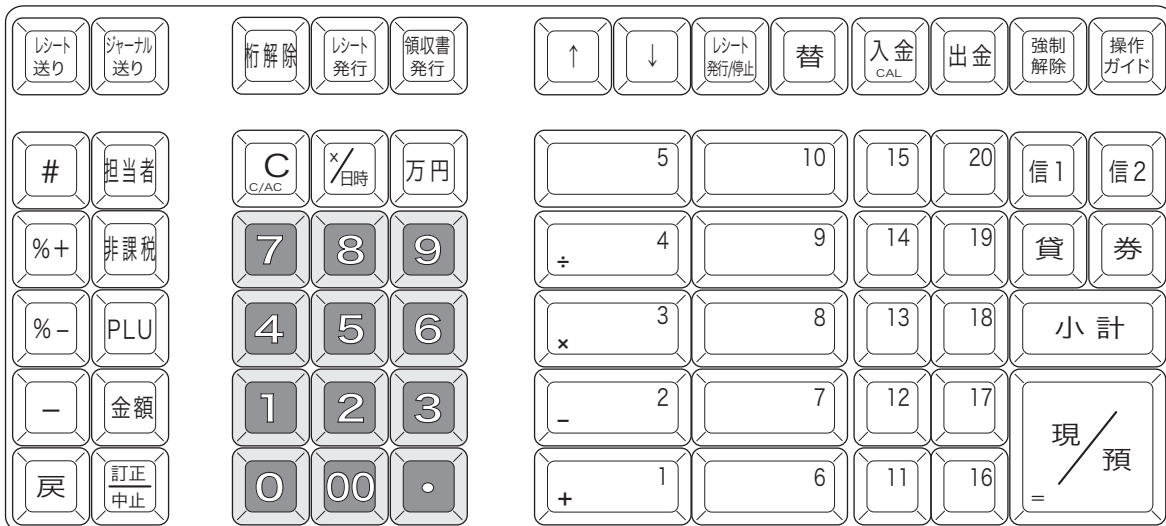
- 1 キャラクター（文字）表示
半角文字で最大 16 文字・全角文字で最大 8 文字を表示します。
（客用表示窓は金額の桁数により異なります。）
- 2 金額表示
金額や課税シンボルなどを表示します。
- 3 商品点数／客数／入力確認行
商品点数や客数、入力している数字を表示します。

付属品

梱包箱の内ふたをご覧ください。

各部の名称と働き

キーボード



	レシート送りキー	レシート用紙を空送りします。
	ジャーナル送りキー	ジャーナル用紙を空送りします。
	不加算印字キー	不加算印字をします。
	担当者キー	担当者を指定します。
	割増しキー	割増し時に使います。
	非課税キー	非課税商品を登録するときに使います。
	割引きキー	割引き時に使います。
	PLU キー	PLU 機能使用時に、PLU 番号を入力して使います。
	マイナスキー	値引き時に使います。
	金額キー	品番 PLU 機能使用時に、単価を入力して使います。
	戻キー	返品時に使います。
	訂正／中止キー	直前訂正、または取引を中止するときに使います。
	桁解除キー	あらかじめ設定された桁制限を解除するときに使います。
	レシート発行キー	後レシートを発行します。
	領収書発行キー	領収書を発行します。
	クリアキー	入力をまちがったときに使います。電卓機能時は、2 回続けて押すと「オールクリア」(ゴハサン) します。
	乗算／日時キー	乗算登録、または時刻・日付を表示するときに使います。
	万円キー	万円札を預かったときに使います。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

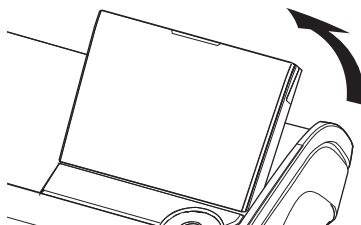
各部の名称と働き

0 ~ 9 00 ●	置数キー	数値を入力します。
↑	↑キー	本体表示のカーソルを上に移動します。
↓	↓キー	本体表示のカーソルを下に移動します。
レシート 発行/停止	レシート発行／停止キー	レシート 発行/停止 を2回続けて押すと、レシートを発行する／停止するを切り替えることができます。
替	両替キー	両替時に押します。
入金 CAL	入金キー	入金時に使います。電卓機能ーレジ機能間の「答」などのやり取りにも使います。
出金	出金キー	出金時に使います。
強制 解除	強制解除キー	2回続けて押すとエラーを強制的に解除します。「登録」の操作中に強制解除をすると、現金売上として処理されます。売上から取り消す場合は、「返品処理」をしてください。
操作 ガイド	操作ガイドキー	操作 ガイド を押すと操作ガイドのメニュー項目を印字します。知りたいメニュー番号を入力して、もう一度押します。
+ 1 ~ 20	部門キー	商品登録時に使います。 + 1 - 2 × 3 ÷ 4 の部門キーは、電卓機能時の「+」「-」「×」「÷」計算命令キーです。
信1	信用売りキー	クレジットカードの売上時に使います。
信2		
貸	貸し売りキー	貸し売りの売上時に使います。
券	券売りキー	商品券の売上時に使います。
小計	小計キー	登録金額の合計（中間合計）を見るときに使います。
現/預	現金売り／預かり金キー	登録の完了（現金での売上）および預かり金のときに使います。電卓機能時「=」は計算命令キーです。

本体表示窓の角度を調整する

手順

- 1 本体表示窓を見やすい角度に調整します。

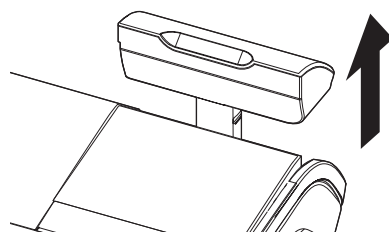


各部の名称と働き

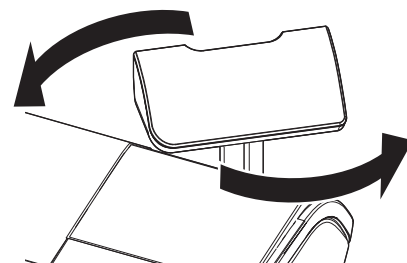
客用表示窓の向きを変える

手順

- 1** 客用表示窓全体を止まるまで上に持ち上げます。



- 2** お客様が見やすい方向に回します。
真正面には向きません。真背面に回すとレジスター内部に収納できます。

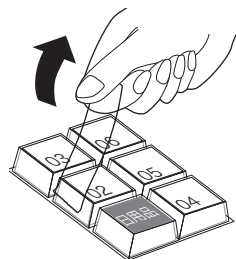


部門キーのキャップの中に商品名を書いた紙を入れる

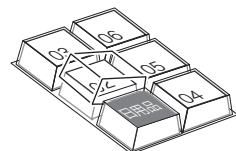
10mm 幅のセロハンテープを用意します。

手順

- 1** セロハンテープを 5cm 程度の長さに切り、キーキャップを外すキーの肩部分に貼ります。セロハンテープの端を指で押さえながら上方向に回すようにして引き上げ、キーキャップの片側をはずします。



- 2** キー本体からキーキャップを外し、中のキープレートを取り出します。新しいキープレートをキーキャップの中に入れ、紙の方向に注意しながらキー本体にかぶせて押し込みます。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

お使いになる前に

設置手順

本製品を初めてお使いになる場合は、以下の手順に従ってセットしてください。

- 1 梱包箱から本体と付属品を取り出し、保護テープをはがします。
- 2 袋の中から付属品を取り出し、全部そろっているか確認します。
 (梱包箱の内ふたに「付属品」の内容が記載されています)
- 3 レジスターを水平な設置場所に置きます。
- 4 ロールペーパー（印字用ロール紙）を取り付けます。
 131 ～ 133 ページ
- 5 電源プラグを家庭用 100V コンセントに確実に差し込みます。
ガイダンスが印刷されます。
- 6 印字されたガイダンスに従って、日付／時刻を設定します。
- 7 単 3 型アルカリ乾電池 2 本（別途ご購入ください）を取り付けます。
 136 ページ
- 8 消費税の設定をします。
 次ページ

ご購入時の設定

消費税率： 8%

税額の円未満の処理： 四捨五入

課税方式： 内税

消費税率について

ご購入時、税率は、「8%」に、税額の円未満の処理は「四捨五入」に設定されています。税率の設定については、「すぐに税率を設定する」（75 ページ）を、税額の円未満の処理については、「税額の 1 円未満の端数処理を設定する」（95 ページ）を参照してください。

お使いになる前に

課税方式について

消費税の課税方式には3つの方式があります。ご購入時は「内税方式」に設定されています。

内税方式（ご購入時）

商品金額に消費税8%が含まれているものを販売する方式

例：価格 1,000 円

本体価格 926 円
(消費税額 74 円
合 計 1,000 円 受取

外税方式

商品金額に消費税8%が含まれていないものを販売する方式

例：価格 1,000 円

本体価格 1,000 円
(消費税額 80 円
合 計 1,080 円 受取

非課税方式

消費税を計算しない（消費税を課税しない）で販売する方式

例：価格 1,000 円

本体価格 1,000 円
(消費税額 0 円
合 計 1,000 円 受取

内税方式以外でご利用のときは、

- ・「課税方式の一括設定」（76 ページ）
- ・「PLU を設定する」税種を設定（65 ～ 66 ページ）
- ・「部門を設定する」税種を設定（67 ～ 68 ページ）

を参照して課税方式の設定を変更してください。

複数税率に対応するときは、税1と税2の両方を設定してください。

- ・「すぐに税率を変更する」（75 ページ）
- ・「税率改定の予約機能（予約税率）」（80 ページ）

	税率初期設定		設定後の税率	部門の課税方式初期設定
税1 内税	8 %	→	A %	部門 1 ～ 20 (税1 内税)
税1 外税	8 %	→	A %	—
税2 内税	0 %	→	B %	—
税2 外税	0 %	→	B %	—
非課税	—		—	—

軽減税率でご利用のときは対応する部門キーなどの設定変更が必要です。「すぐに税率を設定する」（75 ページ）、「課税方式を一括設定する」（76 ページ）を参照して、課税方式の設定を税2へ変更してください。（対応する部門キーなど）混在するときは、例えば部門1を「税1 内税（10%）」、部門2を「税2 内税（8%）」のように設定して使いわけてご利用ください。

消費税の設定後、レジスターをお使いいただけます。

設定について

本製品はさまざまな設定でカスタマイズした使用ができます。「設定の仕方」（63 ページ～）を参照してください。また、パソコンのレジスターツールでも簡単な設定ができます。（別途 SD メモリーカードが必要です。）パソコンのレジスターツールは、弊社 Web（<http://casio.jp/support/ecr/>）をご確認ください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

一日の仕事の流れ

開店前

- ☑ 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか確認します。
- ☑ ロールペーパーが充分にあるか確認します。
参照  131 ~ 133 ページ
- ☑ モードスイッチの位置を「登録」にして、日付と時刻を確認します。
参照  39 ページ
- ☑ 釣銭用の小銭をドロアーに用意します。
参照  40 ページ

営業中

- ☑ 商品の売上を登録します。
参照  19 ページ～
- ☑ 必要に応じて売上の確認をします。
参照  49 ページ～

閉店後

- ☑ ドロアー内のお金を回収します。
- ☑ 一日の売上を打ち出します。
参照  29、30 ページ
- ☑ モードスイッチの位置を「OFF」にします。

今日も一日お疲れ様でした。

ドロアーが閉まっていると、現金が入っていると思ってレジごと持ち去る盗難が発生しています。レジがないと翌日の営業にも影響します。閉店後、現金を取り出したらドロアーを開けたままにしておくことをお勧めします。

基本的な操作



本書内の説明は、「税率8%の内税方式」の消費税計算（円未満は「四捨五入」）での操作方法、およびレシートの印字例を記載しています。

税率が変更された場合、外税・非課税が混在する場合に、操作方法是変わりませんが印字内容は異なります。ご注意ください。

商品1つを売上登録する

商品1つを現金でお買い上げになったときの例です。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,200	1	部門 1 (+1)	¥2,000



手順

操作

表示例

1 商品の単価を入力して、部門キー **1 2 0 0** **+** **1** を押します。

1—	部門 01	¥ 1,200	—	2
小計		¥ 1,200		
1 点		1,200		

1: 登録部門名
2: 登録金額

2 **小計** を押します。



部門 01		¥ 1,200	
小計		1 点	
		¥ 1,200	1
1 点		1,200	

1: 合計金額

3 預かり金額を入力して **現/預** を押 **2 0 0 0 0** **現/預** します。

内税	¥ 89	
合 計	¥ 1, 2 0 0	
お預り	¥ 2, 0 0 0	
お 釣	¥ 8 0 0	
お 釣	¥ 8 0 0	1
1 点 1 名		

1: お釣り金額

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

基本的な操作

印字例

御計算書

2016-07-31 09:20
000013

部門 01		¥ 1,200
対象計	8.0%	¥ 1,200
内税		¥ 89
合 計		¥ 1,200
お預り		¥ 2,000
お 釣		¥ 800

商品 2 品以上を売上登録する

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥200	1	部門 1 [+ 1]	¥2,500
¥800	1	部門 2 [- 2]	
¥1,100	1	部門 3 [× 3]	



手順

操作

印字例

- 1 商品の単価を入力して、部門キーを押します。商品の数量分繰り返します。
- 2 小計 を押します。
- 3 預かり金額を入力して 現/預 を押します。

200 + 1

800 - 2

1100 × 3

小計

2500 現/預

2016-07-31 09:35
000014

部門 01		¥ 200
部門 02		¥ 800
部門 03		¥ 1,100
対象計	8.0%	¥ 2,100
内税		¥ 156
合 計		¥ 2,100
お預り		¥ 2,500
お 釣		¥ 400

基本的な操作

同じ商品を複数売上登録する（乗算登録）

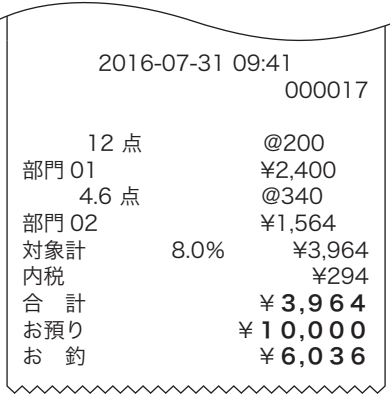
操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥200	12	部門 1	¥10,000
¥340	4.6	部門 2	



手順	操作	印字例
----	----	-----

- 1 商品の数量、, 単価、部門キーの順に押します。
- 2 商品の数量、, 単価、部門キーの順に押します。
数量は、小数の入力もできます。
- 3 を押します。
- 4 預かり金額（万円券キー）を入力して を押します。



- ポイント**
- ・乗算登録の「数量」の範囲は、「0.01 ～ 9999.99」です。
 - ・ご購入時の設定は「数量×単価」の順です。「単価×数量」に変えることもできます。
設定方法は「強制機能や演算方式を設定する」（112 ページ）、操作は「部門キーに単価×数量の順で登録する」（33 ページ）を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

基本的な操作

同じ商品を複数売上登録する（リピート登録）

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥300	3	部門 2 -2	¥2,000
¥500	2	部門 1 +1	



手順

操作

印字例

1 商品の単価を入力して、商品の数量分、部門キーを押します。

2 商品の単価を入力して、商品の数量分、部門キーを押します。

3 を押します。

4 預かり金額を入力して を押します。

2016-07-31 09:50
000018

部門 02	¥300
部門 02	¥300
部門 02	¥300
部門 01	¥500
部門 01	¥500
対象計	8.0% ¥1,900
内税	¥141
合 計	¥ 1,900
お預り	¥ 2,000
お 釣	¥ 100

両替などでドローアを開ける

両替など「取引」以外で、ドローアを開けるときの操作です。



手順

操作

印字例

1 を押します。

ドローアが開きます。

2016-07-31 09:51
000023

替

ポイント 登録中は操作できません。(誤操作エラー)

レシート・ジャーナルの見方

レシート／ジャーナルにはレジの操作内容が印字されます。ここでは、レシートとジャーナルの見方について説明します。

レシート

店名や住所の設定は、「内容変更できる主な印字項目」(109 ページ) を参照してください。

カシオ商店		1
渋谷区本町 1-6-2		
電話 1234-5678		
2016-07-31 09:23		2
担当 -01	0001-000008	3
部門 02	¥5,780	4
部門 01	¥360	
部門 01	¥360	
部門 01	¥360	
10 点	@128	5
部門 04	¥1,280	6
PLU0027	¥880	7
-	-100	8
部門 03	¥2,600	
部門 04	¥3,000 非	9
小計	¥14,520	10
-5%		
%-	-726*	17
対象計	17 点 8.0%	
	¥10,944	11
内税	¥811	12
非課税合計	¥2,850	13
合 計	¥13,794	14
お預り	¥15,000	15
お 釣	¥1,206	16
またのご来店を お待ち申し上げます		18

ジャーナル：圧縮印字例

圧縮印字の設定は、「基本設定」 ジャーナル圧縮 (73 ページ) を参照してください。

2016-07-31 09:23	
担当 -01	0001-000008
部門 02	¥5,780
部門 01	¥360
部門 01	¥360

ジャーナル：通常印字例

部門 01	¥360
10 点	@128
部門 04	¥1,280
PLU0027	¥880
-	-100
部門 03	¥2,600
部門 04	¥3,000 非
小計	¥14,520
-5%	
%-	-726*
対象計	17 点 8.0%
	¥10,944
内税	¥811
非課税合計	¥2,850
合 計	¥13,794
お預り	¥15,000
お 釣	¥1,206
2016-07-31 09:23	
担当 -01	0001-000009

- | | | |
|-------------------|-----------|-------------|
| 1 店名ロゴ部分 | 7 PLU 登録 | 13 非課税額 |
| 2 日付／時刻 | 8 値引き | 14 合計額 |
| 3 レジ担当者／レジ番号／一連番号 | 9 非課税シンボル | 15 預かり額 |
| 4 部門登録 | 10 小計／割引 | 16 釣り銭額 |
| 5 個数／単価 | 11 内税対象額 | 17 買上点数 |
| 6 乗算登録 | 12 内税額 | 18 ボトムメッセージ |



- ・ご購入時の設定では、レジ担当者を使用できません。担当者の設定方法は、「基本設定」担当者機能(73 ページ)を参照してください。
- ・ジャーナルの印字は、上記例のように店名ロゴ部分の余白がなく、日付／時刻、レジ担当者／レジ番号／一連番号の後ろと合計の前に、それぞれ 1 行分空きを詰めて印字します。
- ・ジャーナル(営業記録)は、ジャーナル巻き取りホルダーに巻き取ったあとと保管してください。
- ・印字内容の変更は、「内容変更できる主な印字項目」(109 ページ)を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

キー操作をまちがえたとき

訂正の方法を説明する前に、「取引」と「登録」について説明します。

登録 : 1つの商品の単価・個数を入力した後、部門キーを押してレジに記憶させます。この一連の操作を、商品ひとつひとつの「登録」と呼びます。

取引 : 一人のお客様に対し、すべての商品を「登録」後、お客様からお預かりした金額を入力して  を押すまでを、ひとつの「取引」と呼びます。

取引中に操作をまちがえた際の訂正方法は、操作の状況に応じて下記4つの方法があります。

部門・取引キーを押す前 による置数訂正

「登録」の途中で置数入力のみまちがいに気がついた場合、部門キーを押す前であれば、 を押して入力した単価や個数を取消します。

部門キーを押した直後 による直前訂正

1つの商品を「登録」した直後（部門キーを押した直後）にまちがいに気がついた場合、 を押して直前に「登録」した商品のみを取り消します。

取引の途中ですべてを取り消す による取引中止

いくつかの商品を「登録」した後、まちがいに気がついて初めからやり直す場合、 を押したあと  を押して、今おこなっている「取引」を中止します。

取引中に何行か前のまちがいを訂正 による返品処理

いくつかの商品を「登録」した後まちがいに気がつき、まちがえた商品にさかのぼって訂正する場合、  を押してまちがえた商品を選択し、 を押して訂正した後、改めて登録し直します。

部門・取引キーを押す前の訂正（置数訂正 ）

部門キーを押す前は、すべて  で訂正できます。

操作例

	単価	数量	部門キー	預かり金
①	¥120	1	部門1 	③ ¥3,000
②	¥105	8	部門2 	

上記の登録途中操作をまちがえた



① ¥120 の単価を、¥1,200 に押しまちがえて入力した

手順

1 まちがえた単価を押します。

2  を押します。

3 正しい単価を入力して部門キーを押します。

操作

②乗算登録時に、¥105 の単価を ¥150 に押しまちがえて入力した

手順

1  を押します。

2 個数と正しい単価を入力して部門キーを押します。

操作

キー操作をまちがえたとき

③ ¥3,000 の預かり金を、¥5,000 に押しまちがえて入力した

手順

- 1  を押します。
- 2 正しい預かり金を入力して  を押します。

操作

小計 **5 0 0 0** 
小計 **3 0 0 0** 



- ・プリンターに印字される前であれば置数を訂正できますが、印字された後での訂正はできません。(ただし、「レシート印字停止」に設定時は何も印字されないため、印字前／印字後の判断はできません。)
- ・ここでは「部門キーを押す前の訂正」と「を押す前の訂正」を例に説明しましたが、、、、、、、、、 も同様に、キーを押す前であれば  を押して置数を訂正できます。

部門キーを押した直後の訂正（直前訂正 ）

操作例

	単価	数量	部門キー	預かり金
①	¥505	1	部門1 	¥2,000
②	¥230	3	部門3 	

上記の登録途中操作をまちがえた



① ¥505 の単価を ¥550 に押しまちがえて入力し、部門キーを押した

手順

- 1  を押します。
- 2 正しい単価を入力して部門キーを押します。

操作

5 5 0  
5 0 5 

② 乗算登録時に、¥230 の単価を ¥220 に押しまちがえて入力し、部門キーを押した

手順

- 1  を押します。
- 2 個数と正しい単価を入力して部門キーを押します。
- 3  を押し、預かり金を入力して  を押します。

操作

3  **2 2 0**  
3  **2 3 0** 
小計 **2 0 0 0** 



部門キーと同様に、、、、 を押した直後であれば、商品登録や割引き、値引きの取り消しができます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

キー操作をまちがえたとき

印字例

2016-07-31 10:35		
000037		
部門 01		¥550
訂正		-550
部門 01		¥505
3 点		@220
部門 03		¥660
訂正		-660
3 点		@230
部門 03		¥690
対象計	8.0%	¥1,195
内税		¥89
合 計		¥1,195
お預り		¥2,000
お 釣		¥805

取引の途中ですべてを取り消す（取引中止 小計 訂正中止）

取引の途中で初めからやり直す場合は、小計 訂正中止 で一括取り消します。

操作例

単価	数量	部門キー
¥350	12	部門 4 4
¥1,280	1	部門 2 2

上記の登録途中操作をまちがえた

登録



手順

1 登録をします。

1 2 ×/日時
3 5 0 ÷ 4
1 2 8 0 - 2

2 小計 を押してから、訂正中止 を押します。

小計 訂正中止

印字例

2016-07-31 10:41		
000040		
12 点		@350
部門 04		¥4,200
部門 02		¥1,280
取引中止		



小計

は必ず押してください。押し忘れると最終行だけが訂正されます。（＝直前訂正）

返品処理をする

取引中に何行か前のまちがいを訂正する（返品処理 ）

取引中、登録済みの商品のまちがいに気がついたり、お客様から取消しや変更を求められた場合は、 を使って返品処理をします。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥960	1	部門 4 	¥4,000
¥2,800	1	部門 4 	



¥960 の単価を ¥990 に押しまちがえて部門キーを押し、続けて登録をした

手順

操作

表示例

1 最初に登録した商品の単価のまちがいを、返品で処理します。

9 9 0 
2 8 0 0 

部門 04	¥990
部門 04	¥2,800
小計	¥3,790
2 点	2,800

2  を押し、本体表示のまちがえた行にカーソルを合わせます。



部門 04	¥990
部門 04	¥2,800
訂正確定<現 / 預>	
戻る<小計>	

3  を押します。



4 正しい単価を入力して  を押します。

9 6 0 

部門 04	¥2,800
部門 04	¥960
小計	¥3,760
2 点	960

5  を押し、預かり金を入力して  を押します。

小計 **4 0 0 0** 

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

返品処理をする

レシート発行後に商品の返品があったときは、下記いずれかの方法で返品処理します。

「戻」を使った返品処理

現在売り上げている商品の返品処理は、モードスイッチを「登録」のまま「戻」を使って返品処理をします。



「戻」モードを使った返品処理

すでに売り上げた（レシートの発行を終えた）商品の「返品戻し」は、モードスイッチを「戻」の位置に合わせて、売上登録と同じように操作する「戻」モードで返品処理をします。
操作方法は、下記「「戻」モードを使った返品処理」を参照してください。



「戻」モードを使った返品処理

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥780	2	部門 1 (+ 1)	現金
¥1,280	1	部門 3 (× 3)	



手順

操作

印字例

1 モードスイッチの位置を「戻」にします。

2 登録をします。



3 モードスイッチの位置を「登録」にします。

戻	2016-07-31 10:50	000045
部門 01	¥780	
部門 01	¥780	
部門 03	¥1,280	
対象計	8.0%	¥2,840
内税		¥210
現金		¥2,840



注意 戻モードの処理が終わったら、モードスイッチの位置を「登録」に戻してください。オーナー鍵は精算操作など各種設定ができます。取り付けたままにしないよう注意してください。

閉店後の操作～精算

「精算」とは、その日の取引データを集計してレポートを印字した後、元になった取引データをすべてクリア（ゴハサン）する処理です。「精算」をすると、レジはレポート印字とデータクリアを続けて処理します。オーナーはレポートを見て、その日の売上（金額、数量）、取引内容、現金や商品券の在高、レジの操作履歴などを確認できます。（レポートは必要に応じて保管してください。）
精算については、「売上の点検と精算」（49 ページ）を参照してください。

注意 「精算」をしてデータをクリアしないと、今日のデータと翌日のデータが混ざってしまいます。毎日、閉店後に必ず「精算」をしてください。

1 日の売上を打ち出す

手順

日計明細の精算は、オーナー鍵でモードスイッチの位置を「精算」にし、  を押して本体表示の「日計明細」にカーソルを合わせ  を押します。



印字例

精算	2016-07-31 10:53	1
	0001-000048	2
0000	日計明細	3
部門 01	505 点	4
44.04%	¥231,167	5
部門 02	411 点	6
39.75%	¥208,689	7
部門 03	32 点	8
2.72%	¥14,297	9
ノンリンク	13 点	10
1%	¥5,283	11
総売	1060 点	12
	¥524,966	13
純売	158 件	14
	¥498,747	15
現金在高	¥405,361	16
券在高	¥2,890	17
信在高	¥37,405	18
対象計	¥330,584	19
内税 8.0%	¥24,488	20
消費税合計	¥24,488	21
非課税合計	¥153,051	22
万円	17 枚	
サービス	¥376	
取引中止	2 件	
	¥297	
戻モード	1 件	
	¥6,372	
電卓	18 件	
領収書 印紙	1 件	
	¥36,372	
領収書	2 件	
	¥23,563	

- 1 日付／時刻
- 2 マシン番号／一連番号
- 3 コード／レポートタイトル／精算シンボル／精算回数
- 4 部門  1：売上個数、売上構成比 (◎)・売上金額
- 5 部門  2
- 6 部門  3
- 7 部門リンクのない PLU の合計

- 8 総売上：個数／金額 (＊ 1)
- 9 純売上：件数／金額 (＊ 2)
- 10 現金在高 (＊ 3)
- 11 商品券在高
- 12 信用売り在高
- 13 内税：対象額 (税込み)／消費税額
- 14 消費税額の合計
- 15 非課税額合計
- 16 万円券枚数
- 17 5円／10円丸め合計
- 18 取引中止：件数／金額
- 19 「戻」モード：件数／金額
- 20 電卓モードの計算回数
- 21 印紙付き領収書：件数／金額
- 22 印紙無し領収書：件数／金額

注意 この操作で電子ジャーナルのデータをクリアします。この操作の前に電子ジャーナルを印字してください。（クリアしない設定に変更することもできます。）

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

閉店後の操作～精算

「日計明細」の精算（または点検）をはじめ、本機の点検／精算（49 ページ～）で印字される各項目間には、以下の関係式が成り立ちます。

- * 1 総売上＝部門会計＋部門リンクしていない PLU 合計：個数、金額とも
 (部門リンクについては、34 ページを参照してください。)
- * 2 純 売 上＝現金売上額＋商品券売上＋信用（クレジット）売上
 ＝総売上－値引き－割引き－5 円／10 円丸め合計＋外税額
 (＝お客様の支払い額の総合計)
- * 3 現金在高＝現金売上＋入金合計－出金合計（券売りでおつりがない場合）
 総売上－値引き－割引き＝内税対象額＋外税対象額＋非課税額合計

現金	48 件	1
	¥405,381	
商品券	1 件	2
	¥2,890	
クレジット	3 件	3
	¥37,405	
入金	1 件	4
	¥10,000	
出金	2 件	5
	¥10,000	
-	6 点	6
	¥32,097	
%-	1 件	7
	¥9,234	
戻	3 件	8
	¥10,873	
訂正	6 件	9
	¥4,905	
レシート	19 件	10
替	3 件	11
強制解除	2 件	12
	¥320	

- 1 現金売上：件数／金額
- 2 商品券売上：件数／金額
- 3 信用売上：件数／金額
- 4 入金：件数／金額
- 5 出金：件数／金額
- 6 値引き：件数／金額
- 7 割引き：件数／金額
- 8 ☐ キー：回数／金額
- 9 直前訂正：回数／金額
- 10 レシート発行件数
- 11 両替回数
- 12 強制解除：件数／金額

◎印の項目は、ご購入時の標準状態では印字されません。

※集計数値が“0”の部門および取引は、その部門および取引の項目が印字されません。

部門の便利な使い方

部門について

「部門」とは、商品进行分类するもので「部門 1 ～ 20」まで選択できます。

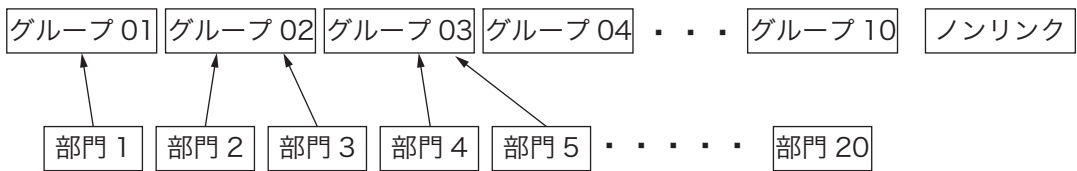
- 例えば、
- ・ 扱う商品进行分类して「部門 1 ～ 20」に割り振り、部門ごとに売上を集計する
 - ・ 税計算を正しくおこなうため、「部門 1」：非課税、「部門 2」：外税、それ以外は内税と設定し、レジ打ちの際は商品の課税方式に応じて該当の「部門」に登録する
 - ・ 「部門 3」は ¥100、「部門 2」は ¥200 と設定して、レジ打ちの際の単価入力の手間を省く

など、お店にあった使い方を決めてご活用ください。

部門キーには以下の機能があります。必要に応じて設定してください。

		参照ページ
商品単価	部門キーを押すだけで、設定した単価が登録されます。	67
消費税	設定した税の種類（内税、外税、非課税）に応じて、税計算をします。	67
部門名	設定した名称は、レジ打ちの際に本体表示窓とレシート（ジャーナル）に表示されます。	67
負単価部門	この部門に登録する商品は、マイナスとして処理されます。値引きやクーポン券などの登録に使うと便利です。	91
グループリンク	部門の上位にグループ（大分類）を想定し、部門をグループにひも付けます（リンク）。点検の際、グループ別（＝いくつかの部門を合算）に集計ができます。 初期は「ノンリンク」に設定されています。	67

リンク図式



入力桁制限	誤登録を防ぐため、桁数制限を設けて制限を越える価格は登録できないようにします。	91 ページ
単品売り	レジ打ちの際にこの部門に登録すると、そのまま取引が完了して「お客様からお預かりした金額を入力して  を押す」操作を省くことができます。現金による単品売りのような単純な取引の場合、手早く処理できます。（「単品売りの商品」を登録する前、既に「単品売りではない商品」を登録している場合は、通常の手順で取引を締める必要があります。）	92 ページ

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

部門の便利な使い方

単価設定した部門キーを用いて商品を登録する

よく使う単価を部門キーに設定できます。単価を部門キーに設定するときは、「部門を設定する」単価(67ページ)を参照してください。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥800 (キーに設定済み)	1	部門 2 	¥10,000
¥1,200	1	部門 2 	
¥800 (キーに設定済み)	4	部門 2 	

登録



手順

操作

印字例

1 部門キーを押すと、設定された単価で登録されます。



2 設定されている単価と異なる単価で登録する場合は、新しい単価を入力して、部門キーを押します。



3 乗算登録も同様です。



4  を押し、お預かり金を入力して  を押します。



2016-07-31 11:12	
000062	
部門 02	¥800
部門 02	¥1,200
4 点	@800
部門 02	¥3,200
対象計	8.0% ¥5,200
内税	¥385
合 計	¥5,200
お預り	¥10,000
お 釣	¥4,800



手順2は、単価設定をしていない場合も同じ操作です。「基本的な操作」(19ページ)を参照してください。この操作によって、部門キーに設定されている単価が変わることはありません。

部門の便利な使い方

部門キーに単価×数量の順で登録する

ご購入時、乗算登録は「数量×単価」の順で入力します。「単価×数量」の入力順に設定するときは、「強制機能や演算方式を設定する」(112 ページ)を参照してください。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥380	8	部門 1 (+ 1)	¥10,000
¥160	5	部門 2 (- 2)	
¥500 (キーに設定済み)	10	部門 3 (× 3)	



手順

- 1 商品の単価、 $\times/\text{日時}$ 、数量、部門キーの順に押します。
- 2 設定単価を使用する場合は、 $\times/\text{日時}$ を押す前の単価入力は不要です。
- 3 小計 を押し、お預かり金を入力して 現/預 を押します。

操作

3 8 0 $\times/\text{日時}$ 8 + 1
1 6 0 $\times/\text{日時}$ 5 - 2
 $\times/\text{日時}$ 1 0 × 3
 小計 万円 現/預

印字例

2016-07-31 11:15
000065

8 点	@380
部門 01	¥3,040
5 点	@160
部門 02	¥800
10 点	@500
部門 03	¥5,000
対象計	8.0% ¥8,840
内税	¥655
合 計	¥8,840
お預り	¥10,000
お 釣	¥1,160



- ・「単価×数量」の順で乗算登録できるのは、部門キーだけです。
- ・この機能を使用すると、「PLU の乗算登録」「時刻・日付の表示」はできません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

PLU の便利な使い方

PLU (Price Look Up) について

PLU (プライス・ルック・アップ) は、あらかじめ決められた商品番号 (PLU 番号) ごとに「商品単価」と「商品名」を覚えさせておくことにより、その番号を指定するだけで商品登録ができる便利な機能です。本機にはご購入時 5,000 本の PLU があり、最大 5,000 種の商品を設定できます。登録の際は、PLU 番号を入力して **PLU** を押すと、設定されている商品が登録されます。

点検／精算時には PLU ごとに集計ができ、商品単品の売上状況を確認できます。



たくさんの PLU を使用するお店では、PLU 番号と商品名をまとめた一覧表を作成し、クリアシートなどに入れて見えるところに置いておくといでしょう。

PLU には以下の機能があります。必要に応じて設定してください。

		参照ページ
商品単価	設定した単価が登録されます。	65
消費税	設定した税の種類 (内税、外税、非課税) に応じて、税計算をします。	65
商品名	設定した名称は、レジ打ちの際に本体表示窓とレシート (ジャーナル) に表示されます。	65
負単価 PLU	この PLU は、マイナスとして処理されます。値引きやクーポン券などの登録に使うと便利です。	93
部門リンク	PLU を任意の部門にひも付けます (リンク)。点検／精算時に、各 PLU の売上をその部門に合算し、部門トータルとして集計できます。	65
品番 PLU	「事前に設定しておいた単価」と異なる単価を入力できます。	65
入力桁制限	品番 PLU として使用する場合に、桁数制限を設けて制限を越える価格は登録できないようにします。	94
単品売り	レジ打ちの際にこの PLU を登録すると、そのまま取引が完了します。 (「単品売りの商品」を登録する前、既に「単品売りではない商品」を登録している場合は、通常の手順で取引を締める必要があります。)	94

PLU の便利な使い方

PLU を使って登録する

操作例

単価	数量	PLU 番号	預かり金
¥2,000	1	1	¥10,000
¥150	12	200	
¥1,200	2	2	



手順

操作

印字例

1 PLU 番号を入力して **PLU** を押すと、設定された単価で登録されます。

1 **PLU**

2 乗算登録は最初に個数を入力します。

1 **2** **×/日時**

2 **0** **0** **PLU**

3 リピート登録は個数分 **PLU** を押します。

2 **PLU** **PLU**

4 **小計** を押し、お預かり金を入力して **現/預** を押します。

小計 **万円** **現/預**

2016-07-31 11:25	
000067	
PLU0001	¥2,000
12 点	@150
PLU0200	¥1,800
PLU0002	¥1,200
PLU0002	¥1,200
対象計	8.0% ¥6,200
内税	¥459
合 計	¥6,200
お預り	¥10,000
お 釣	¥3,800

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

PLU の便利な使い方

品番 PLU 機能とは？

「品番 PLU」は、1つの商品を「異なる単価」で登録する場合に使います。任意の PLU を「品番 PLU」として設定できます。

レジ打ちの際は、該当する PLU 番号を入力して **PLU** を押したあと、単価を入力して **金額** を押します。(単価を入力せずにそのまま **金額** を押すと、PLU に設定されている単価が登録されます。)

品番 PLU の設定は、「PLU を設定する」品番 PLU (65 ページ) を参照してください。

品番 PLU を使って登録する

操作例

単価	数量	PLU 番号	預かり金
¥850	2	303 (品番 PLU 設定済み)	¥4,000
¥98	9	28 (品番 PLU 設定済み)	
¥480 (単価設定済み)	1	111 (品番 PLU 設定済み)	



手順

1 品番、**PLU**、単価、**金額** の順に押します。

2 リピート登録は、個数分 **金額** を押します。

3 乗算登録は、最初に個数を入力します。

4 設定単価を使う場合は、単価を入力せずに **金額** を押します。

5 **小計** を押し、お預かり金を入力して **現/預** を押します。

操作

3 0 3 **PLU**

8 5 0 **金額**

9 **×/日時** 2 8 **PLU**

9 8 **金額**

1 1 1 **PLU** **金額**

小計 4 0 0 0 **現/預**

表示例

2016-07-31 11:27	
000069	
PLU0303	¥850
PLU0303	¥850
9 点	@98
PLU0028	¥882
PLU0111	¥480
対象計	8.0% ¥3,062
内税	¥227
合 計	¥3,062
お預り	¥4,000
お 釣	¥938

割引きをする

商品ごとに割引きをする

売り上げる商品を登録したあと、その商品の割引きができます。

操作例

単価	数量	部門キー	割引き率	預かり金
¥1,000	1	部門 1 + 1	5%	¥5,000
¥2,500	1	部門 3 × 3	7.5%	



手順

操作

印字例

- 商品を登録します。
- 割引き率を入力して、 を押します。
直前に登録した商品の割引き計算をします。
- 同様に、次の商品を登録して割引きをします。
- を押し、お預かり金を入力して を押します。

部門 01		¥1,000
-5%		-50
%-		
部門 03		¥2,500
-7.5%		
%-		-188
対象計	8.0%	¥3,262
内税		¥242
合 計		¥3,262
お預り		¥5,000
お 釣		¥1,738

合計金額から割引きをする

を押したあとに割引きをすると、売り上げた商品の合計に対する割引きをします。

操作例

単価	数量	部門キー	割引き率	預かり金
¥1,000	1	部門 1 + 1	10%	¥5,000
¥2,500	1	部門 3 × 3		



手順

操作

印字例

- 商品を登録します。
- を押し、割引き率を入力して を押します。
- を押し、お預かり金を入力して を押します。

部門 01		¥1,000
部門 03		¥2,500
小計		¥3,500
-10%		
%-		-350*
対象計	8.0%	¥3,150
内税		¥233
合 計		¥3,150
お預り		¥5,000
お 釣		¥1,850



- ・ に、あらかじめ「割引き率」を設定できます。事前に「割引き率 5%」を設定しておくと、 を入力せずに を押すだけで 5% を割引きます。
- ・ 1 円未満の端数は「四捨五入」ですが、「切り上げ」「切り捨て」の設定もできます。
- ・ 割引き率の設定は、「 キーを設定する」(74 ページ) を参照してください。
- ・ 端数の設定は、「」(108 ページ) を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

値引きをする

合計金額から ☐ で値引きをする

値引きをするときは ☐ で登録します。

操作例

単価	数量	部門キー	値引き額	預かり金
¥1,000	1	部門 1 ☐	¥500	¥5,000
¥2,500	1	部門 3 ☐		



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

1 0 0 0 + 1

2 5 0 0 × 3

2 ☐ 小計 を押します。

小計

3 値引き額を入力して、☐ を押します。

5 0 0 -

4 ☐ 小計 を押し、お預かり金を入力して ☐ 現/預 を押します。

小計 5 0 0 0 ☐ 現/預

部門 01		¥1,000
部門 03		¥2,500
-		-500*
対象計	8.0%	¥3,000
内税		¥222
合 計		¥3,000
お預り		¥5,000
お 釣		¥2,000



- ・☐ に、あらかじめ「値引き金額」を設定できます。事前に値引き金額を設定しておくのと、手順3で ☐ を押すだけで設定金額を値引きします。
- ・☐ の設定は、「☐ ☐ ☐ ☐ キーを設定する」(74 ページ) と「各キーの設定 ☐」(107 ページ) を参照してください。

合計の 10 円未満の端数を自動値引きする

合計金額を、「5 円単位」または「10 円単位」に丸めて自動値引きできます。

操作例

10 円未満の端数値引きで、商品を売ります。

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,281	1	部門 4 ☐	¥10,500
¥1,502	1	部門 1 ☐	
¥2,380	1	部門 2 ☐	



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

1 2 8 1 ÷ 4

1 5 0 2 + 1

2 3 8 0 - 2

2 端数を丸めて合計処理します。

小計

3 お預かり金を入力して、☐ 現/預 を押します。

万円 5 0 0 ☐ 現/預

部門 04		¥1,281
部門 01		¥1,502
部門 02		¥2,380
対象計	8.0%	¥5,163
内税		¥382
小計		¥5,163
サービス		-3
合 計		¥5,160
お預り		¥10,500
お 釣		¥5,340

- 1: 丸め前の金額
- 2: 丸め値引き金額
- 3: 丸め後の金額



- ・「10 円丸め」は「1～9 円→0 円」に、「5 円丸め」は「1～4 円→0 円 / 5～9 円→5 円」に丸めます。丸めた差額が自動値引きされ、レシートに「サービス金額」として印字されます。差額がないときは、「サービス金額」の印字をスキップします。
- ・丸めの設定は、「基本設定」丸め (73 ページ) を参照してください。

万円キーを使う／日時の表示

万円キーの使い方

1万円以上の金額を入力するときは **万円** を使うと便利です。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥10,000	1	部門3 × 3	¥40,000
¥20,550	1	部門4 × 4	



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

万円 **×** **3**

2 預かり金を登録します。

2 **万円** **5** **5** **0** **÷** **4**

万円 の前に1万円札の枚数を入力してください。

小計 **4** **万円** **=** **現/預**

部門 03	¥10,000
部門 04	¥20,550
対象計	8.0%
	¥30,550
内税	¥2,263
合 計	¥30,550
お預り	¥40,000
お 釣	¥9,450



ポイント 預かり金処理で **万円** を使うと、点検／精算レポートに「一万円札」の枚数が印字されます。(商品登録時の使用はカウントされません。)

日付と時刻を表示する

モードスイッチの位置を「登録」または「戻」にして **×/日時** を押すと、日付と時刻を表示します。 **C/AC** を押すと元に戻ります。
日付と時刻のセットは、「日時を設定する」(70 ページ) を参照してください。



ポイント ・登録途中、日付と時刻は表示できません。
・日付、時刻の表示中に、他の操作はできません。

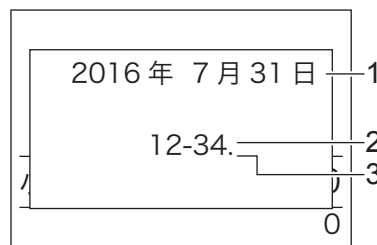
手順

操作

表示例

1 日付・時刻を確認します。

×/日時



1: 年／月／日
2: 時 (24 / 12 時間制) / 分
3: 1 秒ごとの点滅 (秒表示も可能)

2 日付・時刻表示を解除します。

C/AC

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

入金処理と出金処理

売上とは関係ない現金をドロアーに入れる

掛け売り代金の受け取りや釣銭用小銭の補充など、売上とは関係ない現金をドロアーに入れる（＝入金）ときは、で登録して記録を残します。

この操作で、点検／精算時にドロアー内の現金在高を正確に把握できます。

操作例

釣り銭準備として 8,000 円をドロアーに入れます。



手順

操作

印字例

- 1 入金額を入力して、を押します。

8 0 0 0 

2016-07-31 11:52	
000081	
入金	¥8,000

売上とは関係ない現金をドロアーから出す

集金や、ドロアーがいっぱいになったときなど、売上とは関係ない現金をドロアーから出す（＝出金）ときは、で登録して記録を残します。

この操作で、点検／精算時にドロアー内の現金在高を正確に把握できます。

操作例

1 万円札を 15 枚ドロアーから金庫に移します。



手順

操作

印字例

- 1 出金額を入力して、を押します。

1 5 万円 

2016-07-31 12:04	
000088	
出金	¥150,000

番号を印字する／レシートの発行と停止

伝票番号や商品コードを印字する

レシートに売上金額ではない数値（伝票番号、商品コード、お客様番号、電話番号など）を印字できます（番号印字）。印字できる数値は最大 14 桁です。

操作例

お客様番号 <1001> に下記の商品売り上げます。

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,230	1	部門 1 (+ 1)	¥20,000
¥3,500	1	部門 3 (× 3)	
¥8,800 (商品コード 53344830)	1	部門 2 (- 2)	

登録



手順

操作

印字例

- 1 お客様番号を入力して、**#** を押します。
- 2 商品を登録します。
- 3 商品コードを入力して、**#** を押します。
- 4 商品を登録します。
- 5 **小計** を押し、お預かり金を入力して **現/預** を押します。

1 0 0 1 #
1 2 3 0 + 1
3 5 0 0 × 3
5 3 3 4 #
4 8 3 0 #
8 8 0 0 - 2
小計 2 万円 現/預

1001 1

2016-07-31 11:40
000074

部門 01 ¥1,230
部門 03 ¥3,500
53344830 2
部門 02 ¥8,800
対象計 8.0%
¥13,530
内税 ¥1,002
合 計 ¥13,530
お預り ¥20,000
お 釣 ¥6,470

1: お客様番号
2: 商品コード

レシートの発行／停止と後レシート発行

レシート発行/停止 を使った発行と停止の切り替え

レシート発行 を使った後レシート発行

プリンターをレシート発行用として使用中に、**レシート発行/停止** を 2 回続けて押すと、レシートを発行する／しない（停止）の切り替えができます。

レシート発行しない（停止）設定にすると、レシートは発行されません。取引後にお客様からレシートの発行を求められた場合は、**レシート発行** を押して直前取引のレシートを発行できます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品券／クレジットの売上

商品券で売り上げる

商品券（券売り）での売上は、券 で登録します。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥2,380	2	部門 2 - 2	¥5000 の商品券



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

2 3 8 0

- 2 - 2 小計

2 商品券の預かり金額を入力して、券 を押します。

5 0 0 0 券

2016-07-31 13:37		000208
部門 02		¥2,380
部門 02		¥2,380
対象計	8.0%	¥4,760
内税		¥353
合 計		¥4,760
商品券		¥5,000
お 釣		¥240

1

1: 券売りの預かり額

クレジットカードなどの信用売りで売り上げる

クレジットカードなどの売上は、信1 または 信2 で登録します。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥35,000	1	部門 1 + 1	なし (クレジット)



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

3 万円

5 0 0 0 + 1 小計

2 信1 を押します。

信1

2016-07-31 13:40		000210
部門 01		¥35,000
対象計	8.0%	¥35,000
内税		¥2,593
クレジット		¥35,000

1

1: 信用売り

混在する支払い方法の売上

一部を商品券・残りを現金で売り上げる

登録終了時（締め）に使う 、、、、 は、1 つに限定する必要はありません。商品券と現金、商品券とクレジットカードなどの、組み合わせた売上を処理します。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥2,350	1	部門 2 	商品券 ¥5,000
¥3,820	1	部門 1 	現金 ¥1,500

登録



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

小計

2 商品券の預かり金額を入力して、 を押します。

3 現金の預かり金額を入力して、 を押します。

2016-07-31 13:43
000212

部門 02		¥2,350	
部門 01		¥3,820	
対象計	8.0%	¥6,170	
内税		¥457	
合 計		¥6,170	1
商品券		¥5,000	
お預り		¥1,500	2
お 釣		¥330	3

- 1: 商品券分
- 2: 現金預かり分
- 3: おつり



一部入金を「不可」に設定すると、小計額よりも少ない預かり金を入力した場合に警告音（エラーブザー）を鳴らすことができます。設定は、「   」（105 ページ）を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

領収書を発行する

取引直後に領収書を発行する

領収書を発行するときは、売上レシートを発行した後に  キーを押します。レシートが「停止」状態であっても発行できます。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥60,000	1	部門 1 	¥60,000

登録 

手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

 万円 

2 預かり金額を入力して、
 を押します。

 万円 

3  を押します。



カシオ商店
渋谷区本町 1-6-2
電話 1234-5678

2016-07-31 10:02
000025-1

部門 01	¥60,000
対象計	8.0% ¥60,000
内税	¥4,444
合計	¥60,000
お預り	¥60,000
お釣	¥0

1: レシート一連番号



- ・弊社 Web (<http://casio.jp/support/ecr/>) からダウンロードしたパソコンのレジスターツールで、領収書に店名ロゴ・住所などを印字できます。(別途 SD メモリーカードが必要です。)
- ・同梱の「電子店名スタンプ注文書」(有償) でも承っています。

領収書印字例

2016 年 07 月 31 日
1 一連 No000025
2 領収 No000004

領 収 書

3 

様

¥60,000- 対象計 8.0% ¥60,000
内税 ¥4,444

(但し として正に領収いたしました)
印刷面を内側に折って保管願います

7 

カシオ商店 渋谷区本町 1-6-2
電話 1234-5678

- | | | |
|---------------|---------------------------|-----------|
| 1 レシート一連番号 | 4 領収書中の税額 | 7 収入印紙貼付欄 |
| 2 領収書一連番号 | 5 但し書き (ご購入時の設定は「印字無し」です) | |
| 3 お客様名を書き込みます | 6 店名ロゴ部分 | |



- ・ご購入時の設定では、税抜金額 ¥50,000 以上の場合収入印紙貼付欄が印字されます。¥50,000 未満の場合は印字されません。
- ・但し書きをご購入時の設定「印字無し」のままご使用の場合は、手書きで記入してください。
- ・印字内容の変更は、「内容変更できる主な印字項目」(109 ページ) を参照してください。

領収書を発行する

金額指定の領収書発行

金額を入力して、領収書の発行ができます。



手順

操作

1 領収書の額面金額を入力して、を押します。

5000 

領収書印字例

2016年07月31日 一連 No000025 領収 No000004	領 収 書	様
¥5,000-		印
(但し として正に領収いたしました) 印刷面を内側に折って保管願います		
カシオ商店		渋谷区本町 1-6-2 電話 1234-5678



- ・取引中にこの操作はできません。取引が完了してから発行処理をしてください。
- ・税額は印字されません。
- ・ご購入時の設定では、税抜金額 ¥50,000 以上の場合、収入印紙貼付欄が印字されます。¥50,000 未満の場合は印字されません。
- ・印字内容の変更は、「内容変更できる主な印字項目」(109 ページ) を参照してください。

領収書発行時のレシート用紙のご注意

- 領収書には、高保存タイプのロールペーパーの使用をお勧めします。
- 感熱記録紙(サーマル用紙)は、通常紙に比べて吸湿性が劣る傾向があります。収入印紙貼付後や捺印後は、すぐに擦ったりしないでください。
- 感熱記録紙(サーマル用紙)は、強い光に当てると印字が見えにくくなります。保管・保存には注意してください。
- お客様にお渡しするときは、「汚れ防止」と「光から遮断」のため、印字面を内側に2つ折りにしてお渡しください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

クーポン券を発行する

「売上の合計金額」×「ポイント率」で「ポイント」を計算し、レシートの末尾にクーポン券として印字します。
「クーポン券のポイント率を設定する」(120 ページ) でポイント率を設定すると、自動でクーポン券を発行する設定になります。

操作例

ポイント率を 1 % に設定します。

単価	数量	部門キー	預かり金
¥2,380	2	部門 2 -2	¥5,000



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

2 3 8 0

2 預かり金を入力して、
を押します。

5 0 0 0

2016-07-31 13:37

000214

部門 02		¥2,380
部門 02		¥2,380
対象計	8.0%	¥4,760
内税		¥353
合 計		¥4,760
お預り		¥5,000
お 釣		¥240

ポイント

47

◇印刷面を内側に折って◇

◇保管してください◇

1

1: クーポン券メッセージ



ポイント クーポンの半券に印字するメッセージを設定する場合は、「メッセージを設定する」ポイント券メッセージ (72 ページ) を参照してください。

担当者機能を使う

レジ担当者機能とは

担当者機能を「使用する」に設定すると、レジ操作時は最初に担当者番号を入力して **担当者** を押す必要があります。この手順を省くとレジを使用できません。

- ・ スタッフごとに担当者番号を決めておくと誰がレジを操作したかを明確にでき、担当者名をレシートに印字したり、担当者別に売上を集計できます。
- ・ ご購入時、担当者番号は01～20に設定されています。任意の4桁の数字に変更してパスワード(暗証番号)としてご使用いただければ、セキュリティの向上を図れます。



ポイント ご購入時の設定では、担当者機能は使用しないに設定されています。設定を変更する場合は、「基本設定」担当者機能 (73 ページ) を参照してください。

レジ担当者を使う場合の登録手順

レジスターに担当者が指定されている状態を「サインオン」状態、指定されていない状態を「サインオフ」状態と呼びます。

操作例

担当者 -01 をサインオンします。



手順

操作

- 1** 担当者番号を入力して、 **担当者** を押します。
これでレジが使える状態になります。

01 **担当者**



ポイント パスワードとして使用する場合は、担当者番号を入力する前に **担当者** を押すと、表示窓に担当者番号を表示しません。

操作例

担当者 -01 をサインオフします。

手順

操作

- 1** ゼロを入力して、 **担当者** を押します。
レジは使えなくなります。

0 **担当者**



- ポイント**
- ・ レシートに印字する担当者の名前を変更する場合は、「担当者を設定する」(71 ページ) を参照してください。
 - ・ 担当者がサインオン時の番号(ご購入時は担当者番号と同じ)を、任意の4桁の数字(0001～9999)に変更できます。設定は「担当者を設定する」(71 ページ) を参照してください。
 - ・ 印字例は、「レシート・ジャーナルの見方」(23 ページ) を参照してください。

飲食店向け機能を使う

本機は、テーブル別売上管理機能（チェックトラッキング機能）を持っています。テーブルごとのオーダー登録や追加登録、仮締めができます。（飲食店向けの機能を使う場合は各種設定が必要になります。販売店にご相談ください。）

新しく伝票を登録する

新しくテーブルに着いたお客様から注文を受けた場合、 で新しい伝票番号を指定してから、登録をします。（伝票番号として、従来からお使いの紙に印刷された伝票個々の番号やお店のテーブルに振られた番号が使用できます。）

操作例

新規のお客様を伝票番号 1234 でオーダーを登録します。

単価	数量	部門キー	預かり金
¥10,000	1	部門 1 	仮締め



手順

- 1 伝票番号を入力します。
- 2 オーダーを登録します。
- 3  を押します。

操作



印字例



伝票に追加登録する

お客様からの追加注文を受けた場合、 でお客様の伝票番号を指定して登録した内容を出し、追加登録したり支払いします。

操作例

伝票番号 1234 のお客様の追加オーダーを登録し、取引を終了します。

単価	数量	部門キー	預かり金
¥20,000	1	部門 2 	¥30,000



手順

- 1 伝票番号を入力します。
- 2 オーダーを登録します。
- 3 取引を終了します。

操作



印字例

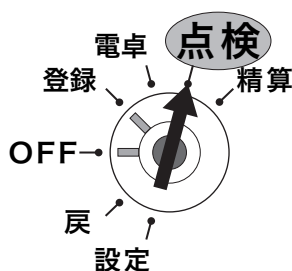


ポイントは  は「システム設定：キー配列の変更」を参照して設定してください。（126 ページ）

売上の点検と精算

点検とは、営業中にその日の途中経過を確認する操作です。

点検時のモードスイッチ位置



モードスイッチの位置を「点検」または「精算」にすると、本体表示にメニューが表示されます。  を押して点検する項目にカーソルを合わせ、 を押します。

レポート名称とその内容

●在売点検

売上と在 high (ドロアー内の現金などの合計) をワンタッチで知ることができます。

●日計明細

1 日の最後に必ず精算してください。

売上総額、ドロアー内の現金 in high、税額総計等、取引別の内容 (現金、商品券、クレジット等や割引、値引き、入出金)、部門別の売上状況、レジ担当者別の扱い金額などを集計します。

●PLU

個々の商品別の売上金額と売上数量を集計します。

●時間帯

一日の売上を時間帯別に集計します。

●グループ

数個の部門をグループにまとめて合計を集計します。

●月間日別

1 ヶ月の売上を日付別に集計します。

●期間集計 1

週単位や月単位など、一定期間の売上を累積します。「期間」は、レジに何かの値を設定するのではなく、期間集計 1 を精算して以降の売上を自動で累積し続けます。週単位であれば「週末の閉店後」、月単位であれば「月末の閉店後」などの運用ルールを決め、定期的に期間集計 1 を精算してください。

●期間集計 2

期間集計 1 とは別に、もう 1 つ期間集計します。例えば、キャンペーン期間中や半年分など、期間集計 1 とは異なる期間の集計にご使用ください。操作方法は期間集計 1 と同じです。

●電子ジャーナル

電子的に記録された営業記録 (ジャーナル) を印字します。開始日付、開始一連番号を指定できます。ご購入時の設定では、電子ジャーナルの記録は「日計明細の精算」により消去されます。

- ・電子ジャーナルを消去せず残す場合は、「日計明細の精算で電子ジャーナルをクリアしない設定」(114 ページ) にしてください。このとき、電子ジャーナルがいっぱいになると以降の記録はできません。
- ・電子ジャーナルの空き容量が少なくなると通知されます。できるだけ早く精算してください。(精算すると電子ジャーナルの記録は自動でクリアされます。)
- ・電子ジャーナルは SD メモリーカードへ保存することができます。(83 ページ「SD カードー売上/EJ 保存設定」)

●個別 (部門 / PLU)

知りたい部門や PLU を指定して見ることができます。

- 💡ポイント ・グループ集計は、「部門」にあらかじめグループ番号を設定する必要があります。(68 ページ)
- 💡ポイント ・「明細レポートへの売上構成比」を「印字する」に設定します。(110 ページ)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

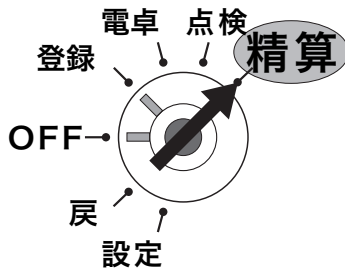
設定の仕方

こんなときは

売上の点検と精算

精算とは、閉店後に売上データを集計してレポート印字したあと、元になったデータをクリア（ゴハサン）にする操作です。

精算時のモードスイッチ位置



モードスイッチの位置を「点検」または「精算」にすると、本体表示にメニューが表示されます。 を押して精算する項目にカーソルを合わせ、 を押します。

レポートとキー操作

点検または精算は、モードスイッチ位置を「点検」または「精算」にして以下のキーで操作します。点検・精算によって、メモリの中に集計された内容が印字出力されます。これを「レポート」と呼びます。

レポート名称	キー操作	点検	精算	取引データをクリアする 操作（精算）	参照ページ
在売点検	で選択して	○	×		51
日計明細	で選択して	○	○	日計明細の精算 電子ジャーナル消去（印字せず）※1	51
PLU	で選択して	○	○	PLU の精算	52
時間帯	で選択して	○	○	時間帯の精算	53
グループ	で選択して	○	○	グループの精算	54
月間日別	で選択して	○	○	月間の精算	55
期間集計 1	で選択して	○	○	期間集計 1 明細の精算	51
期間集計 2	で選択して	○	○	期間集計 2 明細の精算	51
電子ジャーナル	で選択して	○	○	電子ジャーナルの精算 日計明細の精算	56
電子ジャーナルクリア	で選択して	×	○	電子ジャーナル消去（印字せず）※1	56
オープンチェック	で選択して	○	○	オープンチェックの精算	57
部門個別	部門キー、・・・ 最後に	○	×		58
PLU 個別	PLU 番号 、・・・ 最後に	○	×		58

※1 ご購入時の設定では、「日計明細の精算」によってクリアされます。クリアしない設定は、「電子ジャーナル」（114 ページ）を参照してください。

※ レポートには、集計された内容のほか「種別コード」・「レポートタイトル」などが印字されます。点検時は、印字シンボル「X」、精算時には印字シンボル「Z」が印字されます。精算レポートによっては、累積発行数（精算回数と呼びます）を印字します。

※長いレポートを途中で止めたい場合は…
 を 2 回押します。（止まるまで数秒かかるときもあります。）

売上の点検と精算

在売点検の点検



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 を押して「在売点検」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 印刷する場合は 、印刷せずに戻る場合は を押します。

印字例

点検	2016-07-31 19:30
担当 -01	0001-000370
在売点検	X
総売	1059 個
	¥524,966
純売	158 件
	¥498,747
現金在高	¥405,361
券在高	¥2,890
信在高	¥37,405

- 1: レポートタイトル／点検シンボル
- 2: 総売上個数
- 3: 総売上金額
- 4: 純売上件数（客数）
- 5: 純売上金額
- 6: 現金在高
- 7: 商品券在高
- 8: 信用売在高

日計明細／期間集計の点検・精算



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「点検」または「精算」にします。
 - 2 日計は、 を押して「日計明細」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 期間集計 1、期間集計 2 も、それぞれ「期間集計 1」、「期間集計 2」にカーソルを合わせて を押します。

印字例

精算	2016-07-31 10:53
担当 -01	0001-000048
0000 日計明細	Z 0002
部門 01	505 点
44.04%	¥231,167
部門 02	411 点
39.75%	¥208,689
部門 03	32 点
0.70%	¥14,297
担当 -01	138 件
	¥309,873
担当 -02	20 件
	¥188,874

- 1: レポートタイトル、コード／精算シンボル／精算回数
- 2: 部門名／売上個数
- 3: 売上構成比・売上金額
- 4: 担当者 -01 純売上件数
- 5: 担当者 -01 純売上金額

印字例は日計明細の精算です。
※期間集計 1 および期間集計 2 の印字は、精算（点検）シンボルが、「XX」または「ZZ」になります。（以外の印字は変わりません。）

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

売上の点検と精算

PLU の点検・精算



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「点検」または「精算」にします。
- 2 を押して「PLU」にカーソルを合わせ、 を押します。

印字例

精算 2016-07-31 21:15		
担当 -01 0001-09543		
0001 P L U	Z 0001	1
PLU0001	126 点	2
1.23%	¥38,430	2
PLU0003	94 点	3
0.95%	¥29,892	3
PLU0007	162 点	4
1.13%	¥35,324	4
PLU0016	141 点	
1.02%	¥57,246	

合計	4,163 点	5
10.23%	¥1,872,484	6

- 1: 種別コード／レポートタイトル／精算シンボル／精算回数
 - 2: PLU001 名称／個数／構成比／金額
 - 3: PLU003
 - 4: PLU007
 - 5: 全 PLU の合計個数
 - 6: 構成比／合計金額
- ※構成比は、総売上に対する個々の比率です。
- ※集計数値のない PLU は印字をスキップします。

売上の点検と精算

時間帯別集計の点検・精算



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「点検」または「精算」にします。
- 2 を押して「時間帯」にカーソルを合わせ、 を押します。

印字例

精算 2016-07-31 21:26		
担当 -01 0001-017251		
0002 時間帯	Z 0004	1
07:00 - 8:00	13 件	2
	¥30,230	
08:00 - 9:00	35 件	3
	¥107,380	
09:00 - 10:00	123 件	4
	¥339,940	
10:00 - 11:00	307 件	5
	¥918,350	
11:00 - 12:00	346 件	6
	¥998,030	
20:00 - 21:00	186 件	7
	¥532,040	
21:00 - 22:00	24 件	8
	¥73,340	
22:00 - 23:00	2 件	9
	¥5,340	
合計	5,773 件	10
	¥17,058,650	

- 1: 種別コード／レポートタイトル
／精算シンボル／精算回数
 - 2: 時間帯 07:00 ～ 08:00
 - 3: 時間帯 08:00 ～ 09:00
 - 4: 時間帯 09:00 ～ 10:00
 - 5: 時間帯 10:00 ～ 11:00
 - 6: 時間帯 11:00 ～ 12:00
 - 7: 時間帯 20:00 ～ 21:00
 - 8: 時間帯 21:00 ～ 22:00
 - 9: 時間帯 22:00 ～ 23:00
 - 10: 時間帯総合計／純売上金額合計
- ※集計数値のない時間帯は印字をスキップします。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

売上の点検と精算

グループ別集計の点検・精算



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「点検」または「精算」にします。

2 を押して「グループ」にカーソルを合わせ、 を押します。

印字例

点検	2016-07-31 13:56	
担当 -01	0001-000156	
0006 グループ	X	1
グループ 01	47 点	2
4.89%	¥14,582	3
グループ 02	38 点	4
5.24%	¥15,624	5
グループ 03	54 点	6
5.39%	¥16,062	7
グループ 05	89 点	8
14.61%	¥43,528	9
グループ 06	7 点	10
	¥3,527	11
グループ 08	2.03%	
	¥6,073	
グループ 09	9 点	
1.61%	¥4,813	
グループ 10	7 点	
1.32%	¥3,955	
合計	576 点	
99.87%	¥297,836	

- 1: 機種コード／レポートタイトル／点検シンボル
- 2: グループ 01 / 個数／構成比／金額
- 3: グループ 02
- 4: グループ 03
- 5: グループ 05
- 6: グループ 06
- 7: グループ 08
- 8: グループ 09
- 9: グループ 10
- 10: 点検分の合計個数
- 11: 点検分の合計金額

売上の点検と精算

月間日別集計の点検・精算



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「点検」または「精算」にします。
- 2 を押して「月間日別」にカーソルを合わせ、 を押します。

印字例

精算 2016-07-31 20:46	
担当 -01 0001-023652	
0003 月間日別	Z 0003
1	191 件
2	¥564,360
3	179 件
4	¥532,250
	236 件
	¥712,560
	261 件
29	305 件
30	¥903,260
	215 件
	¥641,070
合計	5,773 件
	¥17,058,650

- 1: 種別コード／レポートタイトル／精算シンボル／精算回数
 - 2: 1 日／売上件数／純売上金額
 - 3: 2 日
 - 4: 3 日
 - 5: 29 日
 - 6: 30 日
 - 7: 月間日別件数合計
 - 8: 純売上合計
- ※集計数値のない日付は印字をスキップします。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

売上の点検と精算

電子ジャーナルの区間点検

ある決まった日付や一連番号からのジャーナルを印字します。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 を押して「電子ジャーナル」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押して「開始指定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4 日付または一連番号を選択し、直接数字を入力して を押します。
 を押すと表示がスクロールします。

表示例

月間日別	▲
期間集計 1	
期間集計 2	
電子ジャーナル	▼
選択して確定<現 / 預>	
点検	0

電子ジャーナル	
開始指定	
全部	
点検	

開始指定	
日付指定	
20[00] 年 [01] 月 [05] 日	
一連番号	
[000000]	
戻る<小計>確定<現 / 預>	

- 5 印刷する場合は 、印刷せずに戻る場合は を押します。

※開始日付、開始一連番号の指定を省く場合は、手順 3 で「全部」にカーソルを合わせて を押します。
※開始一連番号は、最大 6 桁です。

電子ジャーナルの消去

電子ジャーナルを印字せずに消去します。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「精算」にします。
- 2 を押して「ジャーナル消去」にカーソルを合わせ、 を押します。

表示例

期間集計 1	▲
期間集計 2	
電子ジャーナル	
ジャーナル消去	▼
選択して確定<現 / 預>	
精算	0

売上の点検と精算

オープンチェックの点検・精算

点検  精算 

手順と操作

1 モードスイッチの位置を「点検」または「精算」にします。

2   を押して「オープンチェック」にカーソルを合わせ、  を押します。

印字例

点検	2016-07-31 17:26	
担当 -01	0001-023712	
0025	オープンチェック	X
伝票 No : 6	2016-07-31 13:13	
担当 -01	000042	
	¥1,200	
伝票 No : 2	2016-07-31 13:20	
担当 -01	000044	
	¥2,450	
伝票 No : 3	2016-07-31 13:45	
担当 -01	000046	
	¥3,410	
合計	¥7,060	

- 1: 機種コード／レポートタイトル／点検シンボル
- 2: 伝票 No. / 日付時刻 / 担当者 / 一連番号 / 金額
- 3: 点検分の合計金額

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

売上の点検と精算

部門個別の点検

操作例

部門 1 と 3 の売上金額を確認します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「点検」にします。

2 点検する部門キーを押します。

3 を押します。

印字例

点検	2016-07-31 19:23	
担当 -01	0001-000369	
		X ——— 1
部門 01	38 点	2
	¥25,753	3
部門 03	23.6 点	4
	¥22,957	
合計	111.6 点	5
	¥72,233	6

- 1: 点検シンボル
- 2: 部門 01 名称／個数
- 3: 部門 01 金額
- 4: 部門 03
- 5: 点検分の合計個数
- 6: 合計金額

PLU 個別の点検

操作例

PLU 番号 111、112、200 の売上金額を確認します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「点検」にします。

2 PLU 番号を入力して、 を押します。次の PLU を点検するときは、番号を入力せずに を押します。

3 を押します。

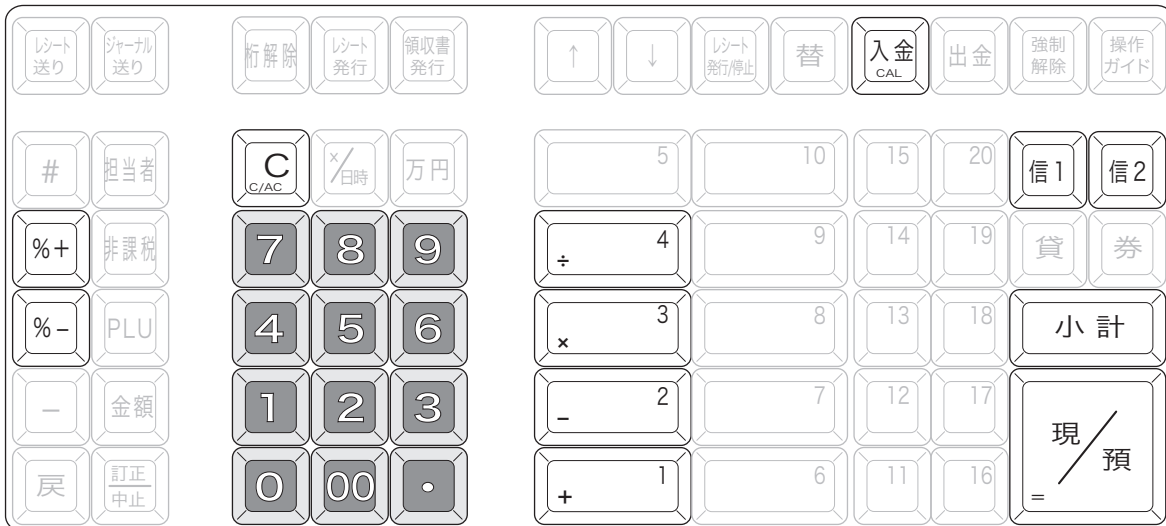
印字例

点検	2016-07-31 19:30	
担当 -01	0001-000380	
		X ——— 1
PLU0111	10 点	2
	¥1,200	3
PLU0112	4 点	4
	¥520	
PLU0200	17 点	5
	¥1,700	
合計	88 点	6
	¥12,562	7

- 1: 点検シンボル
- 2: PLU111 名称／個数
- 3: PLU111 金額
- 4: PLU112
- 5: PLU200
- 6: 点検分の合計個数
- 7: 合計金額

電卓機能の使い方

モードスイッチの位置を「電卓」にすると、下図のキーで電卓と同様に計算できます。そのほかにも便利な機能があります。ご活用ください。



注意 10桁（負数のときは9桁）を超えるとエラーになります。

ポイント ・計算命令キーは、上記のほか $\square$ が減算に、 $\square$ が乗算に使用できます。
・電卓モード中は、 $\square$ を押すとドロアーが開きます。

税抜き金額・税額を計算する

信1 信2

1,500 円の税抜き金額と内税額は？
（「税 1」が税率 8 %、内税、端数四捨五入の場合）



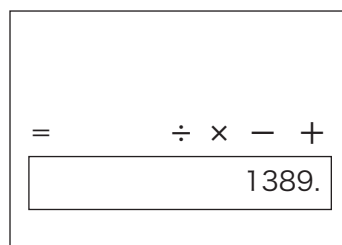
操作

C/AC 1 5 0 0 信1

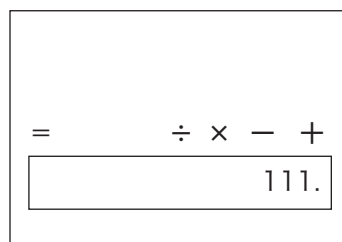
（続けて）

信1

表示例



税抜き金額



内税額

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

電卓機能の使い方



- ・税計算は、「税 1」に設定されている税率、計算方式、端数処理方法が使用されます。設定内容によって、求められる答は異なります。
- ・端数処理の設定については、「税額の 1 円未満の端数処理を設定する」(95 ページ)を参照してください。

%- を使って計算する



%- を使うと下表の計算が簡単にできます。



	演算内容	キー操作	数式
割合計算	a 円の b % を求める	a [× 3] b [%-]	$a \cdot b / 100$
割増計算	a 円の b % 増しを求める	a [× 3] b [%-] [+ 1]	$a + (a \cdot b / 100)$
割引計算	a 円の b % 引きを求める	a [× 3] b [%-] [-]	$a - (a \cdot b / 100)$
比率計算	a 円は b 円の何%かを求める	a [+ 4] b [%-]	$a / b \cdot 100$
増減比率計算	b 円から a 円に変化したときの b 円に対する変化率を求める	a [-] b [%-]	$(a - b) / b \cdot 100$
売価設定計算	原価 a 円の商品を利益率 b % で販売するときの売価を求める	a [+ 1] b [%-]	$a / (1 - b / 100)$

消費税改定による新単価を計算する

消費税が改定される際は、事前に商品の単価を見直す必要があります。
「税込み商品（内税）の単価が、税率改定によっていくらになるか？」
今まで説明したキー操作を組み合わせることで簡単に求めることができます。

操作例

現在、税込 1 万円（内税 8 %）の商品が、税率 10% になるといくらになるか。



操作

1 0 0 0 0

信 1

表示例

= ÷ × - +
10000.

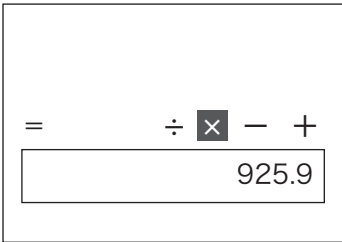
= ÷ × - +
9259.

「10000」の税抜き価格（税率 8 %）

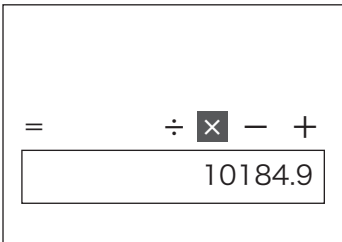
電卓機能の使い方

× 3 1 0 % -

+ 1



「9259」の10%分



税率（10%）での税込価格

呼び出し機能を使って計算する

入金
CAL

操作例

- 以下の商品の売上合計を4人で割り勘にします。
- ・部門1キーに登録されている単価930円の商品を4個お買い上げ
 - ・部門2キーに登録されている単価1,240円の商品を1個お買い上げ



手順	操作	表示例
----	----	-----

- 1 モードスイッチの位置を「登録」にします。
- 商品登録します。

4 $\times$ /日時 9 3 0 + 1
1 2 4 0 - 2

4 点	@930
部門 01	¥ 3,720
部門 02	¥ 1,240
小計	¥ 4,960
5 点	1,240

- 2 小計 を押します。

小計

4 点	@930
小計	5 点
	¥ 4,960
5 点	1,240

合計金額

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

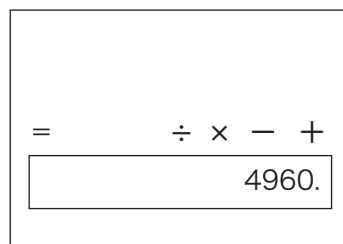
こんなときは

電卓機能の使い方

3 モードスイッチの位置を「電卓」にします。

 を押します。



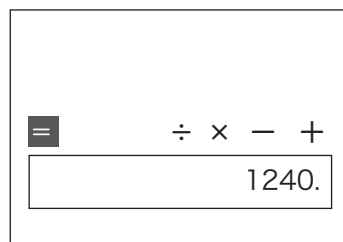


A calculator screen with a numeric keypad and a display showing 4960. The keypad includes buttons for =, ÷, ×, −, +, and a display area.

呼び出された合計金額

4 割り勘の計算をします。



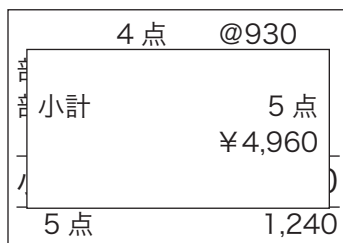
A calculator screen with a numeric keypad and a display showing 1240. The keypad includes buttons for =, ÷, ×, −, +, and a display area.

1人当たり割り勘額

5 モードスイッチの位置を「登録」にします。

 を押すと、元の状態（手順2）に戻ります。





A calculator screen with a numeric keypad and a display showing 4,960. The keypad includes buttons for =, ÷, ×, −, +, and a display area. The screen also shows 1,240 and 4,960.

合計金額



- ・電卓時に呼び出せる数値は、最終登録時の合計金額（ を押したときに表示される数値）です。また、登録中に呼び出せる数値は、電卓時の最終の答（「イコール」で求められた数値）です。
- ・小数点以下がある「電卓」時の答を「登録」中に持ってきたときは、小数点以下が切り捨てられます。また、マイナスや“0”の答を持ってきた場合は、エラーになります。

設定メニュー

モードスイッチの位置を「設定」にすると、本体表示に設定項目ごとのメニューが表示されます。**↑** **↓** を押して設定する項目にカーソルを合わせ、**現/預** を押します。戻る場合は **小計** を押します。

1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定

選択して確定<現 / 預>
設定

メニュー構成

				参照ページ
1. 設定	1. 商品設定	1. PLU の設定	PLU 名称	65、66
			単価	
			税種	
			部門リンク	
			品番 PLU	
			バーコード	
		2. 部門の設定	部門名称	67、68
			単価	
			税種	
	3. グループの設定		グループリンク	69
	2. 日時設定			70
	3. 担当者設定	担当者名		71
		担当者番号（暗証番号）		
	4. メッセージの設定	ロゴメッセージ		72
		コマーシャルメッセージ		
		ボトムメッセージ		
		レシート住所、TEL		
		ポイント券メッセージ		
		簡易お知らせ		
	5. 基本設定	キー操作音		73
		客用表示		
		担当者機能		
		ジャーナル圧縮		
レシート背景				
丸め				
QR コードレポートに印刷				
6. ファンクションキー設定	－（マイナス）		74	
	%－			
	%＋			
7. 税設定	税率設定	消費税率 1	75	
		消費税率 2		
課税方式一括設定			76	
8. 領収書設定	但し書き		77	
	領収書タイトル			
	税額印字			
	収入印紙必要額			

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

設定メニュー

			参照ページ	
1. 設定	9. LOGO/TEXT 切り替え設定	レシート店名ロゴ		83
		レシート住所 /TEL		
		コマーシャルメッセージ		
		ボトムメッセージ		
		サーマルポップ		
		領収書店名ロゴ		
		領収書住所 /TEL		
	0. 予約設定	予約起動日	予約起動日	78 ～ 81
			単価	
			課税方式	
		税予約設定	予約税率 1	
			予約税率 2	
		部門予約設定	単価	
			税種	
		PLU 予約設定	単価	
			税種	
		予約課税方式一括設定		
		予約設定読込元		
		予約解除		
2.SD カード	1. 設定書込み		82	
	2. 設定読込み		84	
	3. 電子店名スタンプ読込み		85	
	4. 内部電子店名スタンプ消去		83	
	5. LOGO/TEXT 切り替え設定	レシート店名ロゴ		83
		レシート住所 /TEL		
		コマーシャルメッセージ		
ボトムメッセージ				
サーマルポップ				
領収書店名ロゴ				
領収書住所 /TEL				
6. 売上 /EJ 保存設定		83		
3. 設定点検印字	1. 設定点検		86	
	2. PLU の設定点検		87	
	3. 予約設定点検	部門／税の予約設定点検	88	
		PLU の予約設定点検	89	
	4. バージョン確認		－	
4. システム設定			－	

設定－商品設定

PLU を設定する

操作例

PLU に関する設定をします。

手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2   を押して「1. 設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3   を押して「1. 商品設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4   を押して「1.PLU の設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 5 設定する PLU No. を入力して、 を押します。
- 6   を押して設定する PLU にカーソルを合わせ、 を押します。

表示例



1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定

選択して確定<現 / 預>
設定

1. 商品設定
2. 日時設定
3. 担当者設定
4. メッセージ設定
5. 基本設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

1. PLU の設定
2. 部門の設定
3. グループの設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

PLU No. を入力してください

PLU No.

戻る<小計>確定<現 / 預>

0001.[PLU0001]
0002.[PLU0002]
0003.[PLU0003]
0004.[PLU0004]
0005.[PLU0005]

戻る<小計>確定<現 / 預>

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

設定一商品設定

7   を押して設定する項目にカーソルを合わせ、 を押します。手順を1つ戻る場合は  を押します。

0001.	[PLU0001	]
単価	[	0]
税種	[	消費税1内税]
部門	リンク	[ノンリンク]
品番 PLU	[	]
戻る<小計>確定<現 / 預>		

設定項目	説明	参照ページ
PLU 名	PLU の名称です。カーソルを合わせ、直接文字を設定します。	34
単価	単価を設定します。カーソルを合わせ、置数キーで直接数字を入力します。	
税種	税設定で設定されている税種から選択します。	
部門リンク	どの部門に属するか設定します。	
品番 PLU	「はい」を選択すると、上で設定した単価と異なる単価を入力できます。	
バーコード	バーコードスキャナーを使う場合に、バーコードの数字を入力します。	

PLU 名の文字入力 は 96、97、98（手順 2 以降）ページを参照してください
バーコードは PLU0217 以降に設定してください。

設定－商品設定

部門を設定する

操作例

部門に関する設定をします。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「1. 設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押して「1. 商品設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4 を押して「2. 部門の設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 5 設定する部門 No. を入力して、 を押します。
- 6 を押して設定する部門にカーソルを合わせ、 を押します。

表示例

1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定

選択して確定<現 / 預>
設定

1. 商品設定
2. 日時設定
3. 担当者設定
4. メッセージ設定
5. 基本設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

1. PLU の設定
2. 部門の設定
3. グループの設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

部門 No. を入力してください

部門 No.

戻る<小計>確定<現 / 預>

01. [部門 01]
02. [部門 02]
03. [部門 03]
04. [部門 04]
05. [部門 05]

戻る<小計>確定<現 / 預>

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

設定一商品設定

7   を押してカーソルを合わせ、 を押します。手順を 1 つ戻る場合は  を押します。

01.	[部門 01]
単価	[0]
税種	[消費税 1 内税]
グループリンク	[グループ 01]
 < 小計 > 確定 < 現 / 預 >	

設定項目	説明	参照ページ
部門名	部門の名称です。カーソルを合わせ、直接文字を設定します。	31
単価	部門キーを押すだけで設定した単価が登録されます。カーソルを合わせ、置数キーで直接数字を入力します。	
税種	税設定で設定されている税種から選択します。	
グループリンク	どのグループに属するか設定します。	

部門名の文字入力 は 96 ～ 98 ページを参照してください。

設定－商品設定

グループを設定する

操作例

グループの名称を設定をします。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「1. 設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押して「1. 商品設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4 を押して「3. グループの設定」にカーソルを合わせます。
- 5 設定するグループ No. を入力して、 を押します。
- 6 を押して設定するグループにカーソルを合わせ、 を押してグループ名を設定します。文字入力の方法は 96 ページ～を参照してください。
- 7 入力が完了したら を押します。手順を 1 つ戻る場合は を押します。

表示例

1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定

選択して確定<現 / 預>
設定

1. 商品設定
2. 日時設定
3. 担当者設定
4. メッセージ設定
5. 基本設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

1. PLU の設定
2. 部門の設定
3. グループの設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

グループ No. を入力してください

グループ No.

戻る<小計>確定<現 / 預>

0001. [グループ 01]
0002. [グループ 02]
0003. [グループ 03]
0004. [グループ 04]
0005. [グループ 05]

戻る<小計>確定<現 / 預>

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

設定一日時設定

日時を設定する

操作例

2016 年 7 月 31 日 15 時 26 分に設定します。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「1. 設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押して「2. 日時設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4 年は西暦年の下 2 桁、月と日を 2 桁で入力します。
時刻は 24 時間制で、時と分を 2 桁で入力します。
入力後、 を押します。修正する場合は を押すと 1 桁戻ります。
- 5 入力が完了したら を押して確定します。手順を 1 つ戻る場合は を押します。

表示例

1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定

選択して確定<現 / 預>
設定

1. 商品設定
2. 日時設定
3. 担当者設定
4. メッセージ設定
5. 基本設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

日時を設定してください

20[16]年[07]月[31]日
(24時間制) [15]時[25]分

修正<C>確定<現 / 預>

確定します

2016年07月31日
12時34分

修正<C>確定<現 / 預>

設定－担当者設定

担当者を設定する

操作例

担当者名と担当者番号を設定します。

手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2   を押して「1. 設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3   を押して「3. 担当者設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4 設定する担当者 No. を入力して、 を押します。
- 5   を押して設定する担当者 No. にカーソルを合わせ、 を押します。
- 6 担当者名と暗証番号を設定し、入力が完了したら  を押します。手順を1つ戻す場合は  を押します。

表示例



1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定

選択して確定<現 / 預>
設定

1. 商品設定
2. 日時設定
3. 担当者設定
4. メッセージ設定
5. 基本設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

担当者 No. を入力して下さい

担当者 No.

戻る<小計>確定<現 / 預>

01. [担当-01]
02. [担当-02]
03. [担当-03]
04. [担当-04]
05. [担当-05]

戻る<小計>確定<現 / 預>

担当者名
[担当-02]
担当者番号 (暗証番号)
[0002]

戻る<小計>

担当者名の文字入力 は 96 ページ～を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

設定－メッセージ設定

メッセージを設定する

操作例

ロゴメッセージを設定します。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「1. 設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押して「4. メッセージ設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4 を押して「1. ロゴメッセージ」にカーソルを合わせ、 を押します。 を押して設定する行にカーソルを合わせ、 を押して文字を入力します。入力が完了したら を押します。手順を1つ戻る場合は を押します。

表示例

1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定

選択して確定<現 / 預>
設定

1. 商品設定
2. 日時設定
3. 担当者設定
4. メッセージ設定
5. 基本設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

1. ロゴメッセージ
2. コマーシャルメッセージ
3. ボトムメッセージ
4. レシート住所、TEL
5. ポイント券メッセージ

戻る<小計>確定<現 / 預>

	設定項目	説明	参照ページ
1	ロゴメッセージ	レシートの頭に印字するメッセージです。	83
2	コマーシャルメッセージ	取引内容の上に印字するメッセージです。	83
3	ボトムメッセージ	取引内容の下に印字するメッセージです。	83
4	レシート住所、TEL	ロゴメッセージの下に印字するメッセージです。	83
5	ポイント券メッセージ	ポイント機能を使用時に印字するメッセージです。	46
	簡易お知らせ	お知らせなどを大きくレシート用紙に印字するときに使います。設定方法は、124～125ページを参照してください。	124～125

1	***ロゴ1行目*** ***ロゴ2行目*** ***ロゴ3行目*** ***ロゴ4行目*** ***ロゴ5行目*** ***ロゴ6行目***
4	***レシート住所、TEL1行目*** ***レシート住所、TEL2行目*** ***レシート住所、TEL3行目***
2	***コマーシャル1行目*** ***コマーシャル2行目*** ***コマーシャル3行目*** ***コマーシャル4行目*** ***コマーシャル5行目***
3	取引内容 ***ボトム1行目*** ***ボトム2行目*** ***ボトム3行目*** ***ボトム4行目*** ***ボトム5行目***
5	ポイント

文字入力 96、97、98（手順2以降）ページを参照してください。

設定－基本設定

基本設定

操作例

キー操作音を OFF に設定します。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「1. 設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押して「5. 基本設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4 を押して「1. キー操作音」にカーソルを合わせ、 を押すと切り替わります。手順を1つ戻す場合は を押します。

表示例

1. 設定

2. SD カード

3. 設定点検印字

4. システム設定

選択して確定<現 / 預>

設定

1. 商品設定

2. 日時設定

3. 担当者設定

4. メッセージ設定

5. 基本設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

1. キー操作音 [OFF]

2. 客用表示 [OFF]

3. 担当者機能 [OFF]

5. ジャーナル圧縮 [OFF]

戻る<小計>確定<現 / 預>

6. レシート背景 [OFF]

7. 丸め [丸めない]

8. QRコードレポート印刷[OFF]

戻る<小計>確定<現 / 預>

設定項目	説明	参照ページ
キー操作音	キー操作音を設定します。	－
客用表示	客用表示を使用する／しないを設定します。	－
担当者機能	担当者機能を使用する／しないを設定します。	47
ジャーナル圧縮	縦に圧縮した印字を使用する／しないを設定します。	23
レシート背景	レシートに背景印字を使用する／しないを設定します。	－
丸め	5 円丸め／ 10 円まるめ／丸めしないを設定します	38
QRコードレポート	精算時に QR コード を印字する／しないを設定します。	－

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

設定－ファンクションキー設定

— %— %+ キーを設定する

操作例

—

%—

%+

の単価と税種を設定します。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2

↑

↓

 を押して「1. 設定」にカーソルを合わせ、

≡/預

 を押します。
- 3

↑

↓

 を押して「6. ファンクションキー設定」にカーソルを合わせ、

≡/預

 を押します。
- 4

↑

↓

 を押して「—」にカーソルを合わせ、

≡/預

 を押します。
- 5

—

 キーに単価と税種を登録して

≡/預

 を押します。手順を1つ戻の場合は

小計

 を押します。

表示例

1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定

選択して確定<現 / 預>

設定

2. 日時設定
3. 担当者設定
4. メッセージ設定
5. 基本設定
6. ファンクションキー設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

—

%—

%+

戻る<小計>確定<現 / 預>

[—]

単価 []

税種 [消費税 1 内税]

コード 27

戻る<小計>確定<現 / 預>

設定項目	説明	参照ページ
単価	設定した単価が登録されます。置数キーで直接数字を入力します。	37、38
税種	税設定で設定されている税種から選択します。	

1. 全課税
2. 消費税 1 10% 内税
3. 消費税 1 10% 外税
4. 消費税 2 8% 内税
5. 消費税 2 8% 外税

戻る<小計>確定<現 / 預>

設定－税設定

「一般の消費税率」と「軽減税率（食料品の税率を小さくするなど）」2種類の税率が併用されることを、「複数税率」と呼びます。本機では複数税率に対応するため、「消費税率1」と「消費税率2」の2種類の税率を設定できます。（通常の設定では「消費税率1」のみ使用します。）

すぐに税率を設定する



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「1. 設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押して「7. 税設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4 を押して「1. 税率設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 5 を押して「消費税率1／消費税率2」にカーソルを合わせ、消費税率を入力して を押します。手順を1つ戻る場合は を押します。

表示例

1. 設定

2. SD カード

3. 設定点検印字

4. システム設定

選択して確定<現 / 預> 設定

3. 担当者設定

4. メッセージ設定

5. 基本設定

6. ファンクションキー設定

7. 税設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

1. 税率設定

2. 課税方式一括設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

消費税率1 [8]%

消費税率2 [8]%

戻る<小計>確定<現 / 預>

設定項目	税種	
消費税率1	税1	内税
		外税
消費税率2	税2	内税
		外税

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

設定一税設定

課税方式を一括設定する

操作例

すべての商品の課税方式を一括で変更します。

手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2   を押して「1. 設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3   を押して「7. 税設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4   を押して「2. 課税方式一括設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 5  を押して設定項目を開き、  を押して設定する課税方式にカーソルを合わせて  を押します。手順を1つ戻す場合は  を押します。

設定項目	
消費税率 1	内税
消費税率 1	外税
消費税率 2	内税
消費税率 2	外税
非課税	

表示例



1. 設定

2. SD カード

3. 設定点検印字

4. システム設定

選択して確定<現 / 預>

設定

3. 担当者設定

4. メッセージ設定

5. 基本設定

6. ファンクションキー設定

7. 税設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

1. 税率設定

2. 課税方式一括設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

商品の課税方式を一括で設定します。

[消費税 1 内税]

戻る<小計>確定<現 / 預>

1. 消費税 1

2. 消費税 1

3. 消費税 2

4. 消費税 2

5. 非課税

8% 内税

8% 外税

8% 内税

8% 外税

戻る<小計>確定<現 / 預>

設定－領収書設定

領収書を設定する



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「1. 設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押して「8. 領収書設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4 を押して設定する項目にカーソルを合わせ、 を押します。手順を1つ戻す場合は を押します。

表示例

1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定
選択して確定<現 / 預>
設定

4. メッセージ設定
5. 基本設定
6. ファンクションキー設定
7. 税設定
8. 領収書設定
戻る<小計>確定<現 / 預>

但し書き [無し]
領収書タイトル [書]
税額印字 [印字]
収入印紙必要額 [50000]
戻る<小計>確定<現 / 預>

	設定項目	説明	参照ページ
1	但し書き	但し書き内容を設定します。	—
2	領収書タイトル	「領収証」または「領収書」を設定します。	
3	税額印字	印字する／印字しないを設定します。	
4	収入印紙必要額	収入印紙必要額を入力します。置数キーで直接数字を入力します。	

2016年07月31日
一連 No000025
領収 No000004

領 収 書

様

¥60,000— 対象計 8.0% ¥60,000
内税 ¥4,444

1 (但し として正に領収いたしました)
印刷面を内側に折って保管願います 印

4 収入印紙

カシオ商店 渋谷区本町 1-6-2
電話 1234-5678

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

設定－予約設定

予約を設定する

予約を設定すると、設定した予約起動日に自動で設定を変更することができます。税率を変更する、単価を変更する、課税方式の設定を変更するなどが予約できます。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「1. 設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押して「0. 予約設定」にカーソルを合わせ、 を押します。

予約設定読込元がレジスター本体の場合、右の画面が表示されます。

予約設定読込元が SD カードの場合、右の画面が表示されます。

表示例

1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定
選択して確定<現 / 預>
設定

6. ファンクションキー設定
7. 税設定
8. 領収書設定
9. LOGO/TEXT 切り替え設定
0. 予約設定
戻る<小計>確定<現 / 預>

1. 予約起動日
2. 税予約設定
3. 部門予約設定
4. PLU 予約設定
5. 予約課税方式一括設定 ▼
戻る<小計>確定<現 / 預>

1. 予約起動日
6. 予約設定読込元
7. 予約解除
戻る<小計>確定<現 / 預>

設定－予約設定

			本体	SD	
予約起動日	予約起動日	年月日を入力します。	○	○	※ 1
	単価	単価の予約変更を起動するか設定します。	○		※ 2
	課税方式	課税方式の予約変更を起動するか設定します。	○		※ 3
税予約設定	予約税率 1	消費税 1 に予約する税率を入力します。	○		※ 1
	予約税率 2	消費税 2 に予約する税率を入力します。	○		※ 1
部門予約設定	(現在の設定をコピー：新規に設定するとき、現在の設定をベースに予約設定を新たに行います) (予約設定を使用：すでに部門予約設定を行った後に、追加するとき使用します)		○		
	単価	予約変更する単価を入力します	○		※ 2
	税種	予約変更する課税方式を設定します。	○		※ 3
PLU 予約設定	(現在の設定をコピー：新規に設定するとき、現在の設定をベースに予約設定を新たに行います) (予約設定を使用：すでに部門予約設定を行った後に、追加するとき使用します)		○		
	単価	予約変更する単価を入力します	○		※ 2
	税種	予約変更する課税方式を設定します。	○		※ 3
予約課税方式一括設定	予約変更する課税方式を一括で部門・PLU に設定します。		○		※ 3
予約設定読込元	読み込み元を本体設定か SD 設定か選択します。		○	○	
予約解除	設定した予約を解除します		○	○	

○は設定できる項目です。SD の場合はパソコンのレジスタツールで予約の設定をします。詳しくは、弊社 Web (<http://casio.jp/support/ecr/>) をご確認ください。

※ 1 「予約起動日」－「予約起動日」に年月日を入力すると予約されます。

※ 2 「予約起動日」－「予約起動日」に年月日を入力、「予約起動日」－「単価」を『変更する』に設定して、「部門予約設定」／「PLU 予約設定」の単価を設定すると予約されます。

※ 3 「予約起動日」－「予約起動日」に年月日を入力、「予約起動日」－「課税方式」を『変更する』に設定、「部門予約設定」／「PLU 予約設定」の「税種」か「予約課税方式一括設定」を設定すると予約されます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

設定－予約設定

税率改定の予約機能（予約税率）

税率改定当日に、自動で新しい税率に変更するよう事前に予約できます。この機能を使うと、設定日の午前0時以降モードスイッチをいったん OFF にすると、設定された税率に変更します。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「1. 設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押して「0. 予約設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4 を押して「1. 予約起動日」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 5 予約起動日を、西暦年の下2桁、月日を2桁で入力します。
税率以外に単価や課税方式の予約を設定するときは、「単価」「課税方式」を『変更する』に設定してください。
- 6 を押して前の画面に戻り、 を押して「2. 税予約設定」にカーソルを合わせ、 を押します。

表示例

1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定
選択して確定<現 / 預> 設定

6. ファンクションキー設定
7. 税設定
8. 領収書設定
9. LOGO/TEXT切り替え設定
0. 予約設定
戻る<小計>確定<現 / 預>

1. 予約起動日
2. 税予約設定
3. 部門予約設定
4. PLU 予約設定
5. 予約課税方式一括設定 ▼
戻る<小計>確定<現 / 預>

1. 予約起動日
20[00]年[00]月[00]日
単価 [変更しない]
課税方式 [変更しない]
戻る<小計>確定<現 / 預>

1. 予約起動日
2. 税予約設定
3. 部門予約設定
4. PLU 予約設定
5. 予約課税方式一括設定 ▼
戻る<小計>確定<現 / 預>

設定－予約設定

7 予約税率1、予約税率2を設定します。
↑ ↓ を押してカーソルを合わせ、置数キーで直接数字を入力します。

予約税率1 [10] %
予約税率2 [8] %

戻る<小計>確定<現 / 預>

設定項目	税種	
予約税率1	税1	内税
		外税
予約税率2	税2	内税
		外税

 **ポイント** 予約の設定内容は「設定点検印字」－「予約設定点検」－「部門／税の予約設定点検」（88 ページ）で確認できます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

SD カード ー 設定書込み

オプションの SD メモリーカードを使用する場合のご注意

本機に使用できるメモリーカードは、SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードです。

- ・ SD 規格に準拠したメモリーカードに対応しており、規格上の容量は SD メモリーカードは 2GB 以下、SDHC メモリーカードは 2GB 超～ 32GB 以下です。
※ 上記のメモリーカードであっても、容量をはじめすべてのカードで動作を保証するものではありません。
- ・ SD メモリーカードにアクセスしている間はカードを抜いたり、電源を OFF にしないでください。データが破損する恐れがあります。
- ・ 当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。具体的なメーカー名や対応容量などの詳細は、電子レジスターオフィシャル web 「電子レジスターお客様サポートメニュー」 <http://casio.jp/support/ecr/> をご確認ください。
- ・ 静電気、電氣的ノイズ等により、記録したデータが消失または破損することがあります。大切なデータはバックアップしておくことをおすすめします。

SD メモリーカードにレジスター本体の設定を書き込みする



手順

- 1 SD メモリーカードをセットして、モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「2.SD カード」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押して「1. 設定書込み」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4 を押します。

表示例

1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定

選択して確定<現 / 預>
設定

1. 設定書込み
2. 設定読み込み
3. 電子店名スタンプ 読み込み
4. 内部電子店名スタンプ 消去
5. LOGO/TEXT 切り替え設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

SDカードへ設定を書込みます。
開始しますか？

いいえ<小計>はい<現 / 預>

SD カード ー 設定書込み

処理中の画面が表示されます。
手順を1つ戻る場合は 小計 を押します。

1. 設定書込み

.....

お待ちください

設定項目	説明	参照ページ
設定書込み	SD メモリーカードへレジ本体の設定データを書き込みます。	82
設定読み込み	SD メモリーカードに保存されている設定データをレジへ読み込みます。 ※レジに設定されているデータを消去し、上書きされます。	84
電子店名スタンプ読み込み	SD メモリーカードに保存されている電子店名スタンプのデータをレジへ読み込みます。	85
内部電子店名スタンプ消去	「電子店名スタンプ読み込み」で読み込んだデータを消去します。	—
LOGO/TEXT 切り替え設定	シート店名ロゴ：上記で読み込んだスタンプデータを使うか、レジで設定した文字を使うか選択します。 シート住所 / TEL：上記で読み込んだスタンプデータを使うか、レジで設定した文字を使うか選択します。 コマーシャルメッセージ：印字する / 印字しないを選択します。 ボトムメッセージ：印字する / 印字しないを選択します。 サーマルポップ：印字する / 印字しないを選択します。 領収書店名ロゴ：印字する / 印字しないを選択します。 領収書住所 / TEL：印字する / 印字しないを選択します。	—
売上 / EJ 保存設定	精算時に、売上データと電子ジャーナル (EJ) データを SD メモリーカードへ保存する設定です。	—

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

SD カード ー 設定読込

レジスター本体に SD メモリーカードの設定を読み込む

本体に設定されているデータを消去し、SD メモリーカードに保存されている設定が上書きされます。ご注意ください。



手順

- 1 SD メモリーカードをセットして、モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「2.SD カード」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押して「2. 設定読込み」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4 を押します。

処理中の画面が表示されます。

手順を 1 つ戻る場合は を押します。

表示例

1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定

選択して確定<現 / 預>
設定

1. 設定書込み
2. 設定読込み
3. 電子店名スタンプ 読込み
4. 内部電子店名スタンプ 消去
5. LOGO/TEXT 切り替え設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

SDカード から設定を読み込みます
開始しますか？

いいえ<小計>はい<現 / 預>

2. 設定読込み

...

お待ちください

SD カードー電子店名スタンプ読込

レジスター本体に SD メモリーカードの電子店名スタンプを読み込む



手順

表示例

1 SD メモリーカードをセットして、モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 を押して「2.SD カード」にカーソルを合わせ、 を押します。

3 を押して「3. 電子店名スタンプ 読込み」にカーソルを合わせ、 を押します。

4 を押します。

処理中の画面が表示されます。

手順を 1 つ戻る場合は を押します。

1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定

選択して確定<現 / 預>
設定

1. 設定書込み
2. 設定読込み
3. 電子店名スタンプ 読込み
4. 内部電子店名スタンプ 消去
5. LOGO/TEXT 切り替え設定

戻る<小計>確定<現 / 預>

SDカード から電子店名スタンプ を
読込みます
開始しますか？

いいえ<小計>はい<現 / 預>

3. 電子店名スタンプ 読込み

...

お待ちください



電子店名スタンプを読み込むと、自動的に「LOGO/TEXT 切り替え設定」の「レシート店名ロゴ」「レシート住所 /TEL」「領収書店名ロゴ」「領収書住所 /TEL」がスタンプに切り替わります。サーマルポップのデータもあるときは、「サーマルポップ」も印字するに切り替わります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

設定点検印字－設定点検

設定内容を印字する

本体に設定されている設定内容を印字します。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「3. 設定点検印字」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押して「1. 設定点検」にカーソルを合わせ、 を押します。手順を1つ戻す場合は を押します。

表示例

1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定

選択して確定<現 / 預>
設定

1. 設定点検
2. PLU の設定点検
3. 予約設定点検
4. バージョン確認

戻る<小計>確定<現 / 預>

印字例

PGM3..... 1
— * @50 2
% 内 5% 3

レシート背景印刷 無し
但し書き 印字しない
領収書 / 証 領収書
領収書背景 無し

部門 01 非 @100 4
部門 02 内 @220
部門 03 内 @0
部門 09 内 @0

- 1: タイトル
- 2: 値引キー／値引単価
- 3: % キー／パーセントレート
- 4: 部門商品名／税シンボル／単価
(設定変更されている場合)

※長いレポートを途中で止めたい場合は…
 を2回押します。(止まるまで数秒かかるときもあります。)

設定点検印字－ PLU の設定点検

PLU の設定内容を印字する

範囲を指定して、PLU の設定内容を印字します。開始 No. と終了 No. を入力してください。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「3. 設定点検印字」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押して「2.PLU の設定点検」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4 置数キーで開始 No. を入力し、 を押して終了 No. を入力して を押します。

表示例

1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定

選択して確定<現 / 預>
設定

1. 設定点検
2. PLU の設定点検
3. 予約設定点検
4. バージョン確認

戻る<小計>確定<現 / 預>

2. PLU の設定点検
範囲を指定してください

開始 No. [1]
終了 No. [50]
戻る<小計>確定<現 / 預>

印字例

PGM1.....			1
PLU0001	非	0001	2
0000000000		@100	3
11-66		0000	
13-66		0000-28	
PLU0002	内	0002	
0000000000		@200	
PLU0050	内	0001	
0000000000		@100	
11-66		0000	
13-66		0000-28	

- 1: タイトル
- 2: PLU 商品 / 税シンボル / メモリ 番号
- 3: 設定 3 の設定内容 / 単価

ポイント 設定変更されていない PLU は印字しません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

設定点検印字—予約設定点検

税予約の設定内容を印字する

本体に設定されている税予約の設定内容を印字します。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「3. 設定点検印字」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押して「3. 予約設定点検」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4 を押して「1. 部門／税の予約設定点検」にカーソルを合わせ、 を押します。手順を1つ戻る場合は を押します。

表示例

1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定

選択して確定<現 / 預>
設定

1. 設定点検
2. PLU の設定点検
3. 予約設定点検
4. バージョン確認

戻る<小計>確定<現 / 預>

1. 部門 / 税の予約設定点検
2. PLU の予約設定点検

戻る<小計>確定<現 / 預>

印字例

税変更日 2017-04-01	00:00	1
消費税 1	10% 内税	2
消費税 1	10% 外税	
消費税 2	8% 内税	
消費税 2	8% 外税	
単価	変更する	3
課税方式	変更する	
単価 / 課税方式予約設定		4
部門 01	@450	
部門 02	@110	
部門 03	@100※	

- 1: 税率改定年月日
- 2: 予約されている税率改定内容
- 3: 単価と課税方式の予約項目
- 4: 単価と課税方式の予約内容

設定点検印字－ PLU の予約設定点検

PLU の税予約の設定内容を印字する

範囲を指定して、PLU の予約設定内容を印字します。開始 No. と終了 No. を入力してください。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「3. 設定点検印字」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押して「3. 予約設定点検」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 4 を押して「2. PLU の予約設定点検」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 5 置数キーで開始 No. を入力し、 を押して終了 No. を入力して を押します。

表示例

1. 設定
2. SD カード
3. 設定点検印字
4. システム設定

選択して確定<現 / 預>
設定

1. 設定点検
2. PLU の設定点検
3. 予約設定点検
4. バージョン確認

戻る<小計>確定<現 / 預>

1. 部門 / 税の予約設定点検
2. PLU の予約設定点検

戻る<小計>確定<現 / 預>

2. PLU の予約設定点検
範囲を指定してください

開始 No. [1]
終了 No. [50]

戻る<小計>確定<現 / 預>

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

設定点検印字－ PLU の予約設定点検

印字例

単価	変更する	1
課税方式	変更する	

単価 / 課税方式予約設定		

PLU01	@450	2
PLU02	@110	
PLU03	@100※	

1: 単価と課税方式の予約項目

2: 単価と課税方式の予約内容

システム設定：部門キーの機能設定

部門に「負単価部門」を設定する（個別設定）

この部門に登録する商品は、マイナスとして処理されます。値引きやクーポン券などの登録に使うと便利です。

設定



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。

3 小計 0 1 6 6 小計 0 該当する部門キー 小計

通常部門	0
負単価部門	2
ハッシュ品目	4
負単価でハッシュ品目	6

が、ご購入時の設定です。

複数の部門キーを設定する場合は、連続して入力することができます。

操作例：部門1、部門4に、続けて「負単価部門」を設定します。

3 小計 0 1 6 6 小計 2 1 …部門1に「負単価部門」を設定
2 4 …部門4に「負単価部門」を設定
 小計 … 小計 を押して設定を完了します。

※「部門キーの機能設定」（91～92ページ）の際、複数の部門キーを続けて設定する場合は、同様に操作してください。



総売上に入らないものの登録には「ハッシュ品目」を、金額を負（マイナス）で集計したい場合は「負単価」をそれぞれ設定します。

部門に「入力桁制限」を設定する（個別設定）

誤登録を防ぐため、桁数制限を設けて制限を越える価格は登録できないようにします。

設定



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。

3 小計 1 5 6 6 小計 0 該当する部門キー 小計

桁数制限をしない	0	または	7
登録可能な桁数を示す	1	～	6
置数入力を禁止する	8	または	9

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

システム設定：部門キーの機能設定

部門に「単品売り」を設定する（個別設定）

入力時にこの部門に登録すると、そのまま取引が完了して「お客様からお預かりした金額を入力して  を押す」操作を省くことができます。現金による単品売りのような単純な取引の場合、手早く処理できます。（「単品売りの商品」を登録する前に、既に「単品売りではない商品」を登録している場合は、通常の手順で取引を締める必要があります。）

設定



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2   を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。

3         

↑

通常部門	
単品売り部門	

 が、ご購入時の設定です。

システム設定：PLU の機能設定

PLU に「負単価 PLU」を設定する（個別設定）

この PLU は、マイナスとして処理されます。値引きやクーポン券などの登録に使うと便利です。



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 ↑ ↓ を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、を押します。

通常 PLU	
負単価 PLU	
ハッシュ品目	
負単価でハッシュ品目	

が、ご購入時の設定です。

複数の PLU を設定する場合は、連続して入力することができます。

操作例：PLU1、PLU2、PLU7 に、続けて「負単価 PLU」を設定します。

…PLU 1 に「負単価部門」を設定
 …PLU 2 に「負単価部門」を設定
 …PLU 7 に「負単価部門」を設定
 … を押して設定を完了します。

※「PLU の機能設定」（93 ～ 94 ページ）の際、複数の PLU を続けて設定する場合は、同様に操作してください。

ポイント 総売上に入らないものの登録には「ハッシュ品目」を、金額を負（マイナス）で集計したい場合は「負単価」をそれぞれ設定します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

システム設定：PLU の機能設定

品番 PLU に「桁数制限」を設定する（個別設定）

品番 PLU として使用する場合、桁数制限を設けて制限を越える価格は登録できないようにします。



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 ↑ ↓ を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。

3

桁数制限をしない		または	
登録可能な桁数を示す		～	
置数入力を禁止する		または	

が、ご購入時の設定です。

PLU に「単品売り」と「品番 PLU」を設定する（個別設定）

単品売り：入力時にこの PLU を登録すると、そのまま取引が完了して「お客様からお預かりした金額を入力して を押す」操作を省くことができます。現金による単品売りのような単純な取引の場合、手早く処理できます。
（「単品売りの商品」を登録する前に、既に「単品売りではない商品」を登録している場合は、通常の手順で取引を締める必要があります。）



品番 PLU：登録の際、「事前に設定しておいた単価」とは異なる単価を入力できます。

手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 ↑ ↓ を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。

3

品番 PLU	単品売り	
通常	通常	
	単品売り	
品番 PLU	通常	
	単品売り	

が、ご購入時の設定です。

システム設定：消費税の設定

税額の1円未満の端数処理を設定する

消費税額の1円未満の端数処理を、「四捨五入」「切捨て」「切上げ」の何れかに設定します。



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。

A

B

C

D

3

小計

2

2

6

小計

0

1

0

1

現/預

小計

A 税1 / 内税の端数処理

円未満四捨五入	0
円未満切り捨て	1
円未満切り上げ	2

B 税1 / 外税の端数処理

円未満四捨五入	0
円未満切り捨て	1
円未満切り上げ	2

C 税2 / 内税の端数処理

円未満四捨五入	0
円未満切り捨て	1
円未満切り上げ	2

D 税2 / 外税の端数処理

円未満四捨五入	0
円未満切り捨て	1
円未満切り上げ	2

が、ご購入時の設定です。

将来の複数税率に対応するため、「消費税率1」と「消費税率2」の2種類の税率が設定可能です。通常設定では「消費税率1のみ」を使用します。複数税率については、「課税方式について」(17 ページ) を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

システム設定：商品名やメッセージの設定

1 文字ずつ入力して漢字変換する

1 文字ずつ入力し、かな・カナ・漢字・英字・記号に変換して設定する方法を説明します。

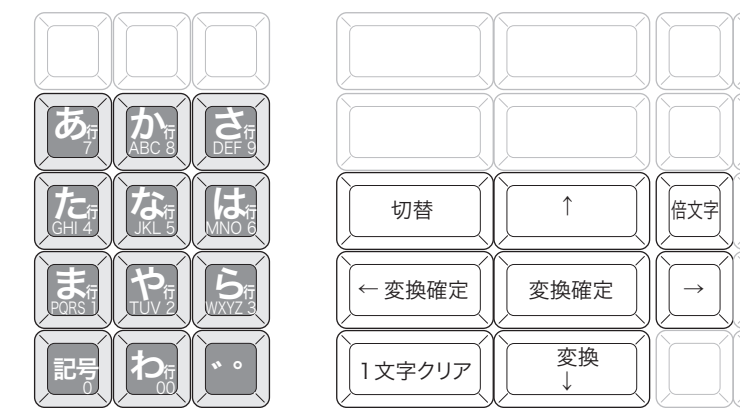
文字入力の方法

携帯電話の文字入力に似た、「かなめくり方式」で入力します。入力した文字の種類（ひらがな・カタカナ・英文字・数字）などを<切替>キーで切り替え、50音などに基づいた文字を置数キーで入力します。

ひらがなで入力した文字は、続けて<↑>キー、<変換>キーを押して、単漢字または単語ごとのかな漢字変換ができます。（内蔵のかな漢字変換辞書の登録語数に制限があるため、ご希望の漢字変換ができない場合があります。その場合は、変換したい漢字の読み（音読み／訓読み）を変えて入力し、変換してください。）

文字設定時のキーボード

文字設定時のキーボードは、以下の配列です。



キーの機能は、各キーの側面手前側に刻印されています。
各キーの機能については、次ページを参照してください。

システム設定：商品名やメッセージの設定

各キーの機能

＜切替＞キー 文字入力モードを
 全角ひらがな入力（状態表示「漢あ」）→半角かな入力（状態表示「かな」）→
 半角英字入力（状態表示「ABab」）→半角数字入力（状態表示「1234」）→
 全角ひらがな入力（状態表示「漢あ」）→.....の順番に切り替えます。

＜文字入力＞キー それぞれの文字入力モードで、表中の文字を順に指定します。

[illegible]

< 倍文字 > キー	倍文字設定する文字、または倍文字から元の大きさに戻す文字の前に入力します。 ・ 全角ひらがなでは、全角横倍「漢」→全角「漢あ」を切り替えます。 ・ 半角かなでは、全角「カナ」→全角横倍「力」→半角「かか」を切り替えます。 ・ 半角英字では、全角「A a」→全角横倍「△」→半角「ABab」を切り替えます。 ・ 半角数字では、全角「1 2」→全角横倍「1」→半角「1234」を切り替えます。
< ↑ > キー	入力した文字列を単漢字変換します。変換中に前候補を表示します。
< ↓ 変換 > キー	入力した文字列を漢字変換します。変換中は次候補を表示します。
< ← > キー	文字設定のカーソルを一文字左に動かします。
< → > キー	文字設定のカーソルを一文字右に動かします。
< l 文字クリア > キー	入力中に入れまちがった文字や、確定した漢字 1 文字をクリアします。(クリアするのは反転表示されている文字です)
< C > キー	すでに設定された文字など指定された文字列全体をクリアします。
< 変換確定 > キー	文字列の変換が確定したとき、またはその文字列を無変換にするときに押します。

半角文字、全角文字、倍文字、縦倍文字について

文字の大きさは4種類あります。通常登録の金額部の数字の大きさを基本とし、「半角文字」といいます。内税対象計等の漢字が「全角文字」（数字2文字分の横幅）です。これらの文字の横方向に倍の大きさにしたものが、「倍文字」です。レシート印字の際、縦方向に倍の大きさにしたものが、「縦倍文字」です。「縦倍文字」は、「倍文字」と組み合わせると4倍文字になります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

システム設定：商品名やメッセージの設定

商品名や分類名を部門キーに設定する

操作例

部門 01 に「雑貨」、部門 02 に「食品 A」を設定します。



手順

操作

- 1** 67～68 ページの「部門を設定する」を参照して、部門 01 の部門名の入力画面までの操作をします。

01.	[部門 01]
単価	[0]
税種	[消費税 1 内税]
グループ	[グループ 01]
戻る<小計>確定<現 / 預>	

- 2** 設定されている商品名を消去します。

- 3** 部門 01 に「雑貨」を登録します。

< さ > × 1 回 「さ」
< ° ° > × 1 回 「ざ」
< た > × 6 回 「っ」
< か > × 1 回 「か」
< ↓ 変換 > (「雑貨」が出るまで繰り返します)
< 変換確定 > (文字列を確定します)
 「雑貨」が部門 01 に設定されます

C/AC C

9

•

4 × 6 回

8

6

7

現/預

- 4** を押して前の画面に戻り、 を押して「02. [部門 02]」にカーソルを合わせて を押します。 を押して部門 02 の文字入力行へカーソルを合わせます。

- 5** 部門 02 に「食品 A」を登録します。

< さ > × 2 回 「し」
< や > × 6 回 「よ」
< か > × 3 回 「く」
< は > × 2 回 「ひ」
< わ > × 3 回 「ん」
< ↓ 変換 > (「食品」が出るまで繰り返します)
< 変換確定 > (文字列を確定します)
< 切替 > × 2 回 (半角英字にします)
< 倍文字 > × 1 回 (全角英字にします)
< か > × 1 回 「A」
 「食品 A」が部門 02 に設定されます

9 × 2 回

2 × 6 回

8 × 3 回

6 × 2 回

00 × 3 回

6

7

× 3 × 2 回

13

8

現/預

小計

- 6** を押して、前の画面に戻ります。

システム設定：商品名やメッセージの設定

 **ポイント** 部門キーへ設定できる名称の文字数は、半角 16 文字または全角 8 文字です。

入力途中で文字を訂正する

操作例

部門 03  に「乾物」を設定途中でまちがった文字を訂正します。



手順

- 67 ～ 68 ページの「部門を設定する」を参照して、部門 03 の部門名の入力画面までの操作をします。
- 設定されている商品名を消去します。
- 部門 03 に「乾物」を登録します。
 - <か> ×1 回「か」
 - <わ> ×3 回「ん」
 - <ま> ×5 回「も」
 - <な> ×5 回「の」
 - <1 文字クリア> ×2 回（直前の「の」と「も」を消します）
 - <は> ×3 回「ふ」
 - <° ° > ×1 回「ぶ」
 - <た> ×3 回「つ」
 - <↓変換> （「乾物」が出るまで繰り返します）
 - <変換確定> （文字列を確定します）
「乾物」が部門 03 に設定されます
-  を押して、前の画面に戻ります。

操作

01. [部門 03]

単価 [0]

税種 [消費税 1 内税]

グループ名[グループ 01]

戻る<小計>確定<現 / 預>

C/AC

- 8
- 00 ×3 回
- 1 ×5 回
- 5 ×5 回
- + 1 ×2 回
- 6 ×3 回
-
- 4 ×3 回
- 6
- 7
- 現/預
- 小計

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

システム設定：商品名やメッセージの設定

取引キーの印字文字を設定する

操作例

[信1] の印字を「掛売り」に設定します。



手順

操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 [↑] [↓] を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、[現/預] [現/預] を押します。
- 3 [2]、[小計] を押します。
- 4 [信1] を指定し、設定されている商品名を消去します。
- 5 [信1] に「掛売り」を登録します。
＜か＞ ×1回「か」
＜→＞ (同じ行なのでカーソルを右に動かします)
＜か＞ ×4回「け」
＜あ＞ ×3回「う」
＜ら＞ ×2回「り」
＜↓変換＞ (「掛売り」が出るまで繰り返します)
＜変換確定＞ (文字列を確定します)
「掛売り」が信用売りキーに設定されます
- 6 [小計] を押して、前の画面に戻ります。



ポイント 取引キーへ設定できる名称の文字数は、半角 12 文字または全角 6 文字です。

システム設定：商品名やメッセージの設定

領収書の背景を設定する

領収書の背景印字は「サーマルポップと背景印字を設定する」（118 ページ）を参照してください。

領収書印字例

2016 年 07 月 31 日
一連 No0000025
領収 No0000004

領 収 書

様

¥5,000-

印

(但し [] として正に領収いたしました)
印刷面を内側に折って保管願います

カシオ商店 渋谷区本町 1-6-2
電話 1234-5678

タイトル印字

但し書きの内容を
印字

背景の印刷
(全面に印刷されます)

その他の項目については「内容変更できる主な印字項目」（109 ページ）を参照してください。



ポイント

- ・弊社 Web (<http://casio.jp/support/ecr/>) からダウンロードしたパソコンのレジスターツールで、領収書に店名ロゴ・住所などを印字できます。(別途 SD メモリーカードが必要です。)
- ・同梱の「電子店名スタンプ注文書」(有償) でも承っています。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

システム設定：商品名やメッセージの設定

文字設定できるその他の項目

本機では、品名、メッセージ、部門／取引キー名称、担当者名のほか、下記の印字・表示の変更ができます。

- ・ 固定合計器レポート上の項目（総売、純売など）
- ・ 日計明細や時間帯などのレポートタイトル
- ・ 特殊キャラクタ（¥マーク、小計／預かり印字など）

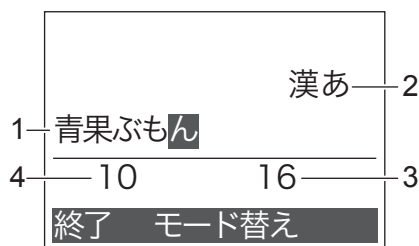
手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 ↑ ↓ を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 、 を押します。
- 4 「種別コード」を入力して  を押します。
- 5 文字を入力し、  を押して確定します。

※ 項目の設定をまちがえると、レシートやレポートの意味が変わったり、意味を持たなくなる可能性があります。十分に注意して変更してください。

文字設定時の本体表示窓

文字設定時の本体表示窓は、以下の内容です。



- 1: 入力中または操作中の文字（反転表示）
 - 2: 文字入力モードを表示：漢あ ｶﾝｶﾞ ABab 1234 など
 - 3: 設定可能な文字の総数（半角文字換算）を表示
 - 4: 既に入力されている文字数（半角文字換算）を表示
- 「青果ぶもん」は全角で5文字ですが、半角文字換算では10文字です。

固定合計器「種別コード」一覧表

固定合計器の項目	コード	ご購入時の設定	固定合計器の項目	コード	ご購入時の設定
総売上合計	101	総売	消費税対象額（内税2）	1501	対象計※
純売上合計	201	純売	消費税額（内税2）	1601	内税※
現金在高	301	現金在高	消費税対象額（外税2）	1701	外税対象※
貸売在高	401	貸在高	消費税額（外税2）	1801	外税※
商品券在高	501	券在高	消費税合計額	1901	消費税合計
クレジット在高	601	信在高	非課税対象額	2001	非課税合計
他国現金1	701	他国現金1	万券枚数	2101	万円
他国券1	801	他国券1	丸め合計	2201	サービス
他国現金2	901	他国現金2	取引中止合計	2301	取引中止
他国券2	1001	他国券2	戻モード合計	2401	戻モード
消費税対象額（内税1）	1101	対象計	電卓モード<=>回数	2501	電卓
消費税額（内税1）	1201	内税	印紙貼付の領収書枚数	2601	領収書印紙
消費税対象額（外税1）	1301	外税対象	印紙貼付なし領収書枚	2701	領収書
消費税額（外税1）	1401	外税	客数	2801	純客

システム設定：商品名やメッセージの設定

レポートタイトル「種別コード」一覧表

レポートタイトル	コード	ご購入時の設定	レポートタイトル	コード	ご購入時の設定
日計明細集計	124	日計明細	期間集計 1	724	期間集計 1
PLU 集計	224	PLU	期間集計 2	824	期間集計 2
時間帯集計	324	時間帯	個別点検 (アイテム)	924	個別点検
グループ集計	424	グループ	電子ジャーナル	1024	電子ジャーナル
在売点検	524	在売点検	未収伝票確認 (仮締め)	1124	オープンチェック
月間集計	624	月間日別	電子ジャーナルクリア	1224	ジャーナル消去

特殊キャラクタ「種別コード」一覧表

特殊キャラクタ	ご購入時の設定						コード
金額 (2) 単価 (2) 件数 (2) 各シンボル	¥	@	件				123
レポート個数 (2) 客数 (2) 万円枚数 (2) 未使用 (2)	点	名	枚	*			223
乗算個数 (2) 未使用 (6)	点	/					323
税 1 内税 / 外税 / 税 2 内税 / 外税 (各 2)		外	※	※			423
オール課税ステータス (2) 非課税ステータス (2)	*	非					523
登録 (4) 戻し (4) レジマイナス (4)			戻		R E G -		623
設定 (4) 点検 (4) 精算 (4)	P G M n	点	検	精	算		723
電卓 (4) 練習モード (4)	電	卓	練	習	M G R		823
預かり時小計印字 (12)	合		計				923
預かり時釣り銭印字 (12)	お	預	り				1023
預かり時釣り銭印字 (12)	お		釣				1123
残額表示 (12)	残	額					1223
現金預かり表示 (8)	お	預	り				1323
預かり時釣り銭表示 (8)	お		釣				1423
小計割引 (割増) や、丸め前の小計印字 (12)	小	計					1523
レポート合計印字 (8)	合	計					1623
12 時制での時刻印字 (各 3)	A M	P M					1723
強制終了メッセージ (8)	* *	強	制	終	了	* *	1823
点検シンボル (1)	X						1923
精算シンボル (1)	Z						2023
在高申告金額 (12)	申	告	金	額			2123
在高申告金額との差額 (12)	差	額					2223
純売税込み用 (8)		税	込				2323
純売税抜き用 (8)		税	抜				2423
レポート用印字 (各 4)	個	数	件	数	金	額	2523
買上点数 (8)	点						2623
(設定しないこと)							2723
通貨桁区切りシンボル (各 1)	.	.	,				2823
設定点検シンボル (8)	設	定	点	検			2923
ポイント券用 (12)	ポ	イ	ン	ト			3023
SD メモリーカード	レ	コ	ー	ド			3123
SD メモリーカード	キ	ャ	ラ	ク	タ	ー	3223
SD メモリーカード	個	数	/	件	数		3323
SD メモリーカード	個	数					3423
SD メモリーカード	金	額					3523
SD メモリーカード	担	当	者				3623

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

システム設定：商品名やメッセージの設定

特殊キャラクタ	ご購入時の設定						コード
SD メモリーカード	マ	シ	ン	N	o	.	3723
SD メモリーカード	フ	ァ	イ	ル			3823
SD メモリーカード	モ	ー	ド				3923
SD メモリーカード	精	算	回	数			4023
SD メモリーカード	日	付					4123
SD メモリーカード	時	刻					4223
領収書但し書き文字 (12)							4323
電池切れメッセージ (12)	電	池	切	れ	で	す	4423
SD メモリーカード	開	始	時	刻			4523
SD メモリーカード	終	了	時	刻			4623
SD メモリーカード	件	数					4723
伝票	伝	票	N	o	:		4823
仮締め時の小計 (4) 仮締め (6)	小	計	仮	締	め		4923
ON (3) OFF (3)	O	N	O	F	F		5023
レシート (6) ジャーナル (6)	レ	シ	ー	ト	シ	ャ	5123
丸め設定 (6)	丸	め	な	い			5223
丸め5円 (6) 丸め10円 (6)	5	円		1	0	円	5323
領収書設定	書	証					5423
スタンプ (8)	ス	タ	ン	プ			5523
設定文字 (8)	設	定	文	字			5623
印字 (6) 非印字 (6)	印	字		非	印	字	5723
する (6) しない (6)	す	る		し	な	い	5823
トレーニングモード (12)	ト	レ	ー	ニ	ン	グ	5923
電卓表示用	=	÷	×	－	＋		6023
他国通貨 1・2 シンボル	\$	*					6123

システム設定：各キーの設定

各キーに、いろいろな機能を設定できます。

券 信1 信2 貸



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。

A

3 小計 00

B

0

C

1

D

000

設定するキーを押します

貸 小計

券

信1

信2

A 小計／預かり金の金額制限

制限しない	00
制限金額を入力 例：200,000 円 「2」と0が「5」と入力します	例：25

B 置数強制

置数の強制を	置数に入力を	一部入金を	
強制しない	許可	許可 ※2	0
		禁止	1
	禁止	許可 ※2	2
		禁止	3
強制する※1	許可	許可 ※2	4
		禁止	5

C 消費税の明細を

印字する	0
印字しない	1

D 釣り銭の金額制限

制限しない	00
制限金額を入力 例：5,000 円 「5」と0が「3」と入力します	例：53

が、ご購入時の設定です。

※1 誤操作防止を目的とするものです。レジ打ちの際、金額を入力（置数）する前にキーを押すとレジは操作を受け付けません。必ず置数してからキーを押してください。

※2 一部入金を「許可」は、小計した金額よりも少ない金額の置数を許可します。

ご購入時の設定は、 が “00000000”、 が “0020000” です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

システム設定：各キーの設定

現/預

設定



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 ↑ ↓ を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、現/預 を押します。

3 小計 1 0 2 小計 A 0 0 B C D 0 1 0 0 現/預 小計

ABCD の設定内容は、券 信1 信2 貸 と同じです。(前ページ参照)

入金 出金

設定



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 ↑ ↓ を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、現/預 を押します。

3 小計 0 0 0 0 0 0 0 0 入金 小計
 "0000" 固定

■入金／出金の金額制限

制限しない	0 0
例：40,000 円の場合 「 4 と、0 が 4 個」と入力します	4 4

いずれかのキーを押してください

が、ご購入時の設定です。

万円

設定



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 ↑ ↓ を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、現/預 を押します。

3 小計 0 0 0 0 万円 小計
 "000" 固定

■キー用途

「万円」として使用	0
「千円」として使用	1

が、ご購入時の設定です。

システム設定：各キーの設定

#

設定

手順と操作

- 1
- モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2
- ↑

↓
- を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、

現/預

を押します。

3

小計

0

000000

#

小計

"00000" 固定

■取引中ではないときに番号印字をすると

印字前の状態と変わらない	0
強制的に取引中の状態に移行する※ 1	1

が、ご購入時の設定です。
※ 1 通常の取引状態となり、

現/預

 などを使った「締めの操作」が必要です。

-

設定

手順と操作

- 1
- モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2
- ↑

↓
- を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、

現/預

を押します。

A

B

C

3

小計

0

0

5

000

-

小計

"000" 固定

A 単品値引き／値引き小計が負

単品値引き	値引き小計が負	
禁止	禁止	0
	許可	1
許可	禁止	4
	許可	5

B 入力最大桁数

桁数制限をしない	0 または 7	0	税 1 内税
登録可能な桁数を選択	1 ~ 6	1	税 1 外税
置数入力を禁止する	8 または 9	2	税 2 内税
		3	税 2 外税
		5	内税、外税、非課税（混在して使用しているときに選択）
		6	非課税

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

システム設定：各キーの設定

%- %+



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 ↑ ↓ を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、現/預 を押します。

A %計算による端数処理

円未満四捨五入	0
円未満切り捨て	1
円未満切り上げ	2

B 置数でのレート入力

可能	0
不可	2

A B C
3 小計 0 0 0 5 0 0 0 %- 小計

"0" 固定
"000" 固定

%+
 設定するキーを
 押します

C 課税方式の設定

0	税1 内税
1	税1 外税
2	税2 内税
3	税2 外税
5	内税、外税、非課税（混在して使用しているときに選択）
6	非課税

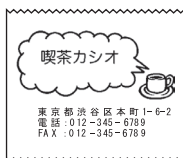
が、ご購入時の設定です。

システム設定：その他の設定

内容変更できる主な印字項目

レシート印字例

御計算書		1
2016-07-31 09:25		2
担当 -01	0001-000008	3
部門 02	¥5,780	4
部門 01	¥360	5
部門 01	¥360	6
部門 01	¥360	
10 点	@128	
部門 04	¥1,280	
PLU0027	¥880	
-	-100	
部門 03	¥2,600	7
部門 04	非 ¥3,000	
小計	¥14,520	
5%		
%-	-726	9
17 点		
対象計 8.0%	¥10,944	8
内税	¥811	
非課税合計	¥2,850	
合計	¥13,794	
お預り	¥15,000	
お釣	¥1,206	



- 1 店名ロゴ部分（ご購入時：御計算書を印字する）
 - ・ご購入時には「御計算書」が印字されます。
 - ・店名、住所などを印字するには2通りの方法があります。
 - ①「電子店名スタンプ」の作成・ご注文
パソコンのレジスターツールで、領収書に作成した内容を印字できます。（別途SDメモリーカードが必要です。）ご注文の場合は、同梱の「電子店名スタンプ注文書」（有償）をご確認ください。
 - ② 任意に設定した文字を印字（6行分）
「メッセージを設定する」ロゴメッセージ（72ページ）設定－LOGO/TEXT切り替え設定－レシート店名ロゴ
- 2 レジ番号（ご購入時：印字しない）
「マシン番号を設定する」（119ページ）
- 3 一連番号（ご購入時：印字する・精算で0001に戻る）
「印字項目を設定する」（111ページ）
- 4 担当者（ご購入時：使用しない、印字しない）
「担当者機能を使う」（47ページ）
「担当者を設定する」（71ページ）
「基本設定」担当者設定（73ページ）
- 5 部門単価（ご購入時：なし）
- 6 部門名（ご購入時：部門01～部門20）
「部門を設定する」（67、68ページ）
- 7 税シンボル（ご購入時：内税・印字しない・外税・外・非課税・非）
「種別コード423」（103ページ）
- 8 課税対象合計（ご購入時：印字する） 税率（ご購入時：印字する）
非課税対象合計（ご購入時：印字する）
「課税対象額・税率・税シンボルの印字／非印字を設定する」（110ページ）
- 9 買い上げ点数（ご購入時：印字しない）
「レシート／ジャーナルの印字項目を設定する」（110ページ）

電子店名スタンプ

電子店名スタンプを作成すると、レシートと領収書に別々の店名ロゴと住所が印字できます。詳細はレジスターツールのヘルプ、または同梱の「電子店名スタンプ注文書」（有償）をご確認ください。

領収書印字例

1	2016年07月31日	領 収 書	様	対象計 8.0% ¥60,000	6
4	一連 No000025				
5	領収 No000004				
		¥60,000-		内税 ¥4,444	
		(但し 印刷面を内側に折って保管願います)			
3	収入印紙	カシオ商店		渋谷区本町 1-6-2 電話 1234-5678	

- 1 領収書のタイトル（ご購入時：領収書）
「領収書を設定する」（77ページ）
- 2 但し書き（ご購入時：印字なし）
「領収書を設定する」（77ページ）
- 3 印紙貼付け枠（ご購入時：印字する・税抜金額50,000円以上）
「領収書を設定する」（77ページ）
- 4 レシート用の一連番号（ご購入時：印字する）
「領収書の内容を設定する」（116ページ）
- 5 領収書用の一連番号（ご購入時：印字する・精算で0001に戻る）
「領収書の内容を設定する」（116ページ）
- 6 税金項目（ご購入時：印字する）
金額入力で発行したときは印字されません（45ページ）
「領収書を設定する」（77ページ）

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

印字項目を設定する 1 / 2

操作例

設定 

手順と操作

- [illegible]

が、ご購入時の設定です。

システム設定：その他の設定

印字項目を設定する 2 / 2

操作例

時刻の印字を「印字しない」に設定します。



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。

3

小計

1

7

2

2

小計

0

00

00

0

1

0

0

現/預

小計

A

B

C

D

A

簡易メニュー／簡易お知らせの印刷内容

長さ	向き	
文字数分	縦	0
	横	1
長さを統一	縦	2
	横	3

B

一連番号および日付の印字／非印字

一連番号	ジャーナル日付	レシート日付	
印字する	印字する	印字する	0
		印字しない	1
	印字しない	印字する	2
		印字しない	3
印字しない	印字する	印字する	4
		印字しない	5
	印字しない	印字する	6
		印字しない	7

C

時刻の印字

ジャーナル時刻	レシート時刻	
印字する	印字する	0
	印字しない	1
印字しない	印字する	2
	印字しない	3

D

縦倍印字／小計印字

文字大きさ	小計 押したときに	
普通文字	印字しない	0
	小計印字する	1
縦倍文字	印字しない	2
	小計印字する	3

“00” 固定

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

システム設定：その他の設定

強制機能や演算方式を設定する

強制機能や演算方式を設定します。

操作例

締め操作時の小計入力を「強制する」に設定します。
(戻モードの件数「加算する」)



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。

A

B

C

D

E

F

G

H

3

小計

6

2

2

小計

0

1

0

0

0

2

0

0

0

0

現/預

小計

A

B

C

D

E

F

G

H

担当者サインオフ

締め操作時の小計入力

レシート発行

時刻表示／取引中止キー

点検／精算時の
による在高入力

担当者の
サインオフ

客数入力を

強制しない

強制する

強制しない

強制する

強制しない

強制する

強制しない

強制する

強制しない

強制する

0

1

2

3

4

5

6

7

0

1

強制しない

強制する

0

1

2

3

鳴らす

鳴らさない

クリアしない

クリアする

0

1

2

3

操作できる

操作できない

操作できる

操作できない

0

1

2

3

00キー／担当者機能

SDメモリーカードデータ保存

フラットPLU数値／入力順

戻モードの件数を

0

1

4

5

使用しない

使用する

<00>として使用する

<000>として使用する

<00>として使用する

<000>として使用する

0

1

2

3

保存しない

保存する

精算時に

点検時に

保存しない

保存する

保存しない

保存する

0

1

2

3

金額となる

乗算の個数

個数×単価

単価×数量

個数×単価

単価×数量

0

1

加算する

減算する（レジマイナスモード）

0

1

00キー

00キー

が、ご購入時の設定です。

システム設定：その他の設定

点検／精算レポートの内容を設定する 1 / 2

点検または精算時に印字するレポートの、個々の印字項目を設定します。

操作例

レポートの純売に税込・税抜金額を両方「印字する」に設定します。
(累計 (GT) は「印字しない」)



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。

3

小計

8

2

2

小計

A

1

B

0

0

C

0

D

7

現/預

小計

A 純客数の印字／非印字

印字する	0
印字しない	1

B 戻し合計の印字

印字する	0
印字しない	4

C 電卓モードでの計算回数

印字する	0
印字しない	1

D レポートの純売に税込・税抜 両方印字／累計 (GT) の印字

税込／税抜両方	累計 (GT)	
印字しない	印字しない	3
	印字する	0
印字する	印字しない	7
	印字する	4

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

システム設定：その他の設定

点検／精算レポートの内容を設定する 2 / 2

操作例

日計明細の精算レポートに、一連番号の始まりの番号を「印字する」に設定します。



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。

3

小計

1

6

2

2

小計

A

1

0

0

0

0

0

0

B

0

現/預

小計

"00000" 固定

A

日計明細の精算レポートに一連番号の始まりの番号を

印字しない	0
印字する	1

B

日計明細の精算レポート発行時に QR コード印刷／電子ジャーナルのクリア

QR コード印刷	電子ジャーナルのクリア	
印刷しない	クリアする	0
	クリアしない	1
印刷する	クリアする	2
	クリアしない	3

が、ご購入時の設定です。

システム設定：その他の設定

電卓モードの機能を設定する

電卓モードの機能を設定します。

操作例

電卓モードのときに 現/預 でドロアーを「開ける」に設定します。(替 で開けない)



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 ↑ ↓ を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、現/預 を押します。

A

3 小計 1 0 2 2 小計 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 現/預 小計

A 電卓モードのドロアー開閉操作

↑

"000000000" 固定

替 のドロアー開閉	現/預 のドロアー開閉	
開けない	開けない	0
	開ける	1
開ける	開けない	2
	開ける	3

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レシートメッセージの内容を設定する

レシートに印字するメッセージの内容を設定します。

操作例

コマーシャルメッセージを「設定した文字を印字する」に設定します。



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2   を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。



が、ご購入時の設定です。

※ 1 レジスタツールなどで作成した電子店名スタンプのデータです。電子店名スタンプのデータの読み込みは、「レジスター本体に SD メモリーカードの電子店名スタンプを読み込む」(85 ページ)を参照してください。

システム設定：その他の設定

サーマルポップと背景印字を設定する

レシートや領収書に印字する、サーマルポップと背景を設定します。

操作例

レシートに背景を「印字する」に設定します。



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 ↑ ↓ を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、現/預を押します。

	A	B	C	D	現/預	小計
3 小計 2 9 2 2 小計	0	0	1	0		
A 電子店名スタンプ内のサーマルポップの印字※ 1						
印字する	0					
印字しない	1					
B プリントの印字濃度						
普通	0					
やや濃く	1					
濃く	2					
C レシートの背景印字						
印字しない			0			
印字する			1			
D 領収書の背景印字						
印字しない				0		
印字する				1		

が、ご購入時の設定です。

※ 1 電子店名スタンプを使用していないと、サーマルポップは印字されません。

システム設定：その他の設定

本体表示窓と客用表示窓の機能を設定する

本体表示窓のバックライトと、客用表示窓の消灯機能を設定します。

操作例

本体表示窓のバックライトを「点灯しない」に設定します。



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。

3 小計 3 4 2 2 小計 0 1 0 2 0 現/預 小計

“0” 固定

A 客用表示窓の設定

表示する	0
表示しない	1

B 本体表示窓のバックライト設定

表示する	0
表示しない	1

C バックライトオフタイマーの設定

オフまでの時間をセット 単位：分 2 0 設定範囲：00～59

が、ご購入時の設定です。

にすると、バックライトはオフになりません。

マシン番号を設定する

お店に2台以上のレジスターがある、店舗の区別を付ける場合など、マシン番号を設定します。

操作例

レジ番号を「123」に設定します。



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。

3 小計 2 2 2 小計 0 1 2 3 現/預 小計

レジ番号を4桁で入力します 0 ~ 9 9 9 9

ポイント ご購入時の設定は、“0000”です。(レジ番号は印字されません。)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

システム設定：その他の設定

クーポン券のポイント率を設定する

クーポン券を使用するお店では、ポイント率を設定します。

操作例

クーポン券発行のためのポイント率を、「2.00%」に設定します。



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。

クーポン券の整数部のポイント率 (00 ~ 99)		~			
クーポン券の小数部のポイント率 (00 ~ 99)			~		

ポイント ご購入時の設定は、“00 00” です。

システム設定：レジ設定内容の確認

商品名・メッセージ項目の設定点検



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 と を2回押します。

印字例

PGM2.....	01	1
総売	02	
純売	03	2
現金在庫	04	
領収書 印紙	29	
領収書	01	
現金	02	
小計	03	3
訂正	04	
	29	
部門 01	01	
部門 02	02	
部門 03	03	4
部門 09	04	
部門 10	10	
担当 -01	01	
担当 -02	02	
担当 -03	03	5
担当 -09	04	
担当 -10	10	
GT	01	6
¥ @ 件点	01	
点名枚	02	
	03	7
ポイント	29	
日計明細	01	
PLU	02	
時間帯	03	8
	04	
電子ジャーナル	12	
	01	
	02	9
	31	

- 1: 設定 2 点検のタイトル
- 2: 固定合計器項目名／メモリ番号 (102 ページ参照)
- 3: キー名称／メモリ番号
- 4: 部門商品名称／メモリ番号
- 5: 担当者名称／メモリ番号
- 6: GT (累計) 名称
- 7: 特殊キャラクタ／メモリ番号 (103 ページ参照)
- 8: レポートタイトル／メモリ番号 (103 ページ参照)
- 9: レシートメッセージ／メモリ番号 (72 ページ参照)

システム設定：レジ設定内容の確認

キー機能・レジスター機能項目の設定点検

設定



手順

印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 ↑ ↓ を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、**現/預** を押します。

3 **3** と **小計** を2回押します。

3 **小計** **小計**

PGM3.....		1
0122	00000010	
0222	00002070	
0522	00000000	2
3422	00000000	
3822	00000000	

現行		

消費税 1	8% 内税	
	四捨五入	
消費税 1	8% 外税	3
	切捨て	
消費税 2	0%----	
	四捨五入	
消費税 2	0%----	
	切捨て	

税変更日		
2017-04-01	00:00	

消費税 1	10% 内税	
	四捨五入	
消費税 1	10% 外税	4
	切捨て	
消費税 2	8% 内税	
	四捨五入	
消費税 2	8% 外税	
	切捨て	

担当 -01	01	
	0001	
担当 -02	02	
	0002	5

担当 -10	10	
	0010	

部門 01	01	
0100000000	@100	
部門 02	02	
0200000000	@200	6
部門 03	03	
0000000000	@0	

部門 10	10	
1000000000	@0	

現金	00000000	
小計	00000000	7
	00000000	

訂正	00000000	
	00000000	

SD 設定データの予約読み日		
2017-04-01	00:00	8

課税モード	非課税	

- 1: 設定 3 点検のタイトル
- 2: 全体設定項目名/設定内容 (110 ページ参照)
- 3: 現行税テーブル/レート/外税・内税
- 4: 税改定後税率/レート/外税・内税
- 5: 担当者名/メモリ番号/担当者番号
- 6: 部門商品名/メモリ番号/部門キー設定内容/単価 (67 ページ参照)
- 7: 取引キーキャラクター/取引キー設定内容 (100 ページ参照)
- 8: SD 設定データ予約読み (設定されている場合印字)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

システム設定：簡易メニュー／簡易お知らせの印刷

簡易メニュー／簡易お知らせ印刷

簡易メニュー印刷

部門、PLU に設定したキャラクターと金額を、店舗に貼って利用するメニューのような形式でレシート用紙に印刷できる機能です。

簡易お知らせ印刷

店舗でお客様へお知らせするためのメッセージをレシート用紙に印刷できる機能です。簡易お知らせ印刷のメッセージを設定してご使用ください。



手順

印字例

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押します。
- 4 部門の場合は…部門キーを押します。
PLU の場合は…PLU 番号 + を押します。
メッセージの場合は…メモリー No + を押します。

ココア	500
-----	-----

簡易お知らせ印刷のメッセージ設定

簡易お知らせ印刷用に 10 行分のメモリー No. (26 ~ 35) が用意されています。このエリアにメッセージ印刷したい内容を設定します。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押します。
- 4 を押します。※
- 5 キャラクターを入力します。
キャラクターの入力は「文字入力の方法」(96 ページ) を参照してください。
- 6 を押します。

※ 他のメモリーへ設定する場合は、手順 4 で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 を押します。(それぞれ先頭 2 桁がメモリー No を表しています。)

システム設定：簡易メニュー／簡易お知らせの印刷

簡易メニュー印刷書式設定

部門、PLU に設定したキャラクターと金額を店舗に貼って利用するメニューのような形式でレシート用紙に印刷する際、キャラクター桁数、金額桁数が異なってもすべて同じ長さにそろえて印刷するか、文字数分を印刷するかを設定します。



手順

印字例

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押します。
- 4 文字数分印刷の場合は… を押します。
長さを揃える場合は… を押します。

文字数分を印刷

ホットケーキ 1,000

ココア 500

長さを揃えて印刷

ホットケーキ 1,000

ココア 500

簡易お知らせ印刷の向きを設定

メッセージ印刷の向きを縦にするか、横にするかの設定をします。



手順

印字例

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押します。
- 4 縦向きに印刷する場合は… を押します。
横向きに印刷する場合は… を押します。

縦向きに印刷

本日臨時休業です

横向きに印刷

本日臨時休業です

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

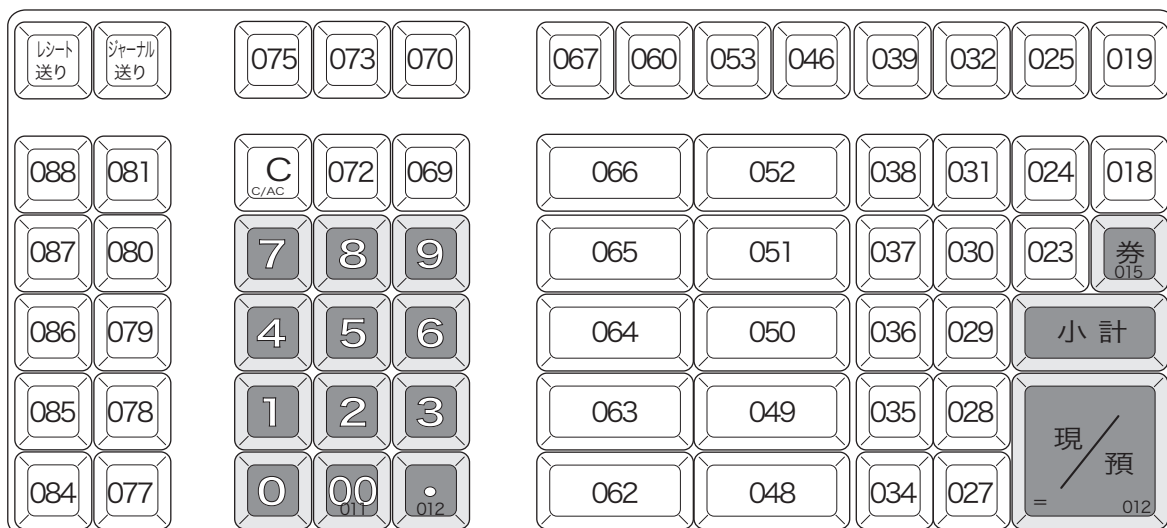
こんなときは

システム設定：キー配列の変更

ご購入時のキー配列を、お店で必要なキー配列に変更することができます。

キーを配列できる位置とキー番号

設定できるキーは、下記イラスト内3桁の番号（キー番号）のキーです。



操作例

キー番号「085」の位置に「仮締め」を、キー番号「078」の位置に「伝票番号」を設定します。



手順

操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 ↑ ↓ を押して「4. システム設定」にカーソルを合わせ、 を押します。
- 3 を押します。
- 3 ファンクションコード（次ページ表参照）を入力し、該当キーを押します。
- 4 を押します。



注意 キーを設定する場合は、最初に日計明細および期間集計1、2の精算をしてください。変更の印字はキー番号の順に印字されます。

システム設定：キー配列の変更

設定できる主なキー（取引キー）の種類とファンクションコード

キーの名称	ファンクションコード	キーの名称	ファンクションコード	キーの名称	ファンクションコード
現金売り／預かり金	01	レシート発行	38	担当者番号	72
貸し売り	02	不加算印字（＃）	40	小計	75
商品券売り	03	不加算印字（＃）／両替	41	レシート発行／停止	76
信用売り（クレジット）	04	客数	43	乗算／日時	82
仮締め	06	通貨変換（\$）	45	単位乗算／日時	83
万円	18	領収書発行	47	新規伝票	91
入金	20	PLU	48	伝票呼出	92
出金	21	金額	49	伝票番号	93
値引き（－）	27	部門 nn	nn051	伝票合算	94
割引き（％－）	28	非課税	57	強制解除	99
値増し（＋）	29	フラット PLUnnnn	nnnn063	操作ガイド	141
割増し（％＋）	30	面切替	64	↑	216
戻し	33	桁解除（オープン）	67	↓	217
直前訂正／取引中止	34	設定解除	68		



同じ取引命令キーを複数設定できます。

例：「割引き率」が2種類あり、それぞれの率ごとに金額と件数を集計したい場合は、**％－**を2個設定します。

主なキーの働き

貸売	現預 や 券 等と同じ締めキーで、「貸売り（掛売り）」での売上のときに使用します。
万円	本書 39 ページの使用例を参照してください。
値引き	本書 38 ページの使用例を参照してください。
割引き	本書 37 ページの使用例を参照してください。
値増し	「値引き」の逆の機能です。
割増し	「割引き」の逆の機能です。「深夜割増し」などの割増し計算に使用します。
客数	客数を入力するときに使用します。
通貨変換	米ドルで支払いを受け付けるお店で使用します。
PLU	本書 35 ページの使用例を参照してください。
金額	本書 36 ページの使用例を参照してください。
非課税	次の登録を非課税登録にします。
桁解除（オープン）	部門キー等に設定してある「桁数制限」を越えて金額を入力する場合に使用します。
設定解除	取引命令キーに設定してある「強制操作」を解除する場合に使用します。
単位乗算／日時	セット単価商品を「バラ売り」する場合に使用します。
伝票番号	本書 48 ページの使用例を参照してください。
新規伝票	伝票番号キーの2つの機能（新規伝票番号定義と定義済み伝票番号呼出し）を、別々のキーにするときに使用します。
伝票呼出し	
伝票合算	2枚の伝票を1つに合算するときに使用します。
仮締め	本書 48 ページの使用例を参照してください。
取引中止	キーの一度押しでそれまでの取引をキャンセルにします。（ 訂正 は 小計 に続けて押しして取引中止）

部門は1～20まで設定できます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

故障かなと思ったら

こんなときは

本体表示窓に、エラーの原因や解決方法を示したガイダンス（案内表示）が表示します。表示に従ってエラーを解除してください。（操作ガイド）を押すと、いろいろな機能や使用方法を説明したレシートを発行します。

こんなときは	処置	参照ページ
ドロアーが開かない	硬貨や紙幣が詰まっていないか確認してください。 下記ドロアーが開かなくなったとき」を確認してください。	130
表示がつかない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか、コンセントまで電気が来ているか確認してください。	—
レシート、領収書、またはジャーナルが発行されない	ロールペーパーに残りがあるか確認してください。	131～133
	レシート印字の場合、レシート発行停止になっていないか確認してください。	41
ジャーナルが巻き取られない	紙詰まりを起こしていないか確認してください	133
	ロールペーパーが、ジャーナル巻き取りホルダーにきちんとセットされているか確認してください。	
	ジャーナル巻き取りホルダーが、ホルダー受けに確実にセットされているか確認してください。	
印字をしない	紙詰まりを起こしていないか確認してください。ロールペーパーを裏表逆に取り付けていないか確認してください。（普通紙は使用できません）	131～133
印字がうすい 印字ムラがある	カシオ推奨の感熱紙のロールペーパーをお使いください。	裏表紙
////////（斜線）を印字して動作しない	電源電圧が不安定です。タコ足配線など、電源環境を見直してください。	—
レポート・レシート印字が早くなったり遅くなったりする	故障ではありません。印刷する行の印字濃度（文字の濃さ）によって、プリンターが印字速度を変えています。	—

表示窓に E やメッセージが表示されたときには

上部に「E」の文字と、エラーコードやエラーの原因や解決方法を示したガイダンス（案内表示）が表示することがあります。下表を参照して適切に処置してください。

こんなときは	処置	参照ページ
E001 操作していたモードに戻して下さい	登録中にモードを変更しています。元のモードにしてください。	—
E008 担当者 No と担当者キーを押して下さい	担当者を使う設定になっていますが、担当者を指定していません。担当者を指定してください。	47
E010 紙押えを押し込んで下さい	紙押えを確実にロックされるまで押し込んでください。	131～133
E012 ジャーナル用紙を補給して下さい	ジャーナル用紙がなくなりました。新しいロール紙に交換してください。	134
E014 用紙切れエラー 用紙を補給して下さい	レシート用紙がなくなりました。新しいロール紙に交換してください。	134
E019 客数を入力して下さい	客数を入力してください。客数の入れ忘れを防ぐために入力をお願いします。	—
E029 一部入金中です。締め操作を行って下さい	一部入金中です。締め操作（支払い操作）以外は受け付けません。	43
E031 （小計） を押して下さい	小計を押してお買い上げ合計額を確認してください。	19、38
E033 預かり金額を入力して下さい	お客様からお預かりした金額を入力してから （現/預） を押してください。（ちょうどの金額のお預かりでも、入力が必要です。）	19
E035 釣銭オーバー預かり金額を小さくして下さい	お預かり金額をまちがって入力していないか確認してください。釣り銭をお店で決めた金額を越えて支払おうとしています。	—

故障かなと思ったら

こんなときは	処置	参照ページ
E037 桁又は金額制限を超えています。	入力された金額がまちがっていないか確認してください。お店で決めた制限を越えた金額を登録しようとしています。	—
E038 在高を入力して下さい	在高申告してください。在高申告すると次の操作が可能になります。	—
E046 商品数オーバー取引を終了して下さい	 などを押して取引を終わらせてください。たくさんの商品が登録されたため内部メモリが一杯です。	—
E049 メモリーオーバーです。	仮締めしている取引を  などを押して終わらせてください。たくさんのお客番号が使われたため内部メモリが一杯です。	—
E050 伝票明細が一杯になりました。	仮締めしている取引を  などを使って終わらせてください。たくさんのお客登録がおこなわれたため内部メモリが一杯です。	—
E051 その伝票は使用中です。	伝票番号がまちがっていないか確認してください。使用済みの伝票番号のため新しく受付できません。	—
E053 その伝票 No は間違っています。	伝票番号がまちがっていないか確認してください。使用している伝票番号の中に、入力された伝票番号はありません。	—
E081 電子ジャーナルフル 電子ジャーナルの精算行って下さい	電子ジャーナルの空き容量がありません。電子ジャーナルの精算をしてクリアしてください。	56
E103 スキャンコードが存在しません	入力されたスキャンコード PLU コードがまちがっていないか確認してください。入力されたコードの商品は設定されていません。	—
E104 設定済商品です	入力されたスキャンコード PLU コードがまちがっていないか確認してください。入力されたコードの商品は設定済みのため新しく受付できません。	—
E139 値引金額の誤り、または税種が異なります。	入力された値引き金額をご確認ください。値引きで小計金額が負にならないようにした場合、非課税商品に対して課税の値引きはできません。	38
E150 部門単価入力または設定して下さい	単価を入力してから部門キーを押すか、部門に単価を設定してください。	19
E151 PLU 単価設定して下さい	PLU に単価を設定してください。	—
E152 値引金額の入力または設定して下さい	値引き金額を入力してから  を押すか、  に金額を設定してください。	38
E153 レートを入力または設定して下さい	割引き％数を入力してから  を押すか、  に値を設定してください。	37
E180 SD カードを挿入して下さい	向きを確認して SD メモリーカードを挿入してください。	135
E181 SD カード内のファイルが異常です	SD メモリーカードの規格を確認してください。(SDHC 規格)	—
E182 SD カードに対象ファイルがありません	SD メモリーカードにデータが保存されているか確認してください。	—
E183 SD カードに空きがありません	SD メモリーカードの空き容量を確保してください。	—
E184 SD カードライトプロテクトを外して下さい	SD メモリーカードのライトプロテクトを解除し、書き込み可能な状態にしてください。	—
E185 この SD カードは、認識できません	SD メモリーカードの規格を確認してください。(SDHC 規格)	—

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

故障かなと思ったら／レジ操作の練習

正しく動作しないとき

レジ操作中に、操作ミスを検出してエラー音が鳴ることがあります。通常はエラーの自動解除機能により、そのまま操作を続けることができます。

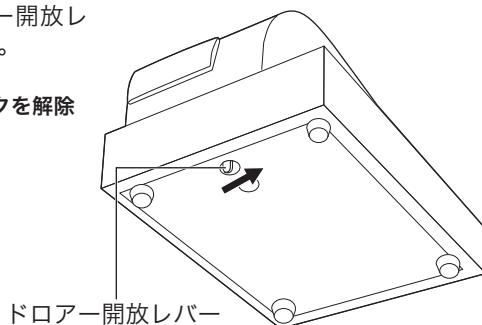
操作ミスのエラーは、**強制解除** を続けて2回押して強制的に解除できます。その際は下記にご注意ください。

▲注意 「登録」の操作中に強制解除をすると、現金売上として処理されます。売上から取り消す場合は、「返品処理」をしてください。

ドロアーが開かなくなったとき

停電や故障などでドロアーが開かなくなったときは、ドロアー開放レバー（ドロアー底面の金具）を矢印の方向に動かすと開きます。

ポイント ドロアーロックキーでロックしていると開きません。ロックを解除してください。



トレーニングを始める／トレーニングを終わる

トレーニングモードにして登録操作を練習します。「登録」と「戻」モードのトレーニングができます。トレーニング中は合計には演算されません。

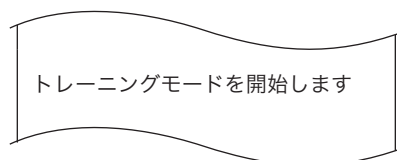


トレーニングを始める

手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 以下の操作をします。
1 1 1 1 1 1 **小計**
- 3 モードスイッチの位置を「登録」または「戻」にして、登録操作の練習をします。

印字例

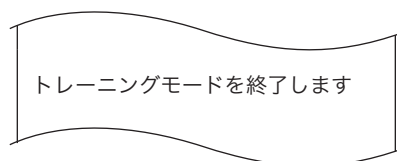


トレーニングを終わる

手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 **小計** を押します。
小計

印字例



ロールペーパーのセットと交換

プリンターカバーの取り外し

プリンターカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



プリンターカバーの取り付け

プリンターカバーのツメを本体にはめ、後方部を押し下げてプリンターカバーを取り付けます。

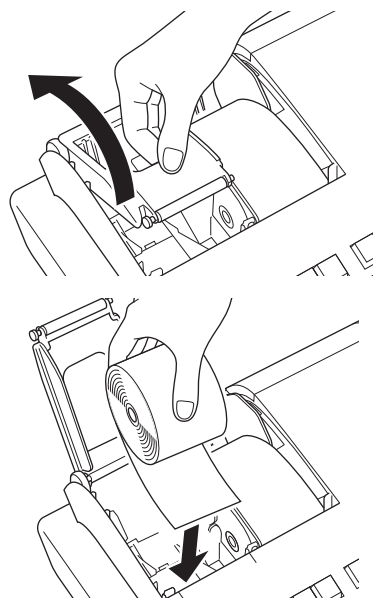


ロールペーパーをセットする（レシート）



手順

- 1 モードスイッチの位置を「登録」にしてプリンターカバーを取り外します。
- 2 紙押さえ（レシート用）に指をかけて持ち上げ、アームを開けます。
- 3 ロールペーパーの先端が下から出るように持ち、ペーパー入れにセットします。



ご使用前に

使い方

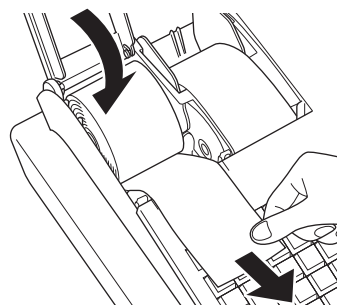
便利な使い方

設定の仕方

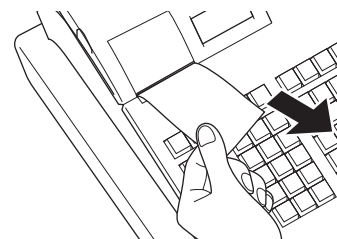
こんなときは

ロールペーパーのセットと交換

4 ロールペーパーの先端をプリンタの上に渡し、アームを閉めます。



5 プリンターカバーを閉めて余分な紙を切り取ります。



ロールペーパーが正しくセットされていないと、右のエラーが表示されます。

部門 01	¥100
E014	
用紙切れエラー 用紙を補給して 下さい	
5 点	100

紙押さえが閉じていないと、右のエラーが表示されます。

部門 01	¥100
E010	
紙押さえを 押し込んで下さい	
5 点	100



注意

- ・必ずロールペーパーを取り付けてご使用ください。ロールペーパーを取り付けないと、レジスターは動作しません。
- ・ロールペーパーの規格は、幅 58mm × 外径 80mm の感熱記録紙です。必ず当社指定のもののロールペーパーをご使用ください。指定品以外の用紙を使用すると故障の原因になります。
- ・ロールペーパーに赤い線が出たら、残りは約 1 m です。早めに新しいロールペーパーに交換してください。

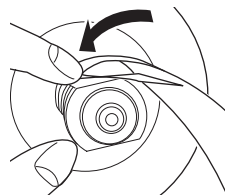
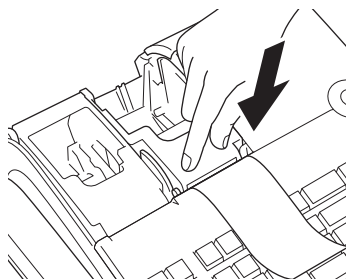
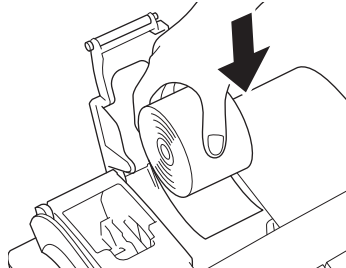
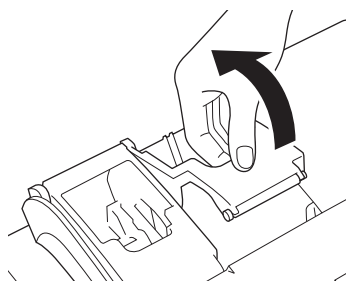
ロールペーパーのセットと交換

ロールペーパーをセットする（ジャーナル）



手順

- 1 モードスイッチの位置を「登録」にしてプリンターカバーを取り外します。
- 2 紙押さえ（ジャーナル用）に指をかけて持ち上げ、アームを開けます。
- 3 ロールペーパーの先端が下から出るように持ち、ペーパー入れにセットします。
- 4 ロールペーパーの先端をプリンタの上に渡し、アームを閉めます。
- 5 ジャーナル巻き取りホルダーの溝に、新しいロールペーパーの先端を差し込み2～3周巻き付けます。
- 6 ホルダーにジャーナル巻き取りホルダーをセットし、ロールペーパーにたるみがなくなるまで  を押し、プリンターカバーを取り付けます。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

ロールペーパーのセットと交換

ジャーナル用紙のご注意

- ジャーナルを保存される場合は、高保存タイプのロールペーパーの使用をお勧めします。
- 感熱記録紙（サーマル用紙）は、強い光に当てると印字が見えにくくなります。保管・保存には注意してください。

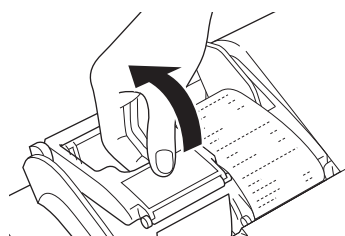
ロールペーパーを交換する（レシート）

ロールペーパーに赤い線が出たら、残りは約1mです。新しいロールペーパーに交換してください。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「登録」にしてプリンターカバーを取り外します。
- 2 紙押さえ（レシート用）に指をかけて持ち上げ、アームを開けます。ペーパー入れに残ったロールペーパーの芯を取り除きます。
- 3 「ロールペーパーをセットする（レシート）」の手順3～5と同じ操作で、新しいロールペーパーをセットします。



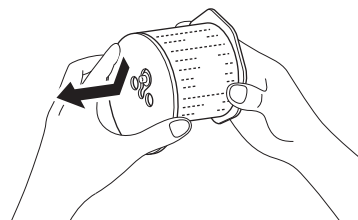
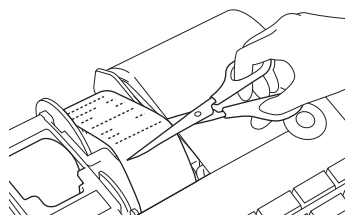
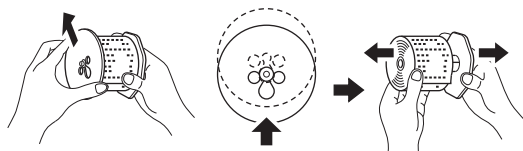
ロールペーパーを交換する（ジャーナル）

ロールペーパーに赤い線が出たら、残りは約1mです。新しいロールペーパーに交換してください。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「登録」にしてプリンターカバーを取り外します。
- 2  を押してロールペーパーを20cm程度空送りし、印字部分にかからない位置でペーパーを切り取ります。
- 3 ジャーナル巻き取りホルダーを取り出し、印字済み用紙を外します。矢印の方向に押してホルダーの軸押さえを外します。



- 4 「ロールペーパーをセットする（ジャーナル）」の手順3～6と同じ操作で、新しいロールペーパーをセットします。

SD メモリーカードのセット

SD メモリーカードに保存した電子店名スタンプを使用する場合は下記を設定します。電子店名スタンプは、パソコンのレジスターツールを使って作成できます。詳しくは、弊社 Web (<http://casio.jp/support/ecr/>) をご確認ください。同梱の「電子店名スタンプ注文書」(有償) でも承っています。

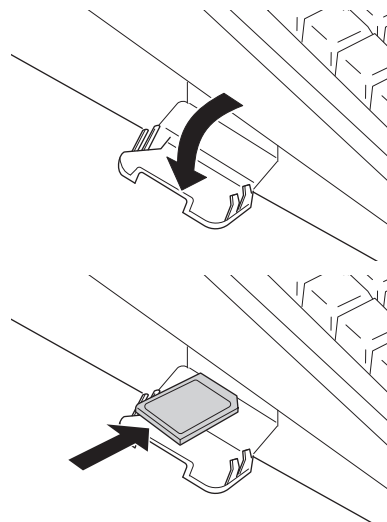
SD メモリーカードをセットする



手順

1 モードスイッチの位置を「OFF」にして、本体表示窓と客用表示窓が消灯したことを確認します。本体左側面の SD メモリーカードスロットカバーを開けます。

2 SD メモリーカードの表面を上にして「カチッ」を音がするまでしっかり差し込み、SD メモリーカードスロットカバーを閉めます。



⚠ 注意 SD スロット内部の端子部に、手や金属で触れないでください。

SD メモリーカードを取り出す

モードスイッチの位置を「OFF」にして SD メモリーカードを軽く押し、少し出てきたカードを引き抜いて取り出します。

内蔵のフラッシュメモリからバックアップデータ（自動設定保存）を戻す

SD メモリーカード以外に、内蔵のフラッシュメモリに設定データ（売上データ除く）がバックアップされている場合があります。（自動設定保存と印字されます）

乾電池の消耗時に電源プラグを抜くとすべての設定データが消えて、初期化が必要となります。その際に内蔵フラッシュメモリに設定データがある場合はデータを戻すことができます。印字されたガイダンスに従って、設定データを読み込む、または初期化するか操作してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

電池のセットと交換

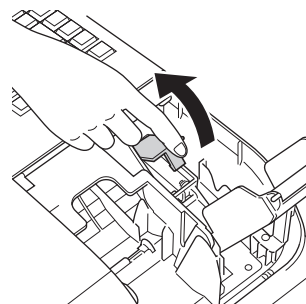
電池をセットする

電池は停電時にレジスター内部メモリーを保護します。単3型アルカリ乾電池を2本用意してください。

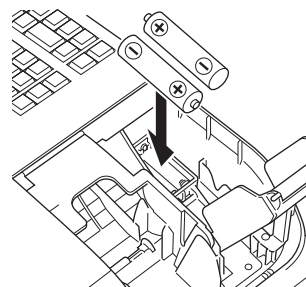


手順

- 1 モードスイッチの位置を「OFF」にしてプリンターカバーを取り外します。
- 2 電池ボックスのフタのつまみを、矢印の方向に押してフタを取り外します。



- 3 単3型アルカリ乾電池2本を、＋がイラストと同じになるよう正しくセットします。
セットと逆の手順で電池ボックスのフタとプリンターカバーを取り付けます。



電池を交換する

本体表示窓の上側に“電池切れです”が表示された場合は、電池が寿命です。モードスイッチの位置を「OFF」にして、電源プラグは抜かずに交換してください。交換の手順は、「電池をセットする」と同じです。



- ・交換中に電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- ・電池は必ずすべて同じ種類の新しい電池をご使用ください。

電池についてのご注意

- 電池を誤使用すると、発熱・破裂・発火・液もれなどの危険があります。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出してください。液漏れの原因となります。
- 使用済みの電池を廃棄するときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。
- 乾電池には使用推奨期限があります。この期間に注意を払ってお使いください。

型式	TE-2700 (20 部門) ストロークキー方式 2 キーロールオーバー
表示部	本体表示窓：キャラクター部 13 文字・数値部 10 桁 液晶表示 (バックライト付き) 客用表示窓：キャラクター部 10 文字・数値部 10 桁 液晶表示 (バックライト付き)
印字部	2 シートサーマルプリンター方式
	印字速度 約 14 行/秒
	印字桁数 各 24 桁 (半角文字の場合)
	記録紙幅 57 ~ 58mm、外径 80mm 以下の感熱記録紙 (消耗品欄参照)
	店名ロゴ印字 縦 21mm × 横 48mm の範囲でデザイン可 (レシートに自動印字)
	用紙カット レシートはギザ歯で手動カット/ジャーナルは自動巻き取り
	用紙巻取 ジャーナルは自動巻き取り
最大演算桁数	領収書発行 必要に応じて領収書の発行が可能
	置数・預かり金 (10 桁：0 ~ 9,999,999,999)
	登録 (7 桁：- 9,999,999 ~ 9,999,999)
	合計 (10 桁：- 999,999,999 ~ 9,999,999,999)
	リピート (6 桁：- 999,999 ~ 999,999)
	ノンアド (14 桁：0 ~ 999999999999999)
	%レート (整数 2 桁+小数 2 桁：0.01 ~ 99.99%)
電卓機能	税率 (整数 2 桁+小数 4 桁：0.0001 ~ 99.9999%)
	乗算数量 (整数 4 桁+小数 2 桁：0.01 ~ 9999.99)
電卓機能	加減乗除計算 最大計算桁数は置数 10 桁 答え 10 桁 (負数のときは 9 桁)
ドロアー	紙幣 3 種・硬貨 6 種 ドロアーロック錠付 コイントレー取り外し可 ドロアー/本体一体型
時計・日付機能	月差 ± 40 秒 (通電状態 25°C において) 2099 年までフルオートカレンダー
メモリ保護	単 3 型アルカリ乾電池 × 2 本使用 記憶保持約 1 年 1 年ごとに交換のこと
電源・消費電力	AC100V ± 10V 50/60Hz 8W
周囲温度・湿度	0°C ~ 40°C 10% ~ 90% RH
外形寸法	幅 330mm × 奥行 360mm × 高さ 204mm (ドロアー含む) 客用表示を出した高さ 311mm
重量	約 5.5Kg
オプション	防水カバー：WT-89 バーコードスキャナー：HHS-18、HHS-19
消耗品	ロールペーパー：紙幅 58mm × 外径 80mm サーマルペーパー (感熱紙) ノーマルタイプ TRP-5880 × 5 (5 個入り) TRP-5880-TW (20 個入り) 高保存タイプ TRP-5880H × 5 (5 個入り) TRP-5880H-TW (20 個入り)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。
ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。
本書およびソフトウェアは、将来予告なしに変更することがあります。
本書に記載の画面やイラストは、実際の製品とは異なることがあります。キー、アイコンは簡略化して記載しています。

保証規定

本書は、TE-2700（以下「本製品」といいます）に関しての保証規定です。

お客様へのお願い

同梱の保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

無償保証規定

万一、本製品を正常な使用状態でご使用中に障害が発生し、製品購入日から1年間（以下「保証期間」といいます）以内に弊社へご連絡を頂いた場合、弊社は修理、調整または代替品との交換（以下「修理等」といいます）を行うことにより、本製品を無償保証いたします。なお、修理等を行った場合であっても、当該本製品（代替品を含みます）は保証期間に限り無償保証いたします。

修理等は、故障の状態等から無償保証の対象であることを確認させて頂いたのち、弊社の裁量においていずれかの対応をいたします。なお、代替品との交換とは同等機種との交換をいい、同一機種との交換を保証するものではありません。

修理等を行った場合は本製品を初期状態にてご返却いたします。本製品に記録されている大切なデータについてはあらかじめジャーナルに印字して保管する等、お客様の責任においてバックアップを取ることをお勧めいたします。

本規定は、日本国内でのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

次の場合は、保証期間内であっても無償保証の対象外となり、修理等に要した費用をお客様へ別途請求いたします。

- ・ 誤ったご使用方法、および不当な取り扱いや改造による故障
- ・ 火災、地震、水害、異常電圧、および盗難などによる損傷や故障
- ・ 移動および輸送によって生じた故障
- ・ 上記のほか、正常な使用状態での使用と認められない故障

本規定に基づく弊社の対応・業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

用語集（索引）

本書で使用している用語について、五十音順に記載しています。操作や設定方法の参照ページも記載してありますので活用ください。

[あ]

後レシート発行

通常、レシートの発行をしていないお店で、お客様からレシートを要求された場合、後レシートを発行してお渡しします。

 41 ページを参照してください。

ありだか 在高

ドロアーの中にある現金やクレジット伝票などの合計金額のことです。

 29、51 ページを参照してください。

一部現金売り

取引の支払いを現金やクレジット 1 種類ではなく、一部を現金、一部を商品券などで支払う形式のことをいいます。

 43 ページを参照してください。

一連番号

レシートの番号です。レシートを発行するごとに 1 ずつプラスされます。

 23、44、109 ページを参照してください。

一括取消

入力ミスなどでレシートを最初からやり直したいときに一括取消をします。

 26 ページを参照してください。

オプション

ご使用方法によっては使っていただくと便利なものを別売で用意させていただいております。それをオプションと呼んでいます。

 137 ページを参照してください。

[か]

紙押さえ

プリンター部分にある、印字用紙を挟み込むローラとそれを支えている腕のことです。用紙交換後には、これがカチッと閉められているかを確認してください。

 10、131、133 ページを参照してください。

期間集計

長い期間（例えば、一週間、旬日、一月など）の売上の合計を知ることができるレポートです。

 49 ～ 51 ページを参照してください。

客用表示窓

お客様に商品の登録金額や合計金額などを示すための表示器です。背面表示としても、持ち上げてお客様の見やすい方向に回して使うこともできます。

 10、12、15、119 ページを参照してください。

キャラクター

部門キーや PLU、取引キーやメッセージなどに設定される文字のことです。

 12、96 ～ 100 ページを参照してください。

券売り

商品券売りに使用します。商品券の額面金額を設定しておくこともできます。

 14、42 ページを参照してください。

[さ]

さかのぼり訂正

商品登録中に、同一レシート中での登録の間違いを訂正することです。

 27 ページを参照してください。

ジャーナル

印字で残される営業記録のことです。印字後のジャーナルはレジスター本体内に自動的に巻き取られます。レシートも合わせてお読みください。

 23、133 ページを参照してください。

ジャーナルスキップ

ジャーナル（前出）用紙の消費を少なくするため部門など商品明細の印字をせず、一連番号（前出）や取引合計金額などを印字することです。

 110 ページを参照してください。

出金

商品の売上に直接関係のないお金をドロアーから出すことです。ドロアー内の現金を回収するときなどにお使いください。

 40 ページを参照してください。

乗算

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、買い上げ個数と単価を入力して（掛け算で）合計金額を算出することです。数量×単価または単価×数量の 2 種類の入力方法を選べます。

 13、21、33、35、36 ページを参照してください。

用語集（索引）

シンボル

表示の状態を示すインジケータやレシート上に印字する略号です。「合計」や「お釣」を表示している状態を示したり、内税の「内」、非課税の「非」などのことを示します。

 23 ページを参照してください。

精算

業務の終わりに売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額などは（翌日の営業のために）ゼロになります。点検も合わせてお読みください。

 29、30、49～58 ページを参照してください。

設定

レジスターの機能を選択したり、パーセント率や単価をレジスターに登録することです。単価設定も合わせてお読みください。

 63～127 ページを参照してください。

[た]

単価設定

商品単価をレジスターに登録することです。同じ単価を多く使われるお店では単価設定すると便利です。

 32、34、65～68 ページを参照してください。

担当者

レジスターを操作している取扱者のことです。レシート上に担当者の番号あるいは名前を印字したり、担当者別の売上額を集計できます。

 13、23、47、71 ページを参照してください。

置数

数字打ちです。商品の単価や数量、お客様からの預かり金など数値を入力することです。

 13、14、19～22 ページを参照してください。

訂正

レジスターに入力した事柄（数字や機能指定）が間違っていた場合、それを取り消すことです。取消ができるときとできないときがあります。

 24～28 ページを参照してください。

点検

業務の途中に売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額はそのまま保存されます。精算、レポートも合わせてお読みください。

 49～58 ページを参照してください。

電子店名スタンプ

レシートに印字するオリジナルの店名ロゴスタンプや、領収書に印字する社名ロゴ・会社所在地などをツールで作成できます。SD メモリーカードへ保存してレジスターに導入します。（SD メモリーカードは同梱していません。）パソコンのレジスターツールで設定するか、別添の申込書（有料）でお申し込みください。

 2、85、109、135 ページを参照してください。

登録

レジスターにお買い上げ商品の単価や数量、預かり金などを入力して、レシートを発行するまでの一連の操作のことです。

 19～28、31～48 ページを参照してください。

[な]

日計明細

売上金額などのレポートの一種です。その日の合計（日計）を商品分類や取引形態など（明細）に分けて発行します。

 29、30、49～51 ページを参照してください。

入金

商品の売上に直接関係のないお金をドロアー内に入れることです。釣銭準備などをするときにお使いください。

 40 ページを参照してください。

値引き

赤札などがあった場合に使用します。赤札上の「～円引」の金額が合計金額から引かれます。

 13、38、74、107 ページを参照してください。

[は]

背景印字

レシートや領収書に、薄い文字や模様を背景として印字できます。他店との差別化のため、または特売サービス引換券などのためにお使いください。

 73、118 ページを参照してください。

パーセント計算

割引き・割増しなど、百分率を使って値引き・値増しする金額を計算する方法です。割引きも合わせてお読みください。

 13、37、74、108 ページを参照してください。

番号印字

商品コード、お客様番号や電話番号など、合計金額には関係しない数値を「おぼえ」のために印字することです。

 13、41 ページを参照してください。

用語集（索引）

PLU（ピーエルユー）：Price Look Up の略

プライスルックアップ（単価呼出し）のことです。主にコード指定後のPLUキーによる単価呼出し、またはその登録のことです。PLUに設定されるのは、主に（商品の分類ではなく）個々の商品（単品）です。

 13、34～36、65、66 ページを参照してください。

品番 PLU

売上金額などのレポートの一種です。その日の合計（日計）を商品分類や取引形態など（明細）に分けて発行します。PLU も合わせてお読みください。

 36、65、66 ページを参照してください。

部門

お店の商品の分類です。例えば、食料品／雑貨品／日用品、鮮魚／精肉／青果、お食事／お飲み物などの分類があります。

 14、19～22、31～33、67、68 ページを参照してください。

返品

お客様がお買い上げの商品をお返しになったとき、返品処理をしてください。

 27、28 ページを参照してください。

[ま]

丸め（5 円丸め／10 円丸め）

合計金額の端数（5 円未満または 10 円未満）が出ないように、それを値引くことです。値引いた金額はお店側の負担になります。

 38、73 ページを参照してください。

万円キー（万券キー）

一万円札の預かり時に使用すると、明細レポート上に一万円札の枚数が印字されます。

 13、39 ページを参照してください。

[ら]

リピート

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、その都度商品単価を入力しないで、部門キーを買い上げ個数分押ししたりして、手軽に登録することです。

 22、35、36 ページを参照してください。

両替

本来の両替（大きなお金を細かくする）ばかりでなく、商品取引以外にドロアーを開ける必要ができたときに両替をします。

 14、22 ページを参照してください。

領収書

レシートとは別の書式の領収書が発行できます。

 13、44、45、77 ページを参照してください。

レシート

お客様にお渡しする領収書代わりの紙券です。ジャーナルも合わせてお読みください。

 23、109 ページを参照してください。

[わ]

割引き

全品一律 10%引きなどのときに使用します。全品一律でなくても、商品一つだけでも使用できます。パーセント計算も合わせてお読みください。

 13、37、74 ページを参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

スキャンング PLU の使い方

スキャンング PLU とは？

商品上に貼付されたバーコードラベルをスキャナーで読み取り、商品を登録します。本機はお買い上げの状態で 4,784 本のスキャンング PLU を持っています。

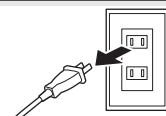
スキャンング PLU を使うために、別売のスキャナーを接続します。また、バーコードを読み取れなかった場合は、キーボードからバーコードラベルに書かれた数字を入れて **[PLU]** を押します。

扱うことのできるバーコードの種類は、JAN-8/13 PLU タイプ、EAN-8/13 PLU タイプ、UPC-A PLU タイプ、UPC-E タイプです。

スキャナーとレジスターの接続

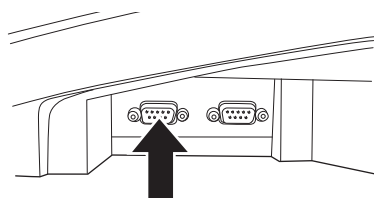


スキャナーをレジスターに接続するときは、レジスターの電源プラグを必ずコンセントから抜いて作業してください。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「OFF」にして、表示が消えたらレジスターの電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 右側面のコネクタカバーを外し、ハンドスキャナーの接続コネクタを「SCANNER」コネクタに接続して両端をネジで固定します。
- 3 コネクタカバーを取り付けます。



スキャンング PLU 商品を売り上げる（新規登録：未学習）

登録されていないバーコードをスキャナーで読み取ると、登録と売上（単価登録）を同時にできます。

操作例

単価	数量	リンクする部門キー	預かり金
¥570	1	商品 A（未設定、部門 3）	¥1,000

手順

- 1 商品 A のバーコードをスキャンングします。（スキャンング）

表示例

新規商品です。
単価を入れて部門キーを
押してください。

[0]

- 2 ガイダンスに従い、単価を入力して登録したい部門キーを押します。

5 7 0 × 3

部門 03 ¥570

小計 ¥570

1 点 570

印字例

2016-07-31 11:37
000074

部門 03		¥570
対象計	8.0%	¥570
内税		¥42
合 計		¥570
商品券		¥1,000
お 釣		¥430

- 3 レシートを発行します。

小計 1 0 0 0 現/預

アフターサービスについて

アフターサービス

本体表示窓に、エラーの原因や解決方法を示したガイダンス（案内表示）が表示します。表示に従ってエラーを解除してください。

アフターサービスのお問い合わせは

お買い上げの販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

消耗品のお申し込み

TE-2700 の消耗品

ロールペーパー：紙幅 58mm × 外径 80mm サーマルペーパー（感熱紙）

ノーマルタイプ TRP-5880-TW・TRP-5880 × 5

高保存タイプ TRP-5880H-TW・TRP-5880H × 5

乾電池：単 3 型アルカリ乾電池 [LR6 (AM-3)]

使用済みの電池を廃棄するときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

お客様相談窓口

- 製品の機能、操作などに関するご質問に、お電話でお答えいたします。
- 修理の受付、お電話による問診をいたします。また、必要に応じて修理の手配をいたします。

カシオレジスターお客様相談センター



0570-001166

市内通話料金のみでご使用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日 AM9:00～PM5:30（日・祝日・弊社指定休業日は除く）

携帯電話・PHS などの場合は 042-503-7215 をご利用ください。

カシオサービスセンター

- | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|-----|-----|
| ●北海道 | 札幌 | ●関東 | 埼玉 | ●信越 | 新潟 | ●近畿 | 京都 | ●四国 | 高松 |
| ●東北 | 盛岡 | | 千葉 | | 長野 | | 大阪 | ●九州 | 福岡 |
| | 仙台 | | 東京 | ●北陸 | 金沢 | | 神戸 | | 熊本 |
| ●関東 | 宇都宮 | | 多摩 | ●東海 | 静岡 | ●中国 | 岡山 | | 鹿児島 |
| | 水戸 | | 横浜 | | 名古屋 | | 広島 | | |
| | 高崎 | | | | | | | | |

その他出張所があります。

本製品の使用済後の取り扱いについて

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機（株）では、地域環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。回収申込方法は、カシオホームページ <http://www.casio.co.jp> でご案内しております。

パソコンのレジスターツールについて

パソコンのレジスターツールと、最新サポート情報（Q&A、取扱説明書など）は下記をご確認ください。
<http://casio.jp/support/ecr/>

店名・住所

販売店（問い合わせ先）を明記しておきましょう ☎（ ） 担当者

